金沢市
青少年健全育成推進アクションプラン
アンケート結果について

目　次

１．　調査の概要......1

１－１ 調査目的......1
１－２ 調査対象・調査方法......1
１－３ 調査スケジュール......1
１－４ アンケート種類別・設問の整理......2
１－５ 調査結果について......3

２．　調査結果......4

２－１ 小学生・中学生・高校生アンケート結果......4
２－２ 保護者アンケート結果......60

1. 調査の概要

１－１ 調査目的

本アンケートでは、「青少年健全育成推進アクションプラン」の策定に向け、金沢市の子ども・若者とその保護者の現状を把握することを目的に実施しました。

これにより、青少年の健全育成に向けた課題を抽出し、育成に係る各種施策の検討の参考とします。

１－２ 調査対象・調査方法

（１）調査対象・配布枚数・回収率

図表１－２－１　調査対象・配布枚数・回収率

調査対象	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
①小学５年生	232	220	94.8
②中学２年生	216	195	90.3
③高校２年生	237	223	94.1
④①～③の保護者	685	593	86.6
⑤長土塀青少年交流センター利用者	51	51	100.0
⑥青少年団体の団員等	60	59 （うち保護者：32）	98.3
合計	1,481	1,341	90.5

（２）調査方法

①～④：学校で配布・回収

・小中学校は、市内を３つのエリアに分け、小・中１校ずつ抽出し、小５及び中２の各２クラスを対象とした

・高校は、市内４校（市立１校、私立１校、県立２校）を抽出し、そのうち高２の計６クラスを対象とした

⑤：施設受付で配布・回収

⑥：団体事務局を通じて配布・回収

１－３ 調査スケジュール

①～④：９月始業日に配布、令和４年９月７日（水）回収

⑤：８月中　施設入り口に配置、令和４年８月 31 日（水）回収

⑥：青少年団体の団員等：８月中に配布、令和４年８月 31 日（水）回収

１－４ アンケート種類別・設問の整理

図表１－４－１　アンケート種類別・設問の整理

	小学生	中・高校生	保護者
１．自分自身について			
同居家族	問 1	問 1	－
年代	－	－	問 1
２．青少年・保護者の意識について			
自己肯定 ・今の自分が好きか ・保護者から愛されているか ・がんばって取り組めるか ・役に立たないと感じるか	問 2	問 2	－
大切だと思っていること	問 3	問 3	－
夢を持っているか、夢の内容	問 4・5	問 4・5	－
将来の職業	問 6	問 6	－
将来の仕事を決める時に重要なこと	問 7	問 7	－
社会のために役立ちたいか	問 8	問 8	問 2
ボランティア活動への興味	問 9	問 9	問 3
金沢市が好きか	問 10	問 10	問 4
将来への希望	問 11	問 11	－
３．青少年の実態について			
放課後や休みの日の過ごし方	問 12	問 12	－
居場所の安心感 ・自分の部屋 ・自分の家 ・学校 ・地域 ・インターネット空間	問 13	問 13	－
家族・親せきとの関わり ・相談できる ・助けてくれる ・本音を話せる ・好きな事や趣味を話せる	問 14	問 14	－
学校や塾や習い事での関わり ・相談できる ・助けてくれる ・本音を話せる ・好きな事や趣味を話せる	問 15	問 15	－
地域の人との関わり ・相談できる ・助けてくれる ・本音を話せる ・好きな事や趣味を話せる	問 16	問 16	－
自分の子どもにしてほしい体験	－	－	問 16
４．保護者の地域との関わり			
地域への考え			問 19

・地域の行事への参加 ・地域の出来事への関心 ・地域での助け合いの必要性 ・地域での付き合い			
近所の青少年へのあいさつ	―	―	問 17
自分の子どもが参加した地域行事	―	―	問 18
５．インターネットについて			
インターネットの利用手段	問 17	問 17	―
インターネットの利用時間	問 18	問 18	―
インターネットのトラブル	問 19	問 19（選択肢小学生と別）	―
インターネットのルール有無	―	問 20	問 21
インターネットのルール内容	―	問 21	問 22
インターネット利用に関して心配なこと	―	―	問 20
６．新型コロナウイルスの流行について			
新型コロナ流行による変化	問 20	問 22	問 11
生活が変化した理由	問 21	問 23	問 12
コロナの青少年育成への影響有無	―	―	問 13
影響があった点	―	―	問 14
新型コロナとの共存で重要なもの	問 22	問 24	問 15
７．青少年の育成について			
金沢市の青少年は健全か	―	―	問 5
青少年問題の原因	―	―	問 6
家庭での問題	―	―	問 7
地域や大人の問題	―	―	問 8
環境の問題	―	―	問 9
必要な取組	―	―	問 10
８．その他	―	―	
閉杉少年の森の利用状況	―	―	問 23-1
土子原こども野外広場の利用状況	―	―	問 23-2
閉杉少年の森の利用意向	―	―	問 24-1
閉杉少年の森での希望する体験	―	―	問 24-2
土子原こども野外広場の利用意向	―	―	問 25-1
土子原こども野外広場での希望する体験	―	―	問 25-2

１－５ 調査結果について

・回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。

・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

2. 調査結果

２－１ 小学生・中学生・高校生アンケート結果

（１）同居家族

現在、あなたと一緒(しょ)に住んでいる人をすべてお答えください。＜あてはまるものすべてに○＞

・同居家族は、全体では、最も同居率が高いのは、「お母さん」で99.0%を占めます。次いで「お父さん」(87.9%)、「兄弟・姉妹」(85.3%) です。

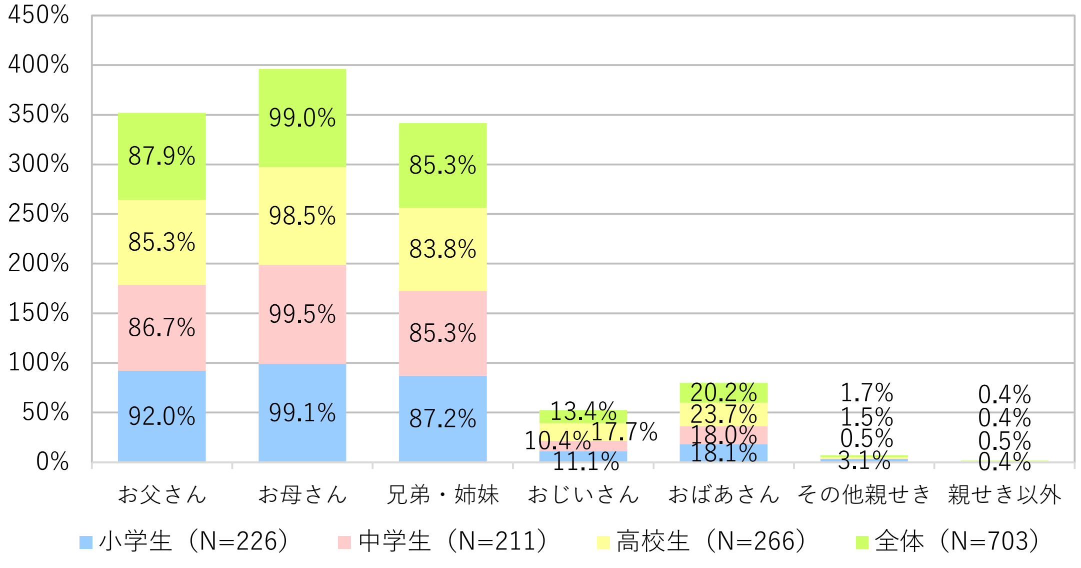
・世帯構成は、全体では、「両親同居世帯」が 87.1%、「母子同居世帯」が 11.9%、父子同居世帯が 0.9%です。

・きょうだい構成は、「きょうだいあり」が 85.3%、「きょうだいなし」が 14.7%です。

① 同居者

図表 ２－１－１　同居家族

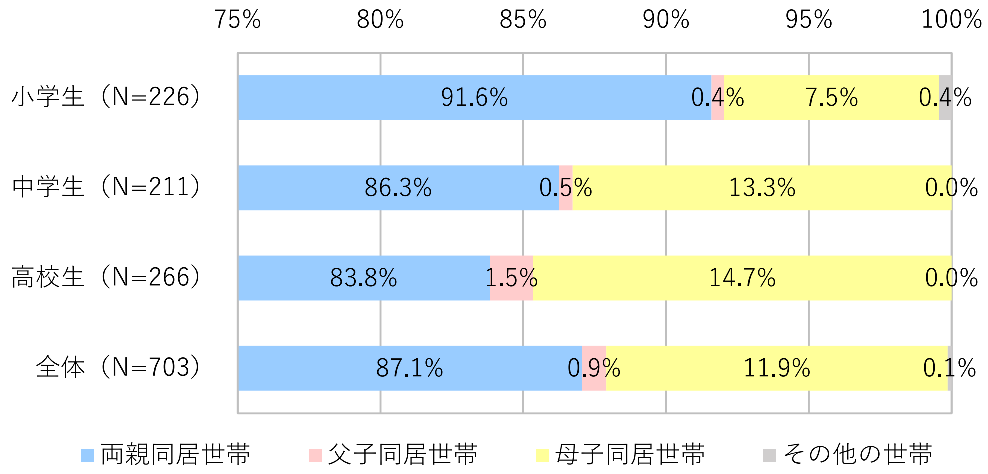
同居家族	小学生(N=226)	中学生(N=211)	高校生(N=266)	全体(N=703)
お父さん	92.0%	86.7%	85.3%	87.9%
お母さん	99.1%	99.5%	98.5%	99.0%
兄弟・姉妹	87.2%	85.3%	83.8%	85.3%
おじいさん	11.1%	10.4%	17.7%	13.4%
おばあさん	18.1%	18.0%	23.7%	20.2%
その他親せき	3.1%	0.5%	1.5%	1.7%
親せき以外	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%



② 世帯構成

図表　２－１－２　世帯構成

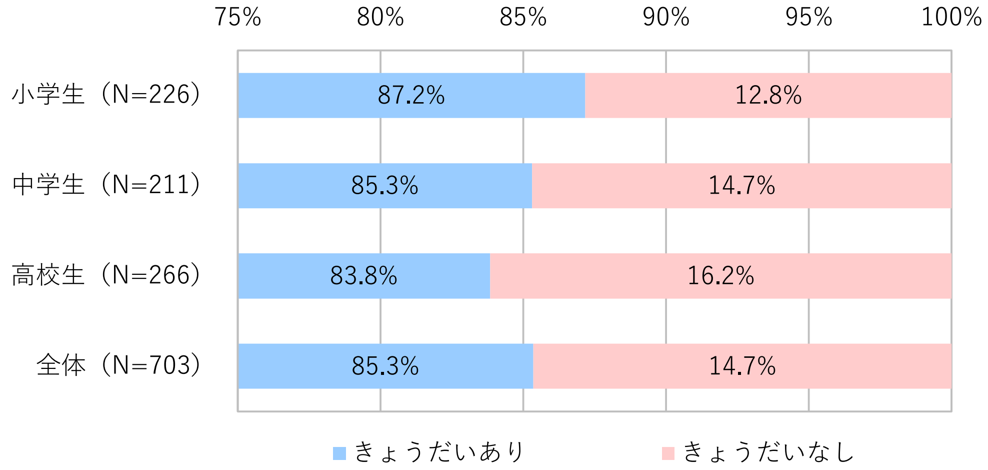
世帯構成	小学生 (N=226)	中学生 (N=211)	高校生 (N=266)	全体 (N=703)
両親同居世帯	91.6%	86.3%	83.8%	87.1%
父子同居世帯	0.4%	0.5%	1.5%	0.9%
母子同居世帯	7.5%	13.3%	14.7%	11.9%
その他の世帯	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



③ きょうだい構成

図表　２－１－３　きょうだい構成

	小学生 (N=226)	中学生 (N=211)	高校生 (N=266)	全体 (N=703)
きょうだいあり	87.2%	85.3%	83.8%	85.3%
きょうだいなし	12.8%	14.7%	16.2%	14.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



（２）自己認識

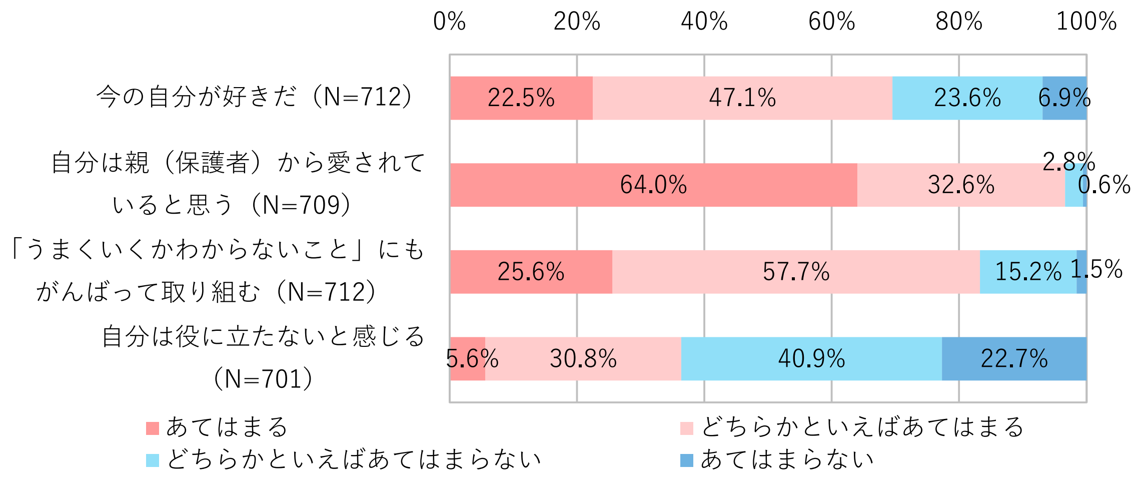
あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。「あてはまる」は１を、「どちらかといえばあてはまる」は２を、「どちらかといえばあてはまらない」は３を、「あてはまらない」は４を選んでください。

① 全体

・自己認識は、全体では、「今の自分が好きだ」、「自分は親（保護者）から愛されていると思う」、「「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む」、について、半数以上が「あてはまる」・「どちらかというとあてはまる」と答えています。また、「自分は役に立たないと感じる」についても半数以上が「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」と答えています。

図表　２－１－４　自己認識

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
今の自分が好きだ（N=712）	22.5%	47.1%	23.6%	6.9%
自分は親（保護者）から愛されていると思う（N=709）	64.0%	32.6%	2.8%	0.6%
「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む（N=712）	25.6%	57.7%	15.2%	1.5%
自分は役に立たないと感じる（N=701）	5.6%	30.8%	40.9%	22.7%

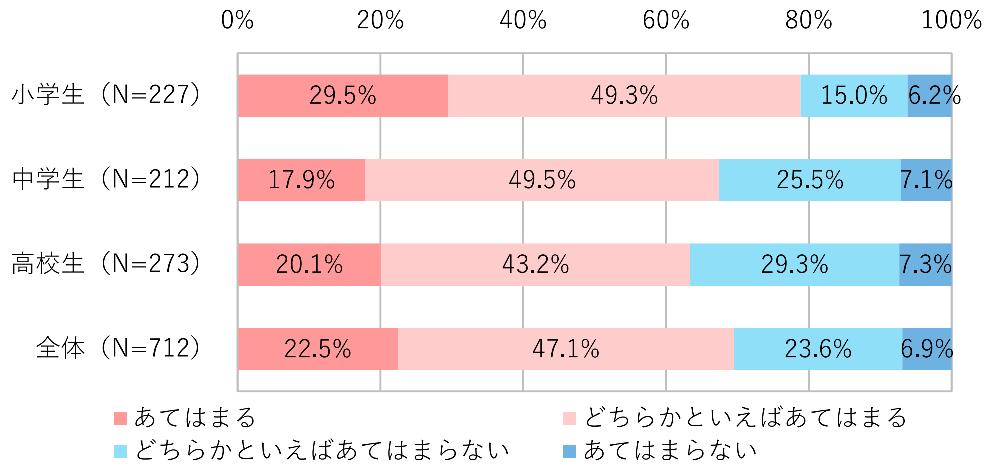


② 今の自分が好きだ（属性別）

・「今の自分が好き」かどうかについては、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生 78.8%、中学生 67.4%、高校生 63.3%です。

図表 ２－１－５　今の自分が好きだ

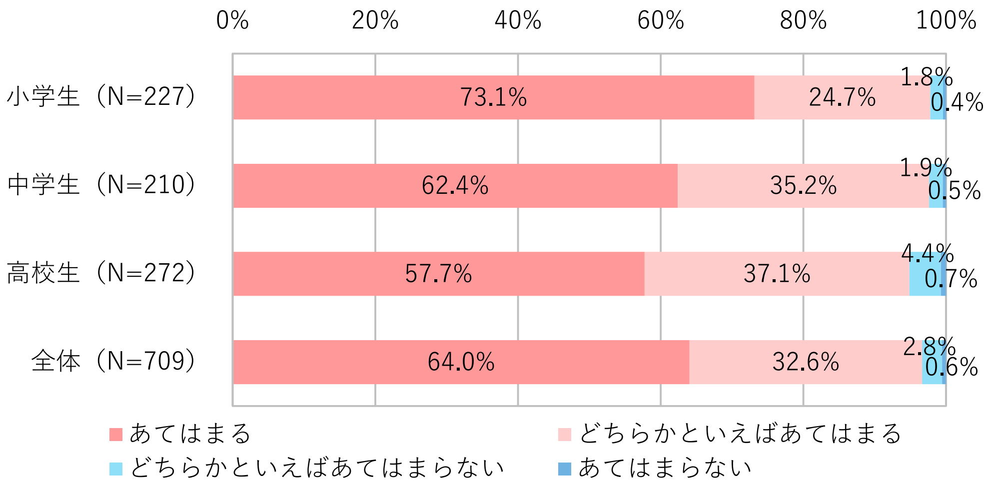
	小学生 (N=227)	中学生 (N=212)	高校生 (N=273)	全体 (N=712)
あてはまる	29.5%	17.9%	20.1%	22.5%
どちらかといえばあてはまる	49.3%	49.5%	43.2%	47.1%
どちらかといえばあてはまらない	15.0%	25.5%	29.3%	23.6%
あてはまらない	6.2%	7.1%	7.3%	6.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



③ 自分は親（保護者）から愛されていると思う（属性別）

図表 ２－１－６　自分は親（保護者）から愛されていると思う

	小学生 (N=227)	中学生 (N=210)	高校生 (N=272)	全体 (N=709)
あてはまる	73.1%	62.4%	57.7%	64.0%
どちらかといえばあてはまる	24.7%	35.2%	37.1%	32.6%
どちらかといえばあてはまらない	1.8%	1.9%	4.4%	2.8%
あてはまらない	0.4%	0.5%	0.7%	0.6%

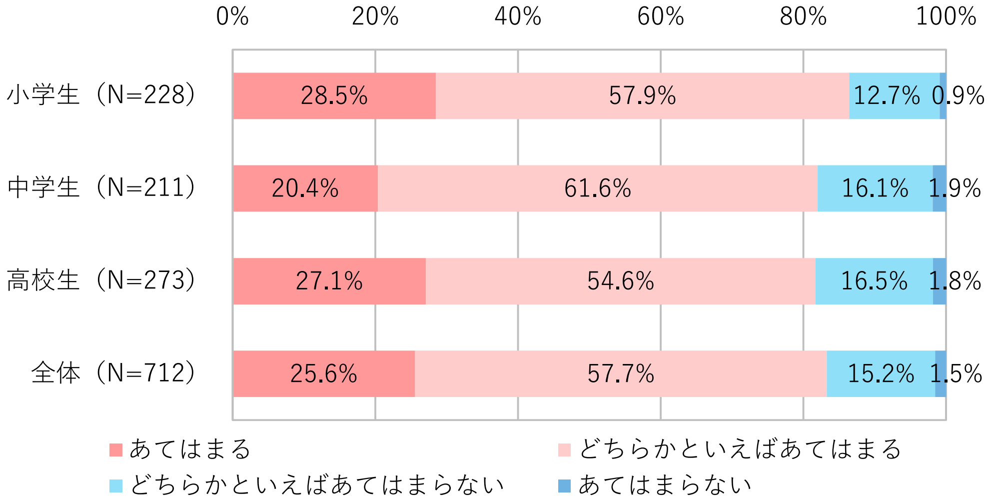


④ 「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む（属性別）

・「「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む」かどうかについては、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生 86.4%、中学生 82.0%、高校生 81.7%です。

図表　２－１－７　「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む

	小学生 (N=228)	中学生 (N=211)	高校生 (N=273)	全体 (N=712)
あてはまる	28.5%	20.4%	27.1%	25.6%
どちらかといえばあてはまる	57.9%	61.6%	54.6%	57.7%
どちらかといえばあてはまらない	12.7%	16.1%	16.5%	15.2%
あてはまらない	0.9%	1.9%	1.8%	1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

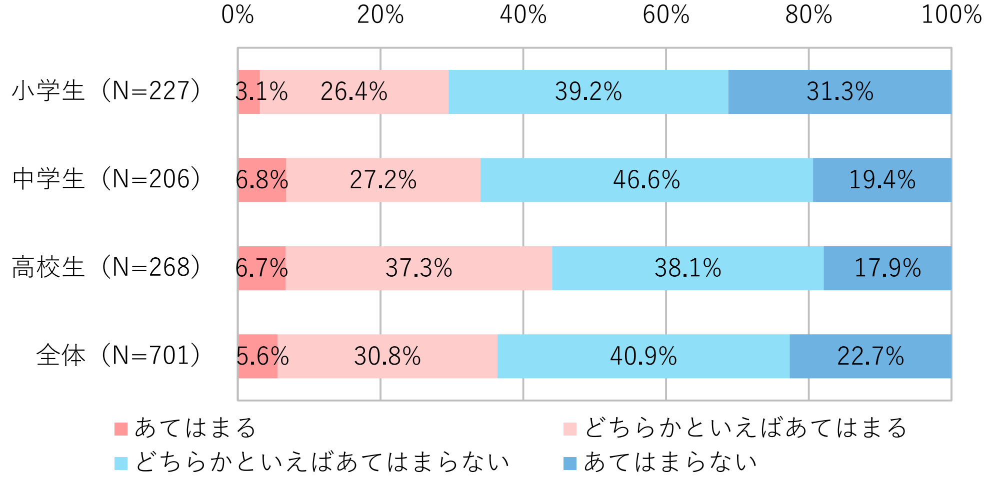


⑤ 自分は役に立たないと感じる（属性別）

・「自分は役に立たないと感じる」かどうかについては、「あてはまらない」、「どちらかといえばあてはまらない」の合計は、小学生 70.5%、中学生 66.0%、高校生 56.0%です。

図表　２－１－８　自分は役に立たないと感じる

	小学生 (N=227)	中学生 (N=206)	高校生 (N=268)	全体 (N=701)
あてはまる	3.1%	6.8%	6.7%	5.6%
どちらかといえばあてはまる	26.4%	27.2%	37.3%	30.8%
どちらかといえばあてはまらない	39.2%	46.6%	38.1%	40.9%
あてはまらない	31.3%	19.4%	17.9%	22.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



（３）一番大切に思っていること

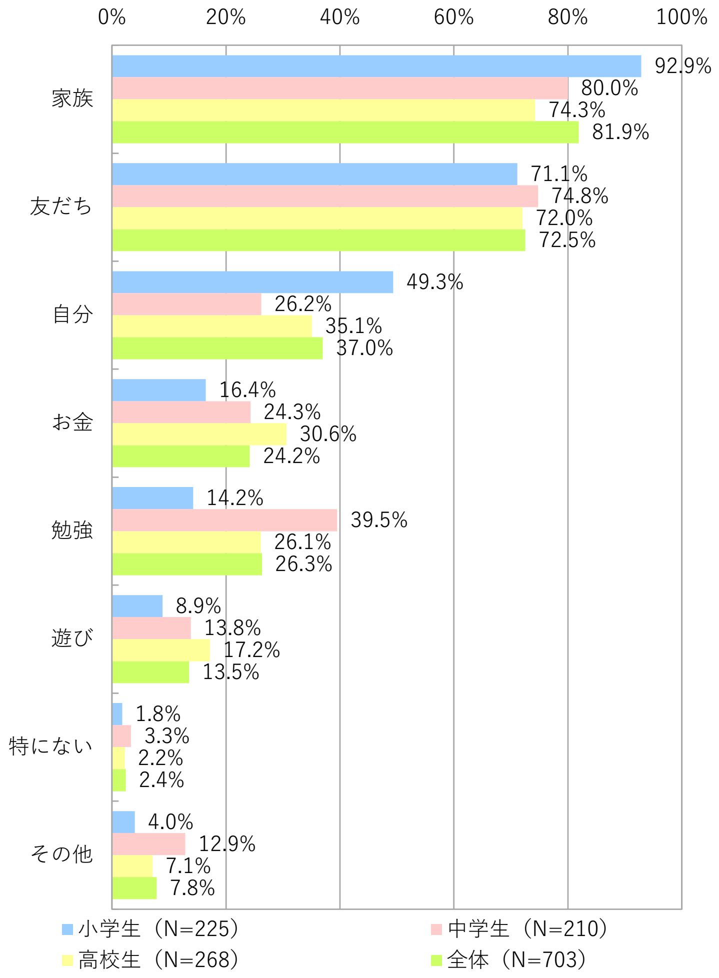
あなたが、いま一番大切だと思っているものは何ですか？

・「一番大切に思っていること」は、全体では「家族」、「友だち」、「自分」の順に高く、「家族」・「友だち」は、70%以上が「一番大切である」と答えています。

・小学生は「家族」、「友だち」、「自分」の順に多く、中学生は「家族」、「友だち」、「勉強」、高校生は「家族」、「友だち」、「自分」となっています。

図表　２－１－９　一番大切に思っていること

	小学生 (N=225)	中学生 (N=210)	高校生 (N=268)	全体 (N=703)
家族	92.9%	80.0%	74.3%	81.9%
友だち	71.1%	74.8%	72.0%	72.5%
自分	49.3%	26.2%	35.1%	37.0%
お金	16.4%	24.3%	30.6%	24.2%
勉強	14.2%	39.5%	26.1%	26.3%
遊び	8.9%	13.8%	17.2%	13.5%
特にない	1.8%	3.3%	2.2%	2.4%
その他	4.0%	12.9%	7.1%	7.8%



図表 ２－１－１０　一番大切に思っていること（その他の内容と件数）

	小学生	中学生	高校生	全体
部活	0	6	8	14
趣味	0	4	0	4
サッカー	0	2	1	3
自由	1	1	1	3
彼女	0	0	3	3
スポーツ	2	0	0	2
野球	2	0	0	2
時間	0	2	0	2
推し	0	0	2	2
ある１人の先輩	0	1	0	1
後輩達や先生方	0	1	0	1
おじいちゃん・おばあちゃん	0	1	0	1
すとぷりの莉犬さん	1	0	0	1
テニス	1	0	0	1
乗馬	0	1	0	1
ペット	0	1	0	1
一人の時間	0	0	1	1
全て	0	0	1	1
平和	0	1	0	1
楽	0	1	0	1
夢	0	1	0	1
命	0		1	1

（４）夢の有無

あなたは「夢」を持っていますか？<あてはまるもの１つに○>

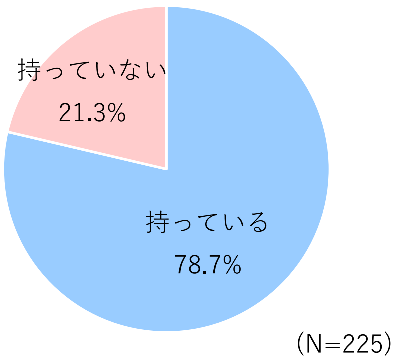
・「夢」の有無は、全体では「持っている」が 66.5%を占めています。

・「夢」を「持っている」と答えた割合は、小学生 78.7%、中学生 56.8%、高校生 64.0%です。

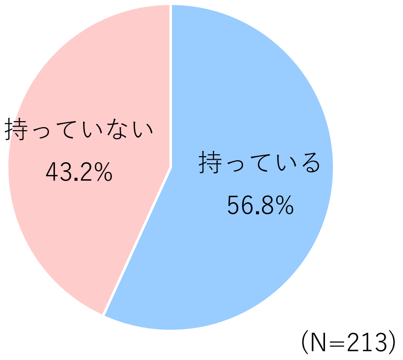
図表　２－１－１１　夢の有無

	小学生(N=225)	中学生(N=213)	高校生(N=272)	全体（N=710)
持っている	78.7%	56.8%	64.0%	66.5%
持っていない	21.3%	43.2%	36.0%	33.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

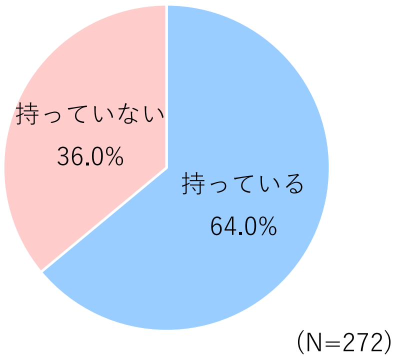
【小学生】



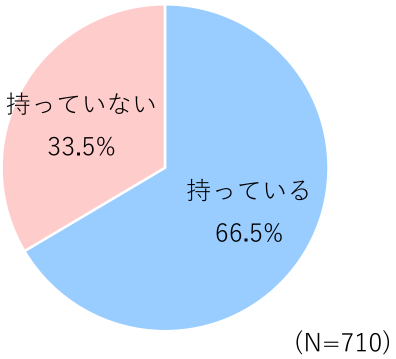
【中学生】



【高校生】



【全体】



（５）夢の内容

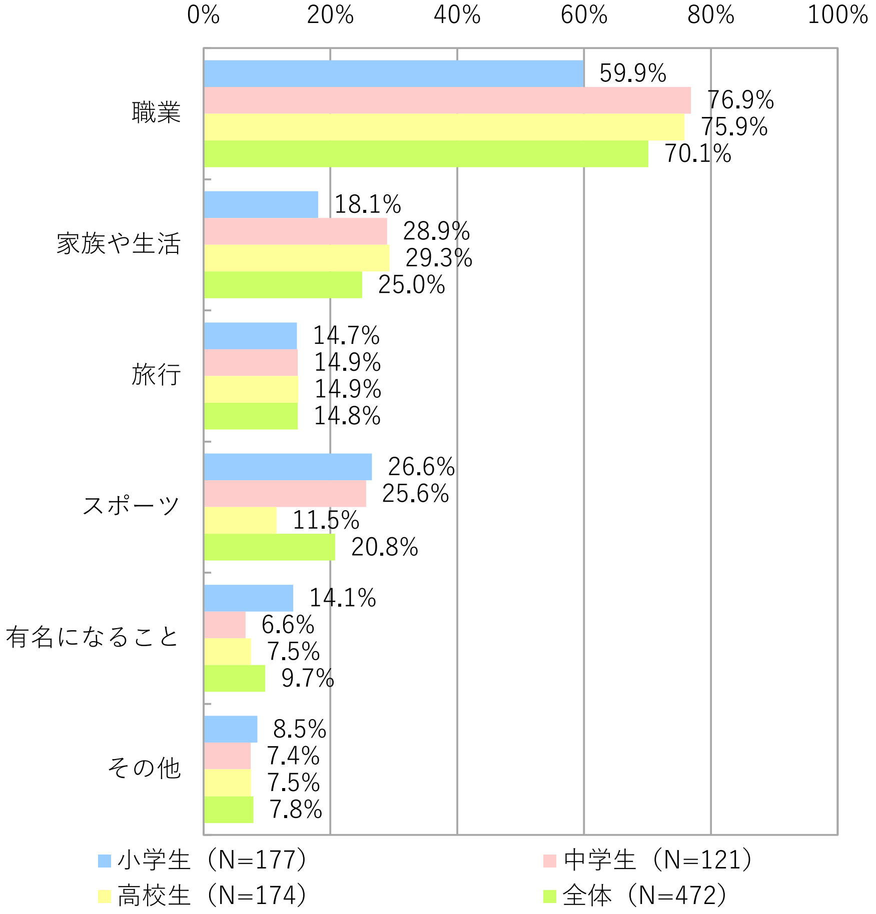
「夢を持っている」と答えた方にお尋ねします。
夢の内容は具体的にどんなものですか？<あてはまるもの３つまでに〇>

・夢の内容は、全体では「職業」が70.1%を占め、多いものから順に「職業」、「家族や生活」、「スポーツ」となっています。

・小学生は、多いものから「職業」、「スポーツ」「家族や生活」、中学生は「職業」「家族や生活」「スポーツ」、高校生は、「職業」、「家族や生活」、「旅行」です。

図表　２－１－１２　夢の内容

	小学生 (N=177)	中学生 (N=121)	高校生 (N=174)	全体 (N=472)
職業	59.9%	76.9%	75.9%	70.1%
家族や生活	18.1%	28.9%	29.3%	25.0%
旅行	14.7%	14.9%	14.9%	14.8%
スポーツ	26.6%	25.6%	11.5%	20.8%
有名になること	14.1%	6.6%	7.5%	9.7%
その他	8.5%	7.4%	7.5%	7.8%



図表　２－１－１３　夢の内容（その他の内容と件数）

	小学生	中学生	高校生	全体
ｅスポーツ	0	1	0	1
ＬＩＶＥに行く	0	0	1	1
ＳｎｏｗＭａｎに会うこと	0	1	0	1
ガンダムとマジンガーＺをつくる	1	0	0	1
こういう人間になりたい的な？	0	1	0	1
コスメ開発	0	1	0	1
ジュケン合格！	1	0	0	1
ダンサー・ヘアメイクアップアーティスト	0	0	1	1
ボランティア	1	0	0	1
マンガ喫茶店で 24 時間こもる	1	0	0	1
マンガ家	1	0	0	1
みんなを笑顔にすること	0	0	1	1
歌手	1	0	0	1
絵を描いてお金をもらう	1	0	0	1
楽しくなること	1	0	0	1
管楽器リペア	0	0	1	1
興味に没頭したい	0	0	1	1
金持ち	0	0	1	1
犬やねこを保ごしたい	1	0	0	1
大学入学	0	0	1	1
高校	0	1	0	1
良い高校に行く！	0	1	0	1
自由な人間	1	0	0	1
自由に生きること	1	0	0	1
全く決まっていない将来	0	0	1	1
釣り人	1	0	0	1
東京にいってライブに行く！	1	0	0	1
動物	0	0	1	1
農家	1	0	0	1
美容係	0	1	0	1
普通の生活	0	0	1	1
勉強	0	1	0	1
目標、やりとげたいこと	0	1	0	1
料理人	0	0	1	1

（６）将来の仕事

将来はどんな仕事をしたいと思っていますか？<あてはまるもの３つまでに○>

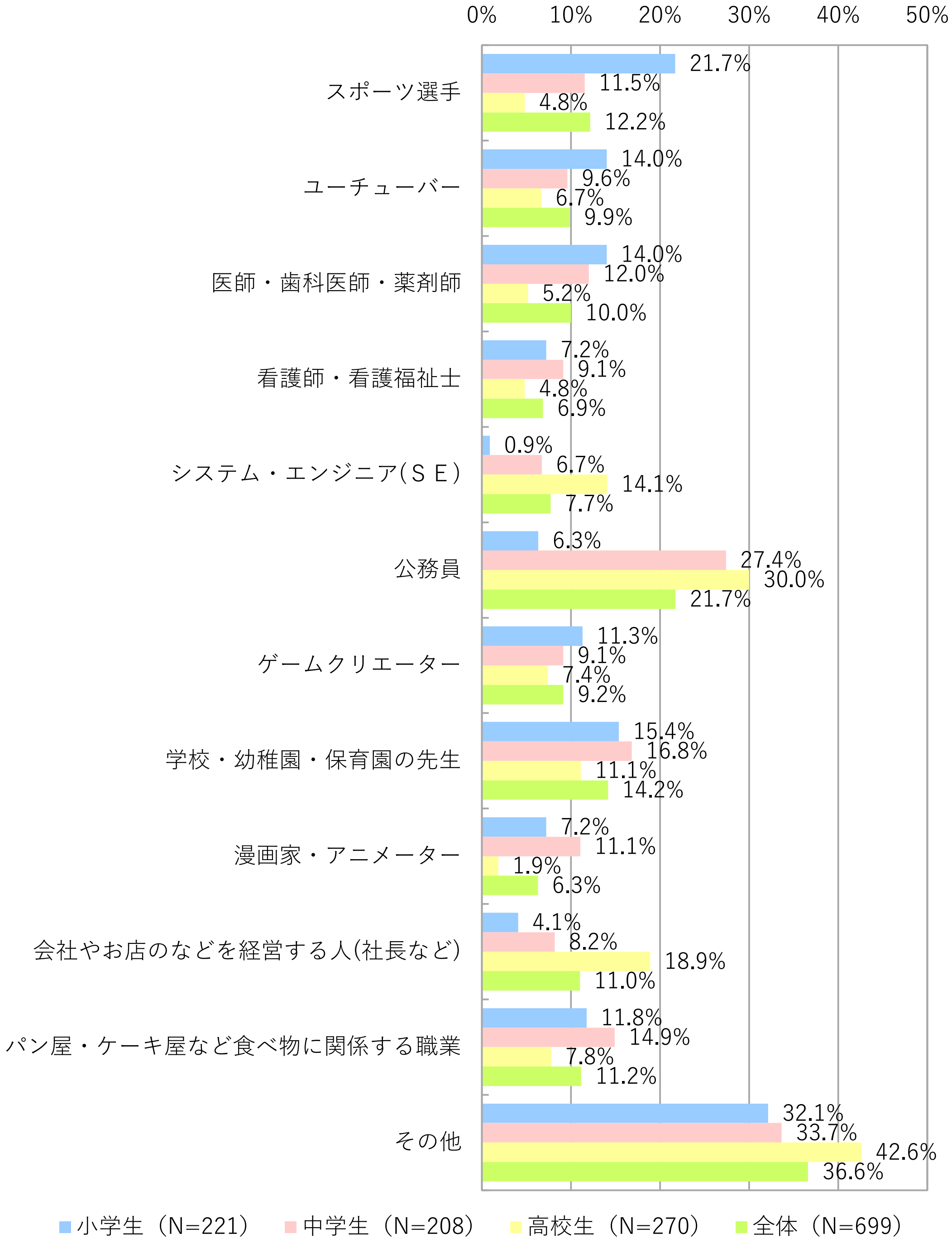
・将来の仕事は、全体では、「公務員」、「学校・幼稚園・保育園の先生」、「医師・歯科医師・薬剤師」の順に多くなっています。

・小学生は、「スポーツ選手」、「学校・幼稚園・保育園の先生」、「ユーチューバー」と「医師・歯科医師・薬剤師」の順に多く、中学生は「公務員」、「会社やお店のなどを経営する人(社長など)」、「医師・歯科医師・薬剤師」の順に多く、高校生は「公務員」、「家族や生活」「システム・エンジニア（ＳＥ）」の順に多くなっています。

・「その他」は、小学生で 31.7%、中学生で 32.7%、高校生で 42.6%を占めています。その他の内訳の上位 3 位は、「建築・電気・機械・土木関係」56 件、「美容関係」23 件、「獣医・動物に関わる仕事」19 件です。

図表　２－１－１４　将来の仕事

	小学生 (N=221)	中学生 (N=208)	高校生 (N=270)	全体 (N=699)
スポーツ選手	21.7%	11.5%	4.8%	12.2%
ユーチューバー	14.0%	9.6%	6.7%	9.9%
医師・歯科医師・薬剤師	14.0%	12.0%	5.2%	10.0%
看護師・看護福祉士	7.2%	9.1%	4.8%	6.9%
システム・エンジニア（ＳＥ）	0.9%	6.7%	14.1%	7.7%
公務員	6.3%	27.4%	30.0%	21.7%
ゲームクリエーター	11.3%	9.1%	7.4%	9.2%
学校・幼稚園・保育園の先生	15.4%	16.8%	11.1%	14.2%
漫画家・アニメーター	7.2%	11.1%	1.9%	6.3%
会社やお店のなどを経営する人(社長など)	4.1%	8.7%	18.9%	11.2%
パン屋・ケーキ屋など食べ物に関係する職業	12.2%	15.4%	7.8%	11.4%
その他	31.7%	32.7%	42.6%	36.2%


0%
10%
20%
30%
40%
50%
スポーツ選手
21.7%
11.5%
4.8%
12.2%
ユーチューバー
14.0%
9.6%
6.7%
9.9%
医師・歯科医師・薬剤師
14.0%
12.0%
5.2%
10.0%
看護師・看護福祉士
7.2%
9.1%
4.8%
6.9%
システム・エンジニア(ＳＥ)
0.9%
6.7%
14.1%
7.7%
公務員
6.3%
27.4%
30.0%
21.7%
ゲームクリエーター
11.3%
9.1%
7.4%
9.2%
学校・幼稚園・保育園の先生
15.4%
16.8%
11.1%
14.2%
漫画家・アニメーター
7.2%
11.1%
1.9%
6.3%
会社やお店のなどを経営する人(社長など)
4.1%
8.2%
18.9%
11.0%
パン屋・ケーキ屋など食べ物に関係する職業
11.8%
14.9%
7.8%
11.2%
その他
32.1%
33.7%
42.6%
36.6%
小学生（N=221）
中学生（N=208）
高校生（N=270）
全体（N=699）

図表 ２－１－１５　将来の仕事（その他の内容と件数）

	小学生	中学生	高校生	全体
建築・電気・機械・土木関係	5	7	44	56
美容関係	8	9	6	23
獣医・動物に関わる仕事	9	5	5	19
俳優・声優・歌手・ダンサー・モデル	7	3	2	12
芸術・デザイン関係	3	7	1	11
服飾関係	8	1	2	11
医療・介護関係	2	4	4	10
学者・研究者	3	2	4	9
ものづくり・技術者	1	2	5	8
接客業	0	2	6	8
会社員	4	0	4	8
パイロット・レーサー・宇宙飛行士・電車の運転手・車掌・グランドスタッフ	1	5	1	7
スポーツ関係	0	1	5	6
ＰＣ・ゲーム関係	1	1	3	5
音楽関係	1	2	2	5
テレビ・芸能関係	1	3	1	5
ブライダル関係	1	2	2	5
消防・保安庁・自衛隊・警備関係	3	0	1	4
通訳・国際系	1	0	2	3
本に関わる仕事	1	2	0	3
農・漁業関係	2	0	0	2
虫・自然環境系	1	0	1	2
不動産関係	0	1	0	1
作家	0	0	1	1
大臣	0	0	1	1
決まっていない・わからない	7	12	5	24

（７）将来の仕事をきめる際に重要なこと

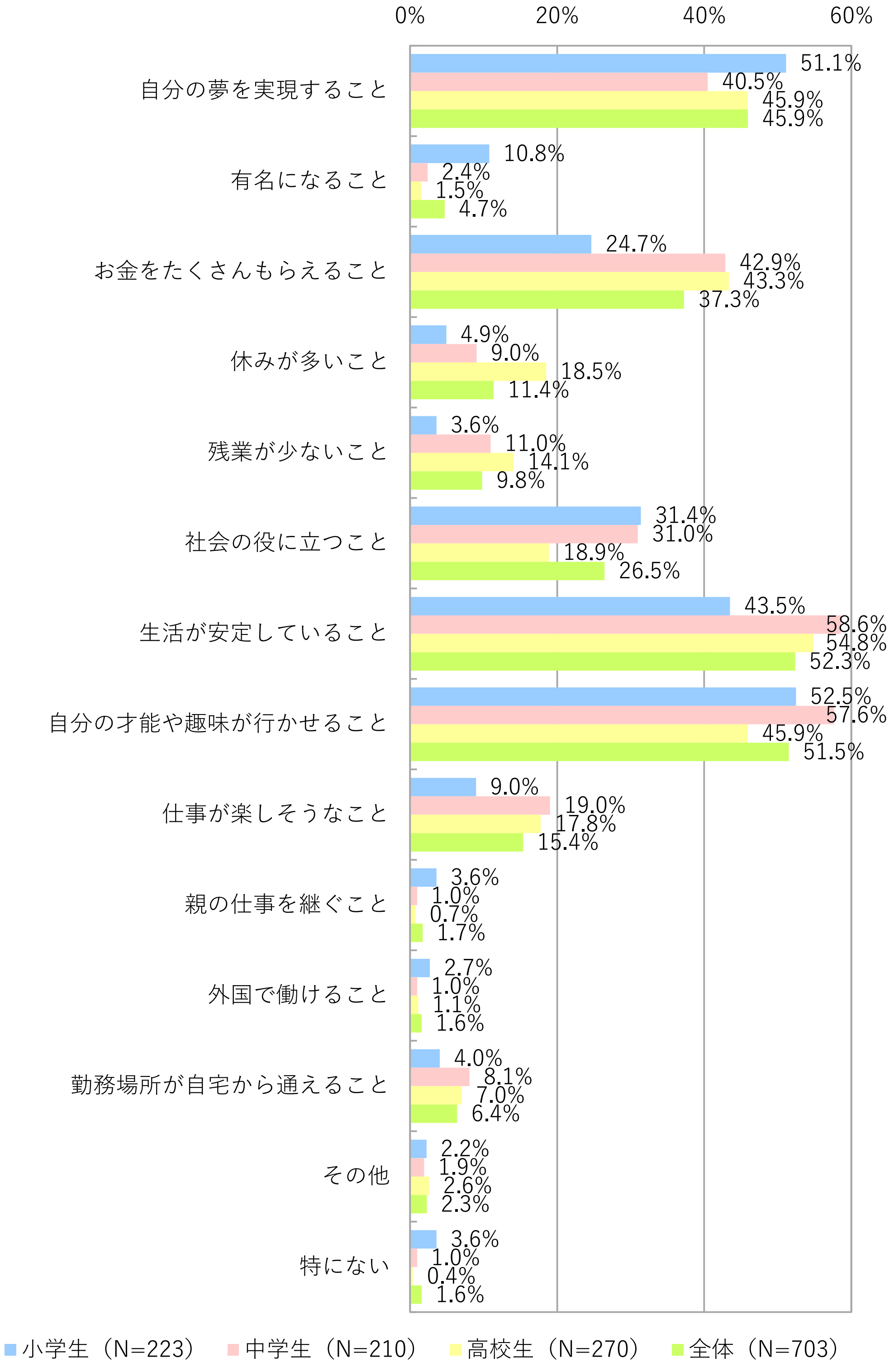
将来の仕事をきめるときに重要だと思うことは何ですか。 ＜あてはまるもの３つまでに○＞

・将来の仕事をきめる時に重要だと思うこととして、回答者の半数以上が選んでいるのは、全体では、「生活が安定していること」、「自分の才能や趣味が活かせること」です。

・回答者の半数以上が重要だと答えているのは、小学生は「自分の才能や趣味が活かせること」、「自分の夢を実現すること」、中学生は「生活が安定していること」「自分の才能や趣味が活かせること」、高校生は、「生活が安定していること」となっています。

図表　２－１－１６　将来の仕事を決める際に重要なこと

	小学生 (N=223)	中学生 (N=210)	高校生 (N=270)	全体 (N=703)
自分の夢を実現すること	51.1%	40.5%	45.9%	45.9%
有名になること	10.8%	2.4%	1.5%	4.7%
お金をたくさんもらえること	24.7%	42.9%	43.3%	37.3%
休みが多いこと	4.9%	9.0%	18.5%	11.4%
残業が少ないこと	3.6%	11.0%	14.1%	9.8%
社会の役に立つこと	31.4%	31.0%	18.9%	26.5%
生活が安定していること	43.5%	58.6%	54.8%	52.3%
自分の才能や趣味が活かせること	52.5%	57.6%	45.9%	51.5%
仕事が楽しそうなこと	9.0%	19.0%	17.8%	15.4%
親の仕事を継ぐこと	3.6%	1.0%	0.7%	1.7%
外国で働けること	2.7%	1.0%	1.1%	1.6%
勤務場所が自宅から通えること	4.0%	8.1%	7.0%	6.4%
その他	2.2%	1.9%	2.6%	2.3%
特にない	3.6%	1.0%	0.4%	1.6%


0%
20%
40%
60%
自分の夢を実現すること
51.1%
40.5%
45.9%
45.9%
有名になること
10.8%
2.4%
1.5%
4.7%
お金をたくさんもらえること
24.7%
42.9%
43.3%
37.3%
休みが多いこと
4.9%
9.0%
18.5%
11.4%
残業が少ないこと
3.6%
11.0%
14.1%
9.8%
社会の役に立つこと
31.4%
31.0%
18.9%
26.5%
生活が安定していること
43.5%
58.6%
54.8%
52.3%
自分の才能や趣味が行かせること
52.5%
57.6%
45.9%
51.5%
仕事が楽しそうなこと
9.0%
19.0%
17.8%
15.4%
親の仕事を継ぐこと
3.6%
1.0%
0.7%
1.7%
外国で働けること
2.7%
1.0%
1.1%
1.6%
勤務場所が自宅から通えること
4.0%
8.1%
7.0%
6.4%
その他
2.2%
1.9%
2.6%
2.3%
特にない
3.6%
1.0%
0.4%
1.6%
小学生（N=223）
中学生（N=210）
高校生（N=270）
全体（N=703）

図表　２－１－１７　将来の仕事を決める際に重要なこと（その他の内容と件数）

	小学生	中学生	高校生	全体
楽しくできる	2	1	2	5
仕事が好きであること	2	2	0	4
あこがれの人のようになれること	1	0	0	1
やりがい	0	0	1	1
違法でないこと	0	0	1	1
需要があること	0	0	1	1
人権がある	0	1	0	1
大切な人を守ることができること	0	0	1	1
部活したい	0	0	1	1

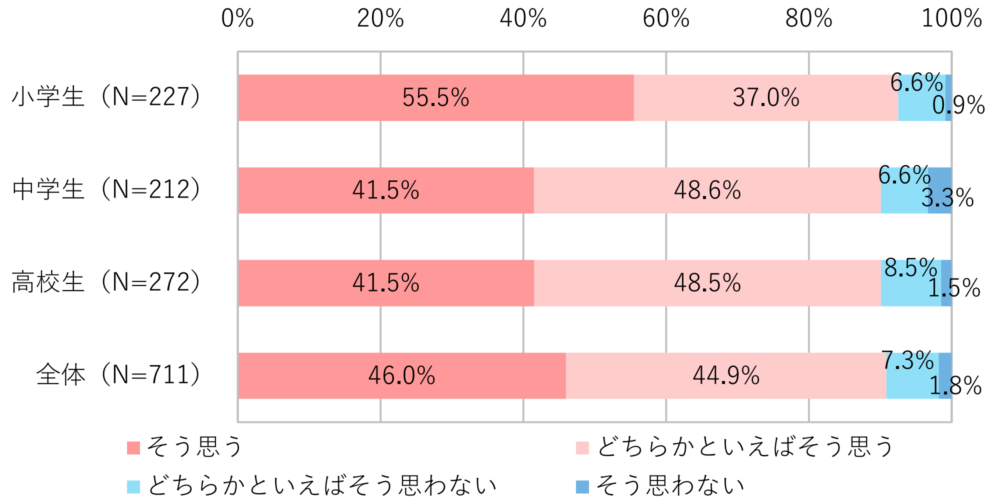
（８）社会参加

あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。
<あてはまるもの１つに〇>

・「社会のために役立つことをしたい」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が、全体では 90.9%を占めています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、小学生 92.5%、中学生 90.1%、高校生 90.0%です。

図表　２－１－１８　社会参加

	小学生(N=227)	中学生(N=212)	高校生(N=272)	全体(N=711)
そう思う	55.5%	41.5%	41.5%	46.0%
どちらかといえばそう思う	37.0%	48.6%	48.5%	44.9%
どちらかといえばそう思わない	6.6%	6.6%	8.5%	7.3%
そう思わない	0.9%	3.3%	1.5%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



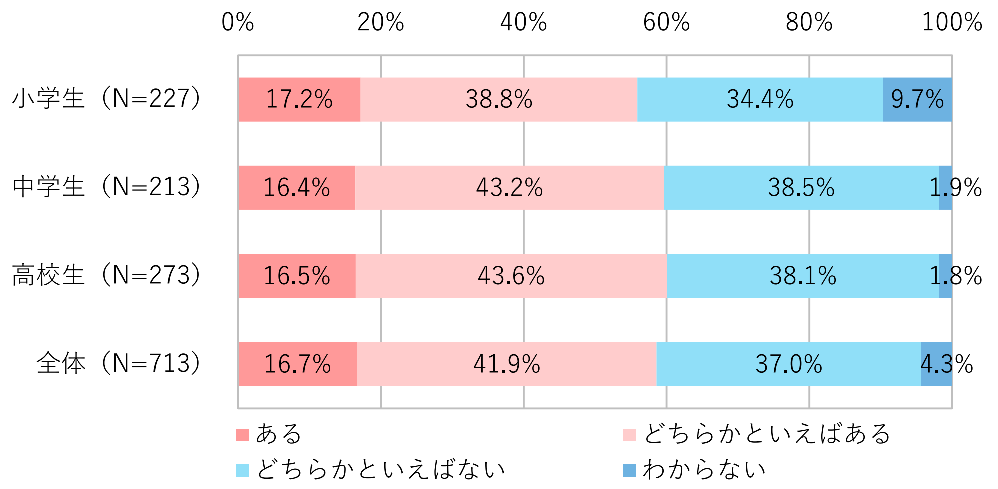
（９）ボランティア活動への興味

あなたは、ボランティア活動に興味がありますか。＜あてはまるもの１つに○＞

・「ボランティア活動への興味」については、「(興味が) ある」「どちらかといえばある」が、全体では58.6%を占めています。「(興味が) ある」「どちらかといえばある」の合計は、小学生 56.0%、中学生 59.6%、高校生 60.1%です。

図表　２－１－１９　ボランティア活動への興味

	小学生 (N=227)	中学生 (N=213)	高校生 (N=273)	全体 (N=713)
ある	17.2%	16.4%	16.5%	16.7%
どちらかといえばある	38.8%	43.2%	43.6%	41.9%
どちらかといえばない	34.4%	38.5%	38.1%	37.0%
わからない	9.7%	1.9%	1.8%	4.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



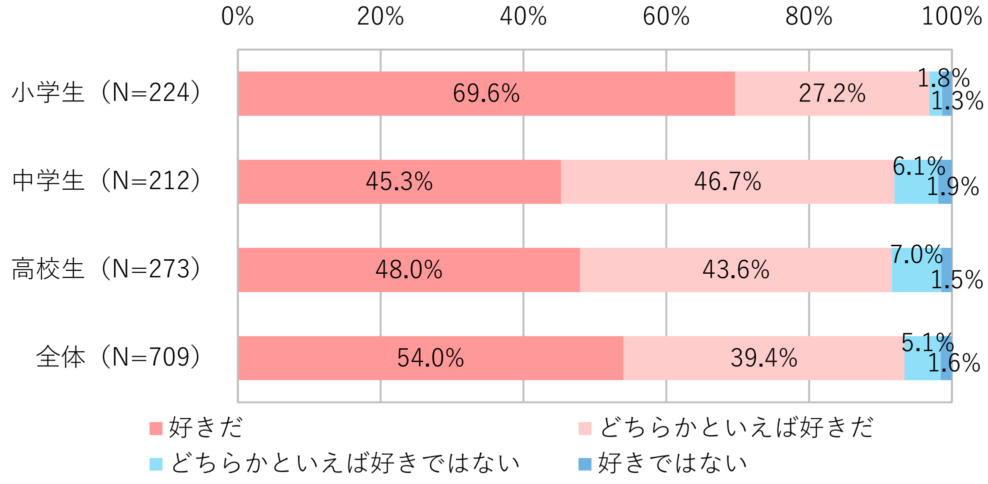
（１０）金沢市への愛着

あなたは、金沢市（あるいは住んでいる地域）が好きですか。 ＜あてはまるもの１つに〇＞

・「金沢市（あるいは住んでいる地域）」については、「好きだ」「どちらかといえば好きだ」が、全体では 93.4%を占めています。「好きだ」「どちらかといえば好きだ」の合計は、小学生が 96.8%、中学生は 92.0%、高校生は 91.6%です。

図表 ２－１－２０ 金沢市への愛着

	小学生 (N=224)	中学生 (N=212)	高校生 (N=273)	全体 (N=709)
好きだ	69.6%	45.3%	48.0%	54.0%
どちらかといえば好きだ	27.2%	46.7%	43.6%	39.4%
どちらかといえば好きではない	1.8%	6.1%	7.0%	5.1%
好きではない	1.3%	1.9%	1.5%	1.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



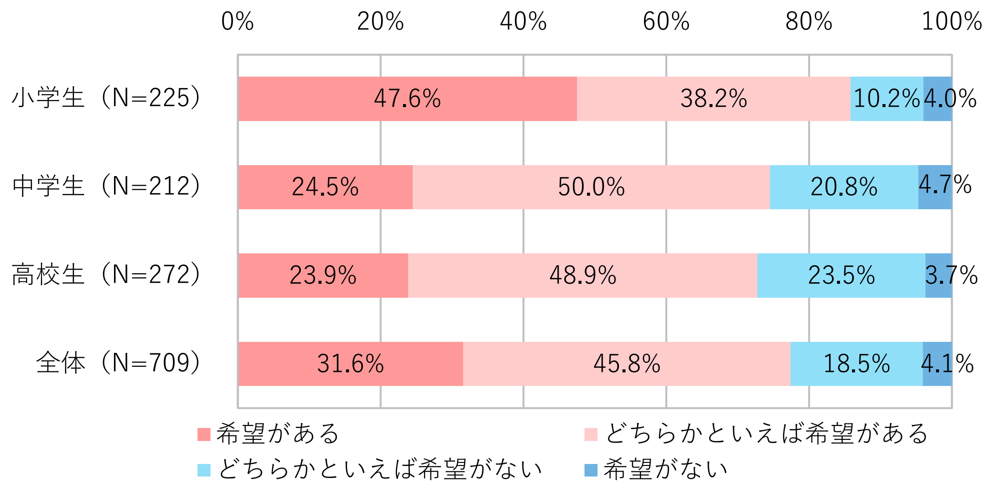
（１１）自分の将来への希望

あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。 ＜あてはまるもの１つに○＞

・「自分の将来への希望」については、「希望がある」「どちらかといえば希望がある」が、全体では 77.4%を占めています。「希望がある」「どちらかといえば希望がある」の合計は小学生 85.8%、中学生 74.5%、高校生 72.8%です。

図表　２－１－２１　自分の将来への希望

	小学生 (N=225)	中学生 (N=212)	高校生 (N=272)	全体 (N=709)
希望がある	47.6%	24.5%	23.9%	31.6%
どちらかといえば希望がある	38.2%	50.0%	48.9%	45.8%
どちらかといえば希望がない	10.2%	20.8%	23.5%	18.5%
希望がない	4.0%	4.7%	3.7%	4.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



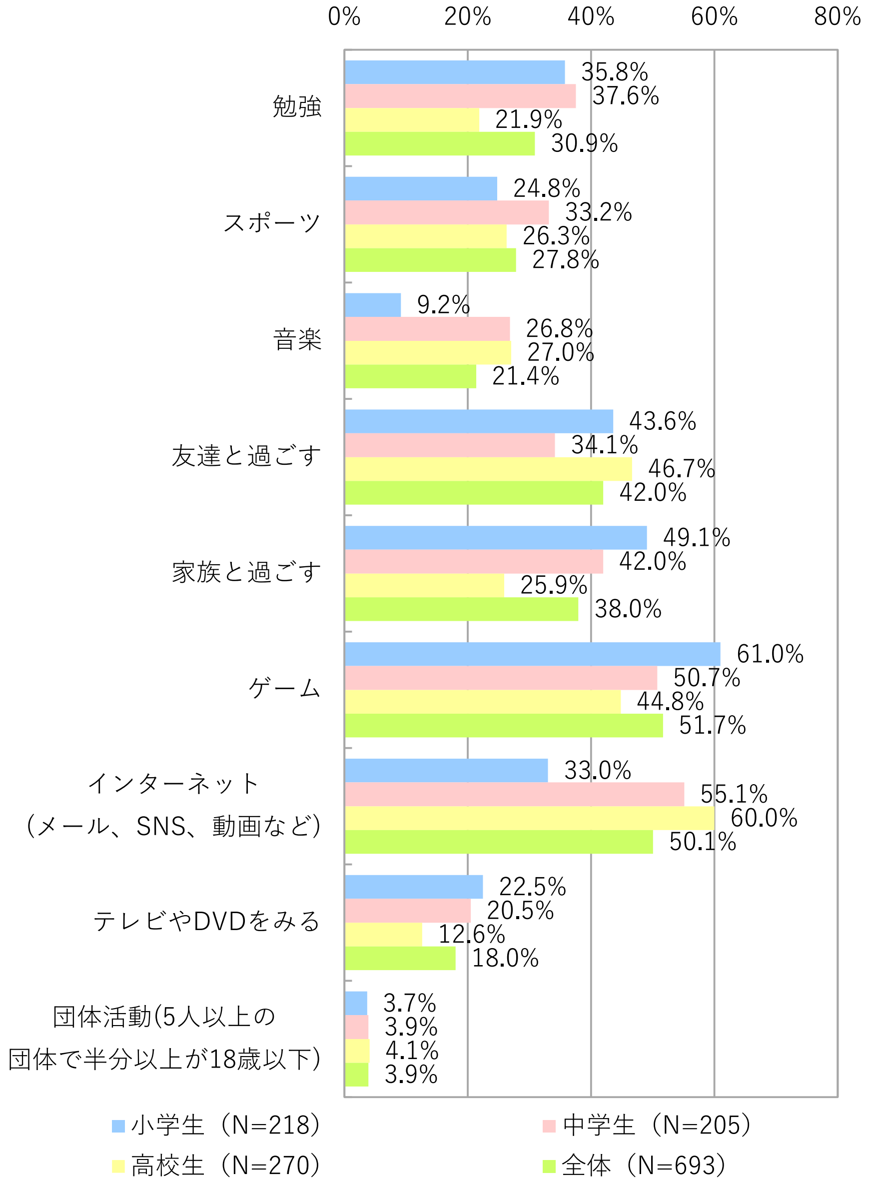
（１２）放課後や休みの日の過ごし方

放課後や休みの日はどのように過ごすことが多いですか。 ＜あてはまるもの３つまでに○＞

・「放課後や休みの日はどのように過ごし方」については、全体では、「ゲーム」が最も多く、次いで「インターネット(メール、SNS、動画など)」、「友達と過ごす」の順となっています。小学生は多いものから、「ゲーム」、「家族と過ごす」、「友達と過ごす」の順、中学生は、「インターネット(メール、SNS、動画など)」、「ゲーム」、「家族と過ごす」の順、高校生は「インターネット(メール、SNS、動画など)」、「友達と過ごす」、「ゲーム」の順となっています。

図表　２－１－２２　放課後や休みの日の過ごし方

	小学生 (N=218)	中学生 (N=205)	高校生 (N=270)	全体 (N=693)
勉強	35.8%	37.6%	21.9%	30.9%
スポーツ	24.8%	33.2%	26.3%	27.8%
音楽	9.2%	26.8%	27.0%	21.4%
友達と過ごす	43.6%	34.1%	46.7%	42.0%
家族と過ごす	49.1%	42.0%	25.9%	38.0%
ゲーム	61.0%	50.7%	44.8%	51.7%
インターネット(メール、SNS、動画など)	33.0%	55.1%	60.0%	50.1%
テレビや DVD をみる	22.5%	20.5%	12.6%	18.0%
団体活動(5 人以上の団体で半分以上が 18 歳以下)	3.7%	3.9%	4.1%	3.9%


0%
20%
40%
60%
80%
勉強
35.8%
37.6%
21.9%
30.9%
スポーツ
24.8%
33.2%
26.3%
27.8%
音楽
9.2%
26.8%
27.0%
21.4%
友達と過ごす
43.6%
34.1%
46.7%
42.0%
家族と過ごす
49.1%
42.0%
25.9%
38.0%
ゲーム
61.0%
50.7%
44.8%
51.7%
インターネット
（メール、SNS、動画など）
33.0%
55.1%
60.0%
50.1%
テレビやDVDをみる
22.5%
20.5%
12.6%
18.0%
団体活動(5人以上の
団体で半分以上が18歳以下)
3.7%
3.9%
4.1%
3.9%
小学生（N=218）
中学生（N=205）
高校生（N=270）
全体（N=693）

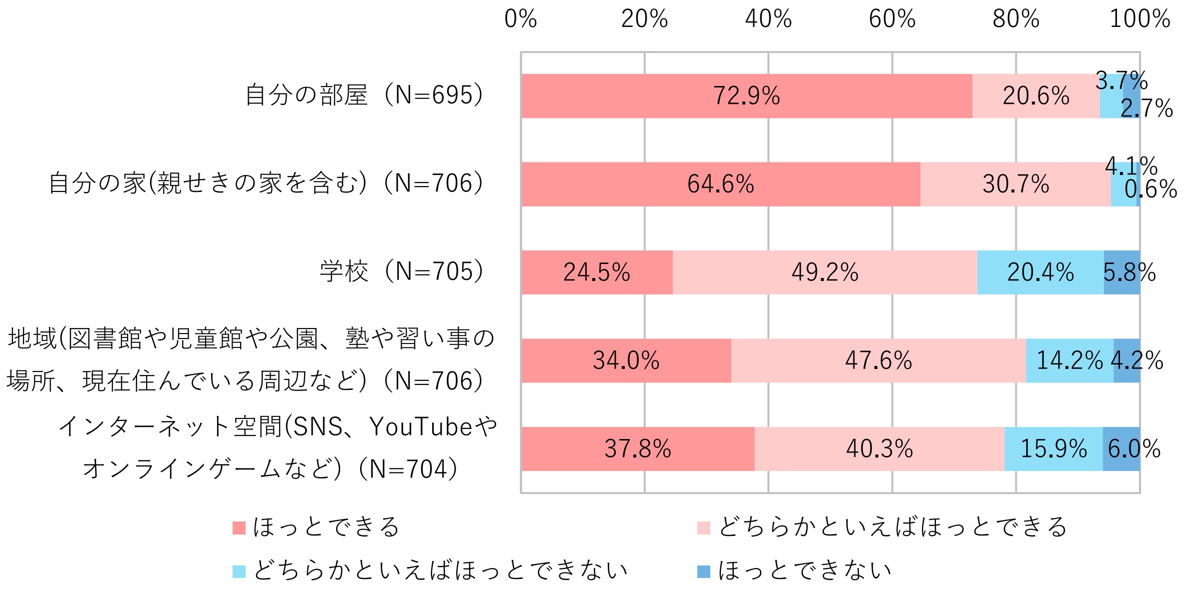
（１３）居場所について

① 全体

・「居場所」については、全体では、「ほっとできる」と答えた人の割合は、「自分の部屋」（72.9%）、「自分の家(親せきの家を含む)」（64.6%）、「学校」（24.5%）「地域(図書館や児童館や公園、塾や習い事の場所、現在住んでいる周辺など)」（34.0%）「インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)」（37.8%）となっています。

図表 ２－１－２３　居場所について

	ほっとできる	どちらかといえばほっとできる	どちらかといえばほっとできない	ほっとできない
自分の部屋（N=695）	72.9%	20.6%	3.7%	2.7%
自分の家(親せきの家を含む)（N=706）	64.6%	30.7%	4.1%	0.6%
学校（N=705）	24.5%	49.2%	20.4%	5.8%
地域(図書館や児童館や公園、塾や習い事の場所、現在住んでいる周辺など)（N=706）	34.0%	47.6%	14.2%	4.2%
インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)（N=704）	37.8%	40.3%	15.9%	6.0%

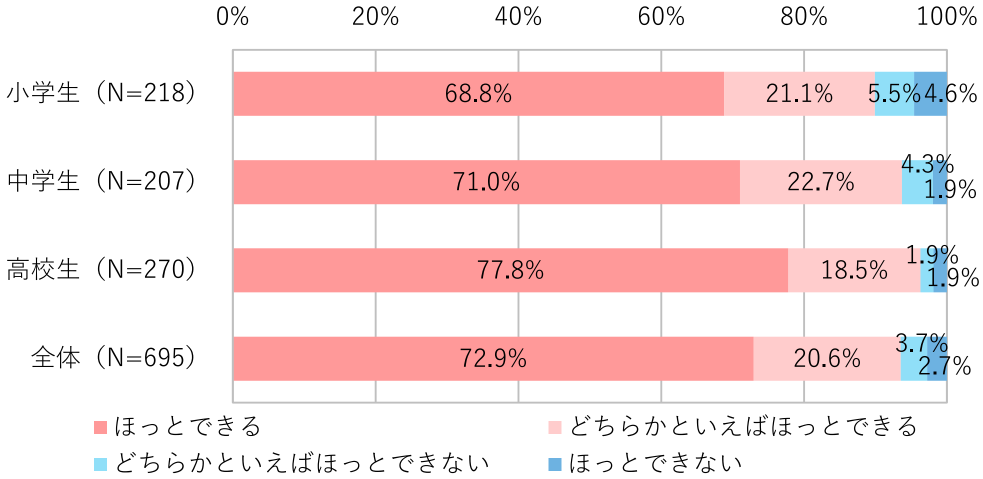


② 自分の部屋（属性別）

・「自分の部屋」については、「ほっとできる」、「どちらかといえばほっとできる」と答えた人は、小学生 89.9%、中学生 93.7%、高校生 96.3%です。

図表　２－１－２４　自分の部屋

	小学生(N=218)	中学生(N=207)	高校生(N=270)	全体(N=695)
ほっとできる	68.8%	71.0%	77.8%	72.9%
どちらかといえばほっとできる	21.1%	22.7%	18.5%	20.6%
どちらかといえばほっとできない	5.5%	4.3%	1.9%	3.7%
ほっとできない	4.6%	1.9%	1.9%	2.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

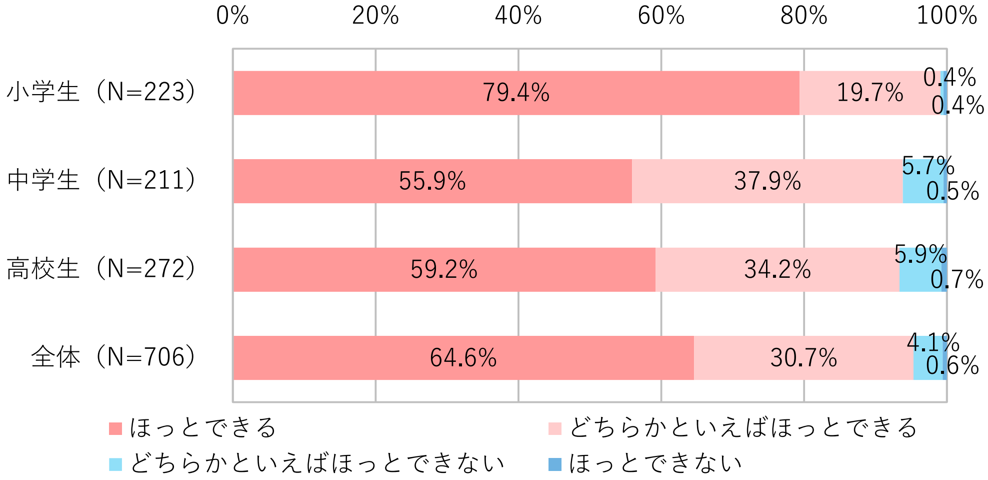


③ 自分の家（親せきの家を含む）（属性別）

・「自分の家（親せきの家を含む）」については、「ほっとできる」、「どちらかといえばほっとできる」と答えた人は、小学生 99.1%、中学生 93.8%、高校生 93.4%です。

図表　２－１－２５　自分の家（親せきの家を含む）

項目	小学生(N=223)	中学生(N=211)	高校生(N=272)	全体(N=706)
ほっとできる	79.4%	55.9%	59.2%	64.6%
どちらかといえばほっとできる	19.7%	37.9%	34.2%	30.7%
どちらかといえばほっとできない	0.4%	5.7%	5.9%	4.1%
ほっとできない	0.4%	0.5%	0.7%	0.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

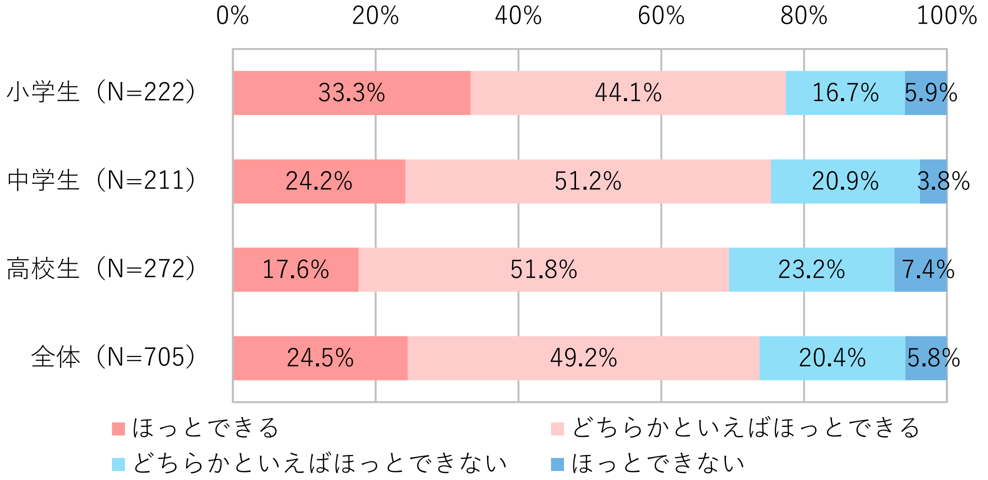


④ 学校

・「学校」については、「ほっとできる」と答えた人の割合は、「ほっとできる」、「どちらかといえばほっとできる」と答えた人は、小学生 77.4%、中学生 75.4%、高校生 69.4%です。

図表　２－１－２６　学校

	小学生 (N=222)	中学生 (N=211)	高校生 (N=272)	全体 (N=705)
ほっとできる	33.3%	24.2%	17.6%	24.5%
どちらかといえばほっとできる	44.1%	51.2%	51.8%	49.2%
どちらかといえばほっとできない	16.7%	20.9%	23.2%	20.4%
ほっとできない	5.9%	3.8%	7.4%	5.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

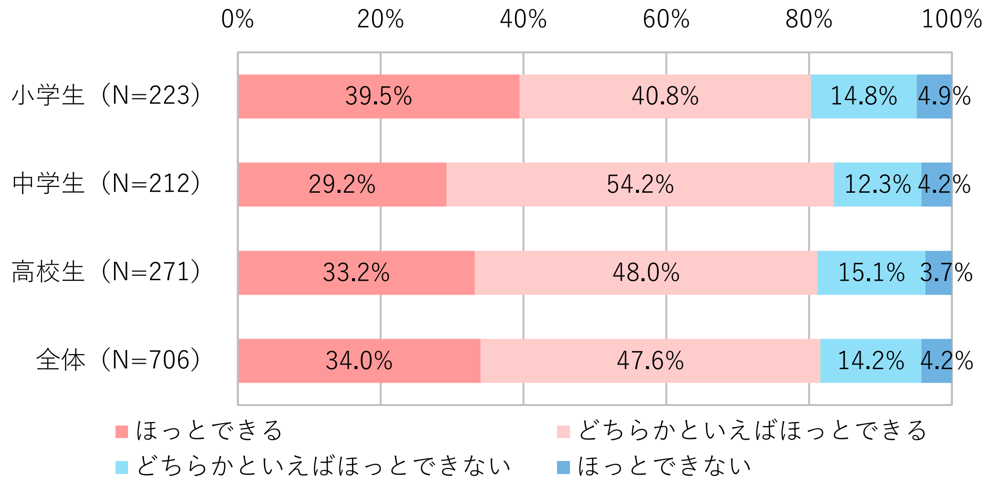


⑤ 地域（図書館や児童館や公園、塾や習い事の場所、現在住んでいる周辺など）

・「 地域（図書館や児童館や公園、塾や習い事の場所、現在住んでいる周辺など)」については、「ほっとできる」、「どちらかといえばほっとできる」と答えた人は、小学生 80.3%、中学生 83.4%、高校生 81.2%です。

図表 ２－１－２７　地域（図書館や児童館や公園、塾や習い事の場所、現在住んでいる周辺など）

	小学生 (N=223)	中学生 (N=212)	高校生 (N=271)	全体 (N=706)
ほっとできる	39.5%	29.2%	33.2%	34.0%
どちらかといえばほっとできる	40.8%	54.2%	48.0%	47.6%
どちらかといえばほっとできない	14.8%	12.3%	15.1%	14.2%
ほっとできない	4.9%	4.2%	3.7%	4.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

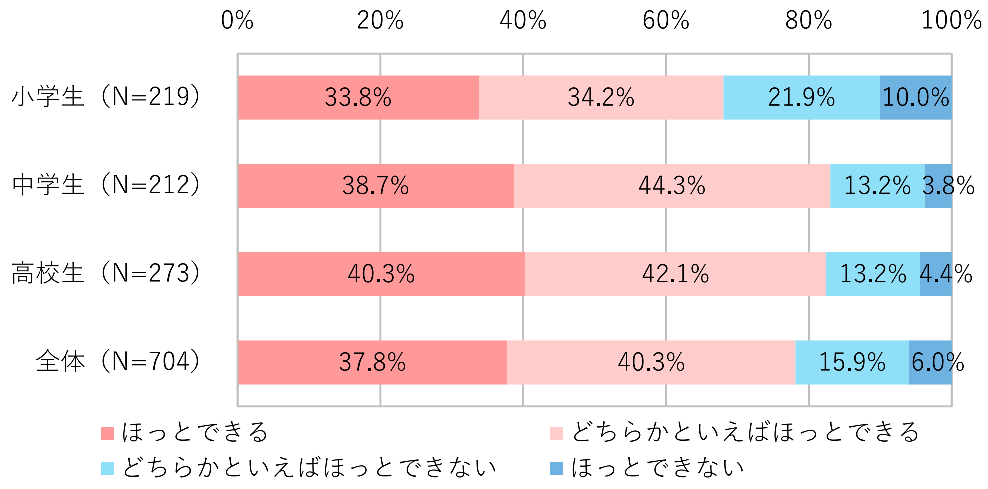


⑥ インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

・「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」については、「ほっとできる」、「どちらかといえばほっとできる」と答えた人は、小学生 68.0%、中学生 83.0%、高校生 82.4%です。

図表　２－１－２８　インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

項目	小学生（N=219）	中学生（N=212）	高校生（N=273）	全体（N=704）
ほっとできる	33.8%	38.7%	40.3%	37.8%
どちらかといえばほっとできる	34.2%	44.3%	42.1%	40.3%
どちらかといえばほっとできない	21.9%	13.2%	13.2%	15.9%
ほっとできない	10.0%	3.8%	4.4%	6.0%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



（１４）家族・親せきとの関わり

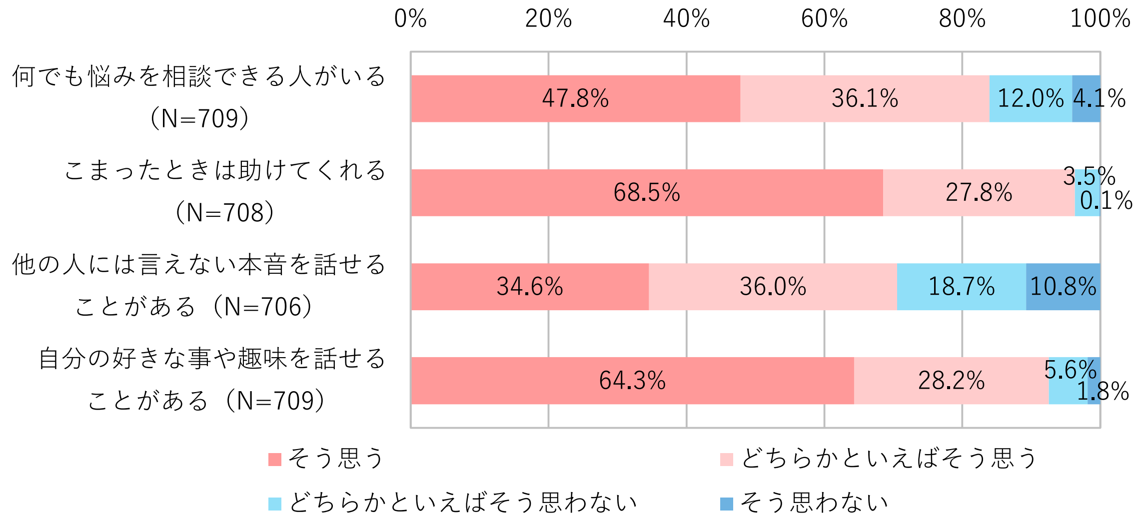
① 全体

・「家族・親せきとの関わり」については、全体では、「そう思う」「どちらかとそう思う」と答えた人の割合は、「何でも悩みを相談できる人がいる」（83.9%）、「こまったときは助けてくれる」（96.3%）、「他の人には言えない本音を話せることがある」（70.6%）「自分の好きな事や趣味を話せることがある」（92.5%）となっています。

図表　２－１－２９　家族・親せきとの関わり

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
何でも悩みを相談できる人がいる（N=709）	47.8%（相談できる）	36.1%（どちらかといえば相談できる）	12.0%（どちらかといえば相談できる）	4.1%（相談できない）
こまったときは助けてくれる（N=708）	68.5%（助けてくれる）	27.8%（どちらかといえば助けてくれる）	3.5%（どちらかといえば助けてくれない）	0.1%（助けてくれない）
他の人には言えない本音を話せることがある（N=706）	34.6%（話せる）	36.0%（どちらかといえば話せる）	18.7%（どちらかといえば話せない）	10.8%（話せない）
自分の好きな事や趣味を話せることがある（N=709）	64.3%（話せる）	28.2%（どちらかといえば話せる）	5.6%（どちらかといえば話せない）	1.8%（話せない）

※（　）内は、アンケート設問での選択肢

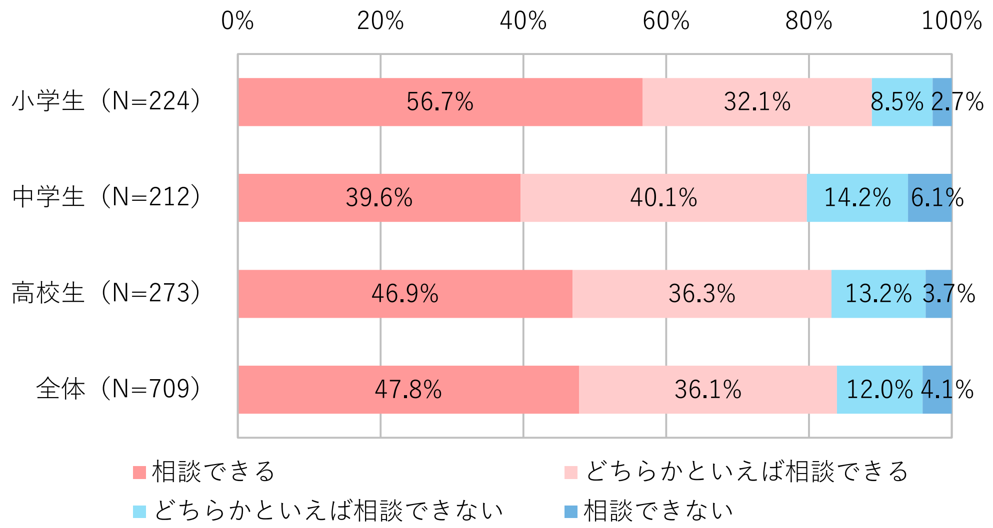


② 何でも悩みを相談できる人がいる（属性別）

・「家族・親せきとの関わり」で「何でも悩みを相談できる人がいる」かとの問いについては、「相談できる」、「どちらかといえば相談できる」と答えた人の合計は、小学生88.8%、中学生79.7%、高校生83.2%です。

図表　２－１－３０　何でも悩みを相談できる人がいる

	小学生 (N=224)	中学生 (N=212)	高校生 (N=273)	全体 (N=709)
相談できる	56.7%	39.6%	46.9%	47.8%
どちらかといえば相談できる	32.1%	40.1%	36.3%	36.1%
どちらかといえば相談できない	8.5%	14.2%	13.2%	12.0%
相談できない	2.7%	6.1%	3.7%	4.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

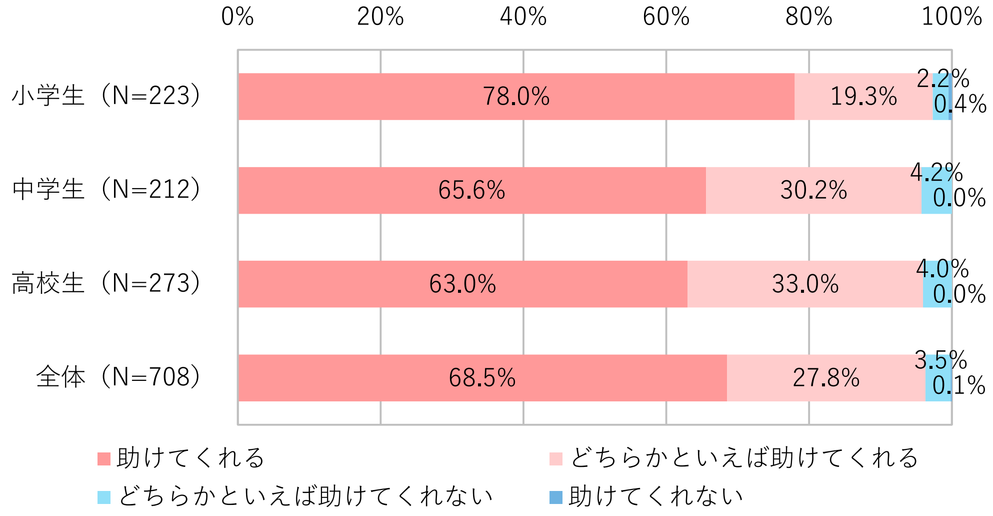


③ こまったときには助けてくれる（属性別）

・「家族・親せきとの関わり」で「こまったときには助けてくれる」かとの問いについては、「助けてくれる」、「どちらかといえば助けてくれる」と答えた人の合計は、小学生 97.3%、中学生 95.8%、高校生 96.0%です。

図表　２－１－３１　こまったときには助けてくれる

	小学生 (N=223)	中学生 (N=212)	高校生 (N=273)	全体 (N=708)
助けてくれる	78.0%	65.6%	63.0%	68.5%
どちらかといえば助けてくれる	19.3%	30.2%	33.0%	27.8%
どちらかといえば助けてくれない	2.2%	4.2%	4.0%	3.5%
助けてくれない	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

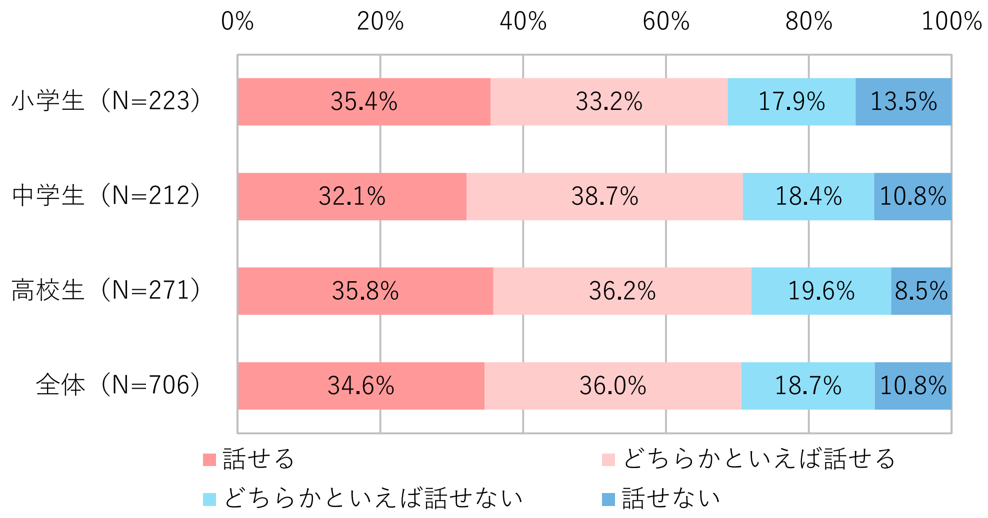


④ 他の人には言えない本音を話せることがある（属性別）

・「家族・親せきとの関わり」で「他の人には言えない本音を話せることがある」かとの問いについては、「話せる」、「どちらかといえば話せる」と答えた人の合計は、小学生 68.6%、中学生 70.8%、高校生 72.0%です。

図表　２－１－３２　他の人には言えない本音を話せることがある

	小学生 (N=223)	中学生 (N=212)	高校生 (N=271)	全体 (N=706)
話せる	35.4%	32.1%	35.8%	34.6%
どちらかといえば話せる	33.2%	38.7%	36.2%	36.0%
どちらかといえば話せない	17.9%	18.4%	19.6%	18.7%
話せない	13.5%	10.8%	8.5%	10.8%

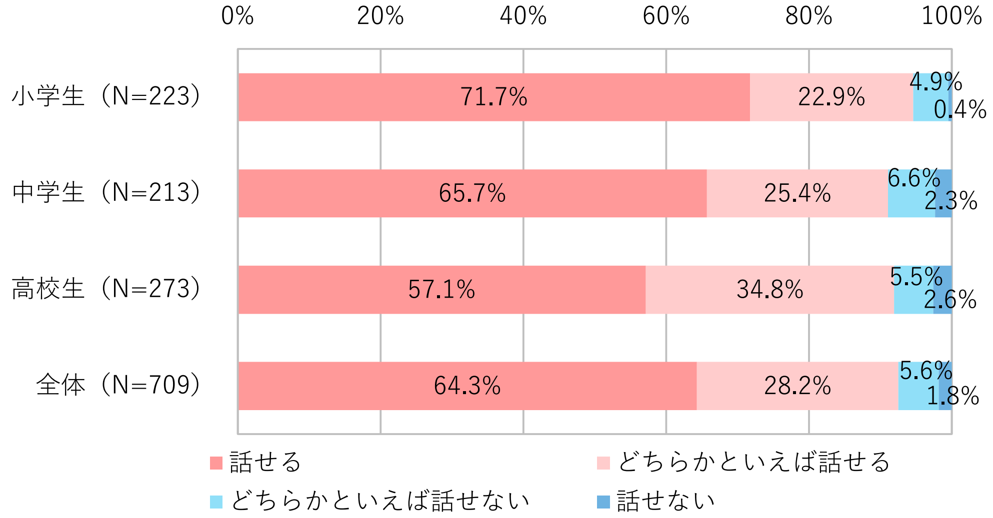


⑤ 自分の好きなことや趣味を話せることがある（属性別）

・「家族・親せきとの関わり」で「自分の好きなことや趣味を話せることがある」かとの問いについては、「話せる」、「どちらかといえば話せる」と答えた人の合計は、小学生 94.6%、中学生 91.1%、高校生 91.9%です。

図表　２－１－３３　自分の好きなことや趣味を話せることがある

	小学生 (N=223)	中学生 (N=213)	高校生 (N=273)	全体 (N=709)
話せる	71.7%	65.7%	57.1%	64.3%
どちらかといえば話せる	22.9%	25.4%	34.8%	28.2%
どちらかといえば話せない	4.9%	6.6%	5.5%	5.6%
話せない	0.4%	2.3%	2.6%	1.8%



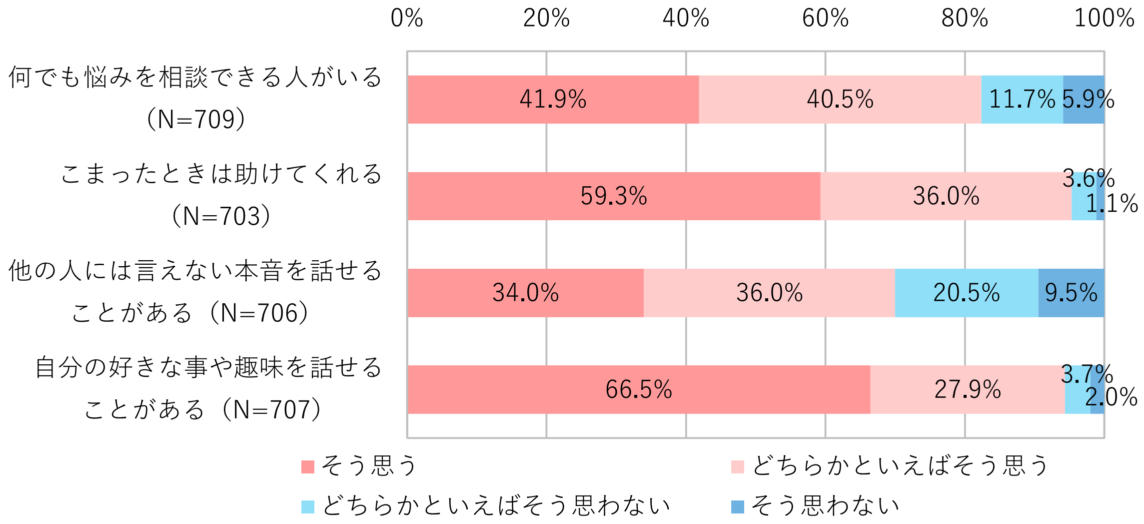
（１５）学校や塾や習い事などで出会った友だちとの関わり

① 全体

・「学校や塾や習い事などで出会った友だちとの関わり」については、全体では、「そう思う」「どちらかとそう思う」と答えた人の割合は、「何でも悩みを相談できる人がいる」（82.4%）、「こまったときは助けてくれる」（95.3%）、「他の人には言えない本音を話せることがある」（70.0%）「自分の好きな事や趣味を話せることがある」（94.4%）となっています。

図表　２－１－３４　学校や塾や習い事などで出会った友だちとの関わり

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
何でも悩みを相談できる人がいる（N=709）	41.9%	40.5%	11.7%	5.9%
こまったときには助けてくれる（N=703）	59.3%	36.0%	3.6%	1.1%
他の人には言えない本音を話せることがある（N=706）	34.0%	36.0%	20.5%	9.5%
自分の好きなことや趣味を話せることがある（N=707）	66.5%	27.9%	3.7%	2.0%

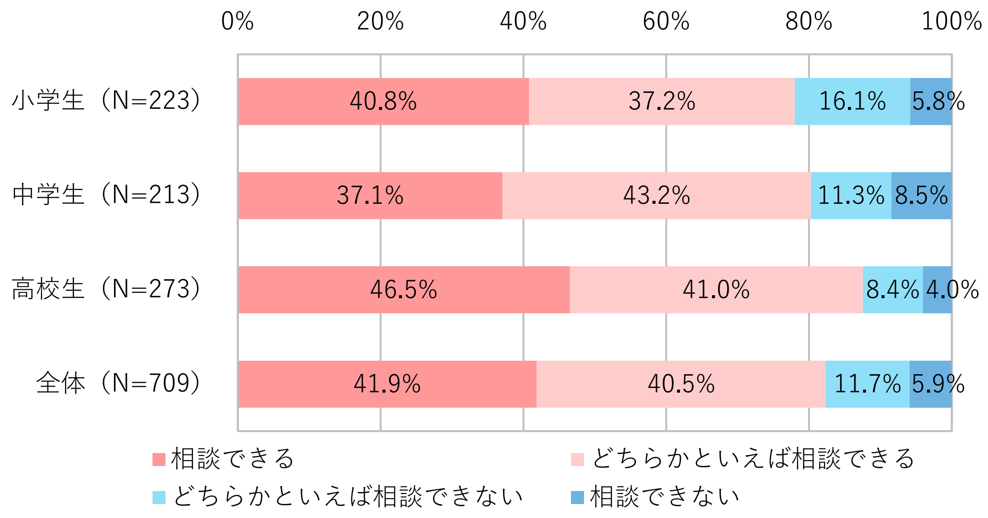


② 何でも悩みを相談できる人がいる（属性別）

・「学校や塾や習い事などで出会った友だちとの関わり」で「何でも悩みを相談できる人がいる」かとの問いについては、「話せる」「どちらかといえば話せる」の合計は小学生78.0%、中学生80.3%、高校生87.5%です。

図表 ２－１－３５ 何でも悩みを相談できる人がいる

	小学生（N=223）	中学生（N=213）	高校生（N=273）	全体（N=709）
相談できる	40.8%	37.1%	46.5%	41.9%
どちらかといえば相談できる	37.2%	43.2%	41.0%	40.5%
どちらかといえば相談できない	16.1%	11.3%	8.4%	11.7%
相談できない	5.8%	8.5%	4.0%	5.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

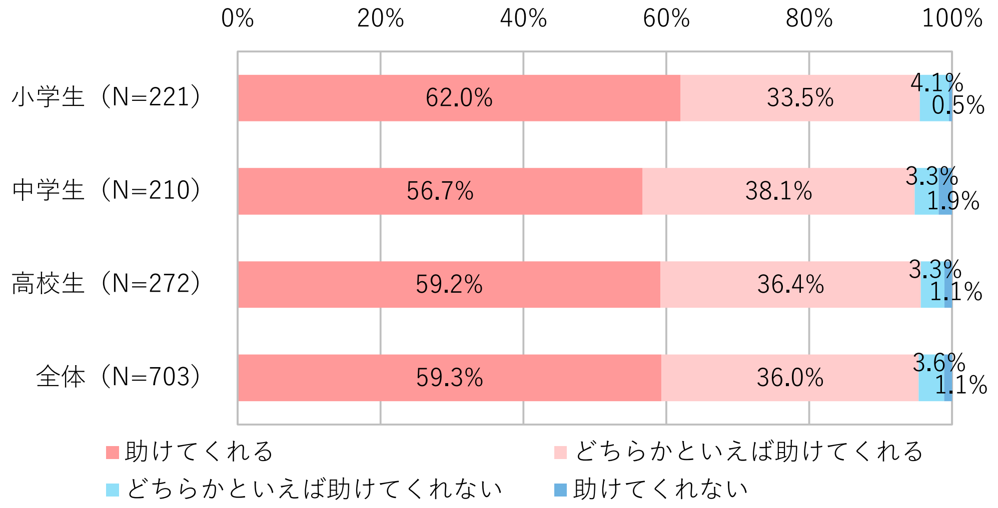


③ こまったときには助けてくれる（属性別）

・「学校や塾や習い事などで出会った友だちとの関わり」で「こまったときには助けてくれる」かとの問いについては、「助けてくれる」、「どちらかといえば助けてくれる」の合計は、小学生 95.5%、中学生 94.8%、高校生 95.6%です。

図表　２－１－３６　こまったときには助けてくれる

	小学生 (N=221)	中学生 (N=210)	高校生 (N=272)	全体 (N=703)
助けてくれる	62.0%	56.7%	59.2%	59.3%
どちらかといえば助けてくれる	33.5%	38.1%	36.4%	36.0%
どちらかといえば助けてくれない	4.1%	3.3%	3.3%	3.6%
助けてくれない	0.5%	1.9%	1.1%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

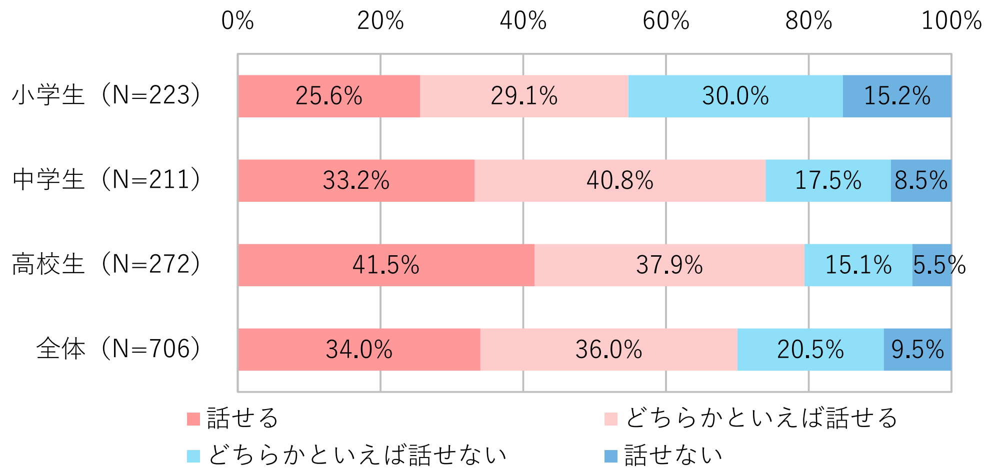


④ 他の人には言えない本音を話せることがある（属性別）

・「学校や塾や習い事などで出会った友だちとの関わり」で「他の人には言えない本音を話せることがある」かとの問いについては、「話せる」、「どちらかといえば話せる」の合計は小学生 54.7%、中学生 74.0%、高校生 79.4 です。

図表　２－１－３７　他の人には言えない本音を話せることがある

	小学生 (N=223)	中学生 (N=211)	高校生 (N=272)	全体 (N=706)
話せる	25.6%	33.2%	41.5%	34.0%
どちらかといえば話せる	29.1%	40.8%	37.9%	36.0%
どちらかといえば話せない	30.0%	17.5%	15.1%	20.5%
話せない	15.2%	8.5%	5.5%	9.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

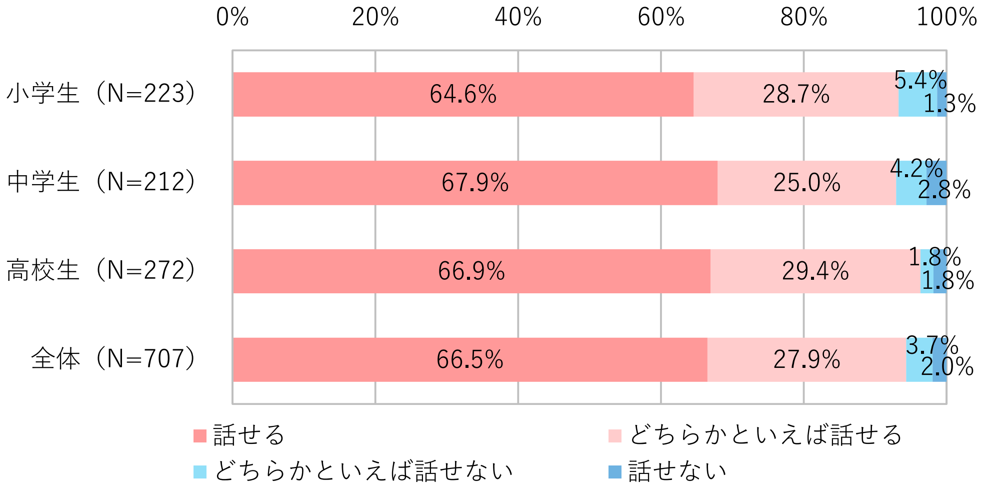


⑤ 自分の好きなことや趣味を話せることがある（属性別）

・「学校や塾や習い事などで出会った友だちとの関わり」で「自分の好きなことや趣味を話せることがある」かとの問いについては、「話せる」、「どちらかといえば話せる」の合計は小学生 93.3%、中学生 92.9%、高校生 96.3%です。

図表　２－１－３８　自分の好きなことや趣味を話せることがある

	小学生 (N=223)	中学生 (N=212)	高校生 (N=272)	全体 (N=707)
話せる	64.6%	67.9%	66.9%	66.5%
どちらかといえば話せる	28.7%	25.0%	29.4%	27.9%
どちらかといえば話せない	5.4%	4.2%	1.8%	3.7%
話せない	1.3%	2.8%	1.8%	2.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



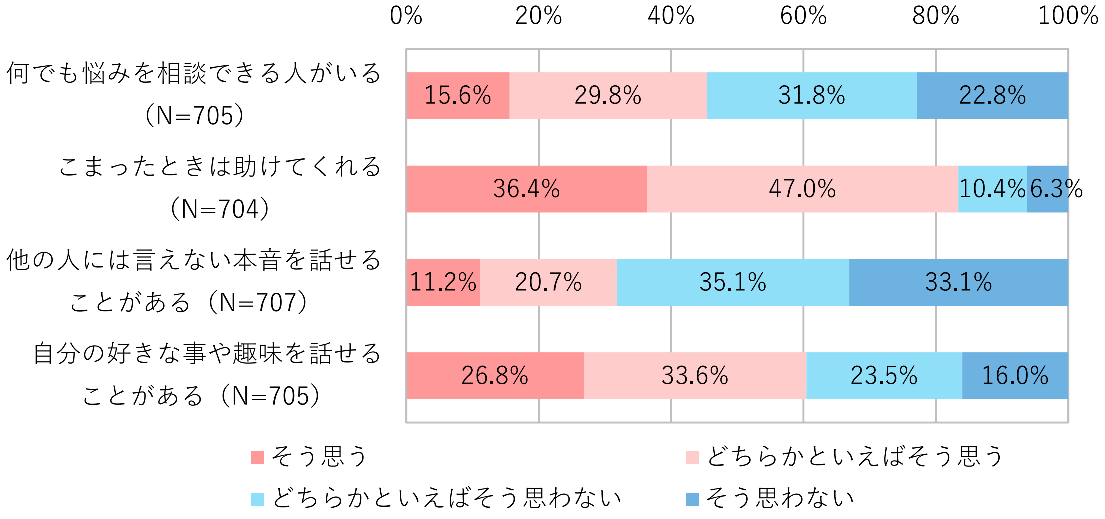
（１６）地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）との関わり

① 全体

・「地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）」については、全体では、「そう思う」「どちらかとそう思う」と答えた人の割合は、「何でも悩みを相談できる人がいる」（45.4%）、「こまったときは助けてくれる」（83.4%）、「他の人には言えない本音を話せることがある」（31.9%）「自分の好きな事や趣味を話せることがある」（60.4%）となっています。

図表　２－１－３９　地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）との関わり

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
何でも悩みを相談できる人がいる（N=705）	15.6%	29.8%	31.8%	22.8%
こまったときは助けてくれる（N=704）	36.4%	47.0%	10.4%	6.3%
他の人には言えない本音を話せることがある（N=707）	11.2%	20.7%	35.1%	33.1%
自分の好きな事や趣味を話せることがある（N=705）	26.8%	33.6%	23.5%	16.0%

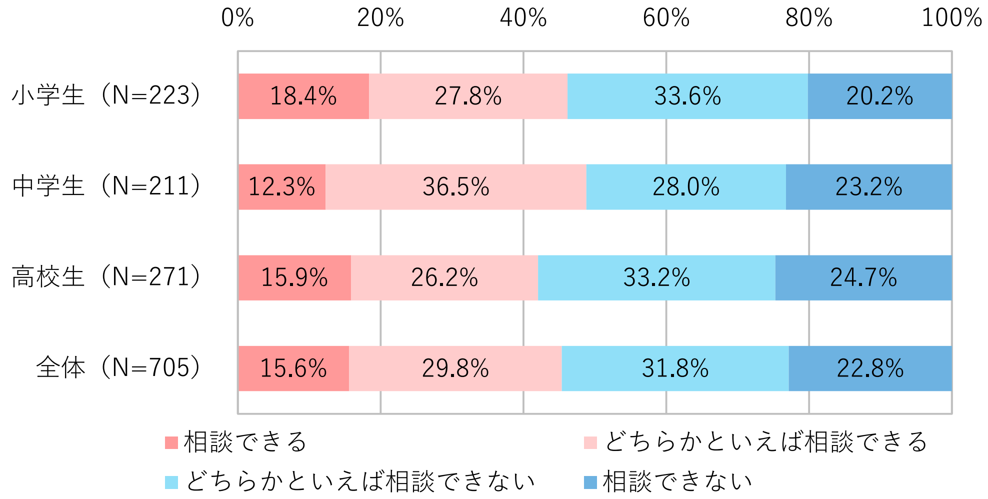


② 何でも悩みを相談できる人がいる（属性別）

・「地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）」に「何でも悩みを相談できる人がいる」かとの問いについては、「話せる」「どちらかといえば話せる」の合計は小学生 46.2%、中学生 48.8%、高校生 42.1%です。

図表　２－１－４０　何でも悩みを相談できる人がいる

	小学生 (N=223)	中学生 (N=211)	高校生 (N=271)	全体 (N=705)
相談できる	18.4%	12.3%	15.9%	15.6%
どちらかといえば相談できる	27.8%	36.5%	26.2%	29.8%
どちらかといえば相談できない	33.6%	28.0%	33.2%	31.8%
相談できない	20.2%	23.2%	24.7%	22.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

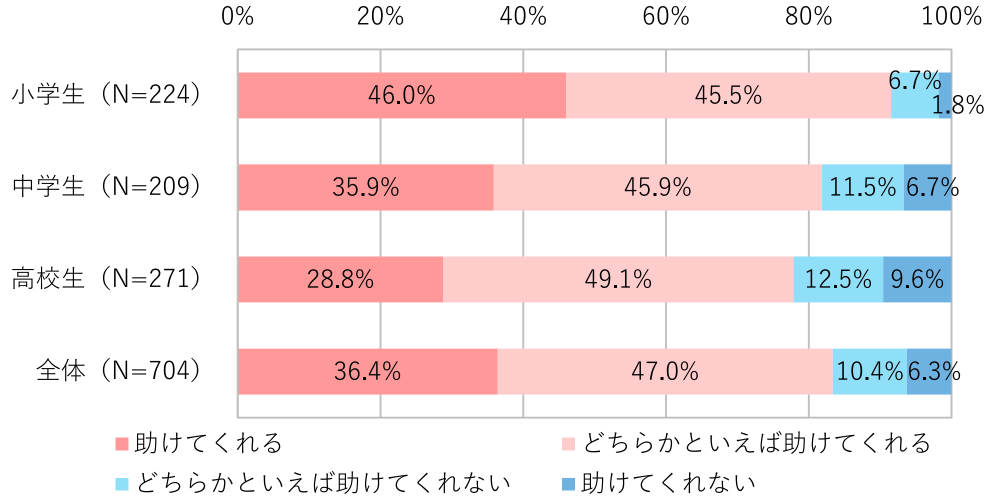


③ こまったときには助けてくれる（属性別）

・「地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）」が「こまったときには助けてくれる」かとの問いについては、「助けてくれる」、「どちらかといえば助けてくれる」の合計は、小学生 91.5%、中学生 81.8%、高校生 77.9%です。

図表　２－１－４１　こまったときには助けてくれる

	小学生 (N=224)	中学生 (N=209)	高校生 (N=271)	全体 (N=704)
助けてくれる	46.0%	35.9%	28.8%	36.4%
どちらかといえば助けてくれる	45.5%	45.9%	49.1%	47.0%
どちらかといえば助けてくれない	6.7%	11.5%	12.5%	10.4%
助けてくれない	1.8%	6.7%	9.6%	6.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

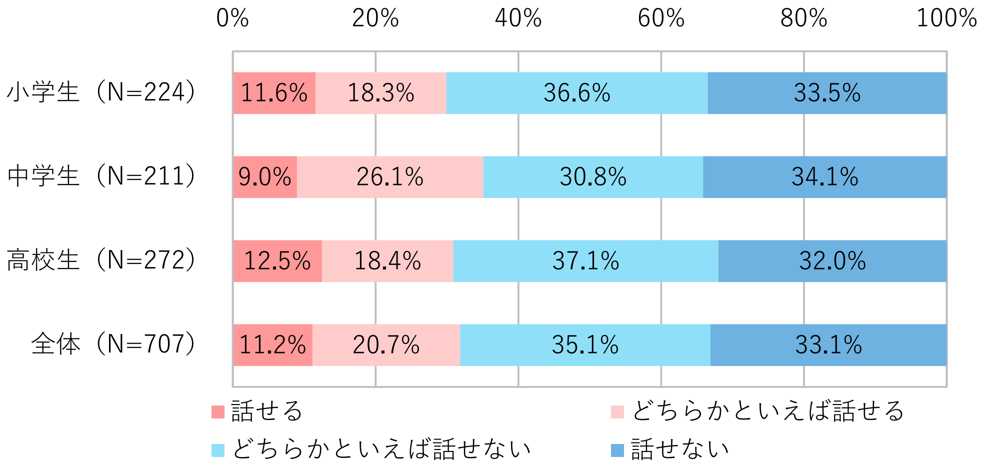


④ 他の人には言えない本音を話せることがある（属性別）

・「地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）」に「他の人には言えない本音を話せることがある」かとの問いについては、「話せる」「どちらかといえば話せる」の合計は小学生 29.9%、中学生 35.1%、高校生 30.9%です。

図表　２－１－４２　他の人には言えない本音を話せることがある

	小学生(N=224)	中学生(N=211)	高校生(N=272)	全体(N=707)
話せる	11.6%	9.0%	12.5%	11.2%
どちらかといえば話せる	18.3%	26.1%	18.4%	20.7%
どちらかといえば話せない	36.6%	30.8%	37.1%	35.1%
話せない	33.5%	34.1%	32.0%	33.1%
話せる	11.6%	9.0%	12.5%	11.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

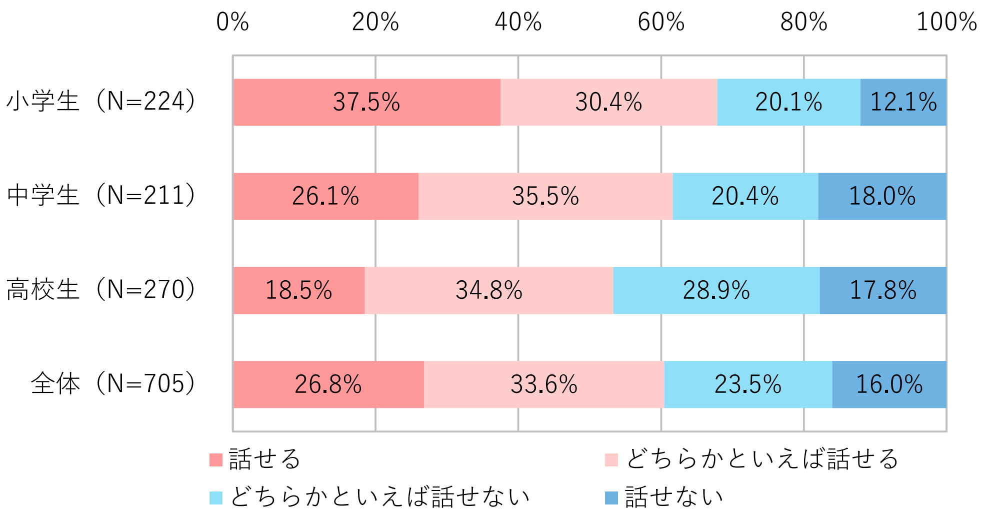


⑤ 自分の好きなことや趣味を話せることがある（属性別）

・「地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）」に「自分の好きなことや趣味を話せることがある」かとの問いについては、「話せる」「どちらかといえば話せる」の合計は小学生 67.9%、中学生 61.6%、高校生 53.3%です。

図表 ２－１－４３　自分の好きなことや趣味を話せることがある

	小学生(N=224)	中学生(N=211)	高校生(N=270)	全体(N=705)
話せる	37.5%	26.1%	18.5%	26.8%
どちらかといえば話せる	30.4%	35.5%	34.8%	33.6%
どちらかといえば話せない	20.1%	20.4%	28.9%	23.5%
話せない	12.1%	18.0%	17.8%	16.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



（１７）インターネットの利用

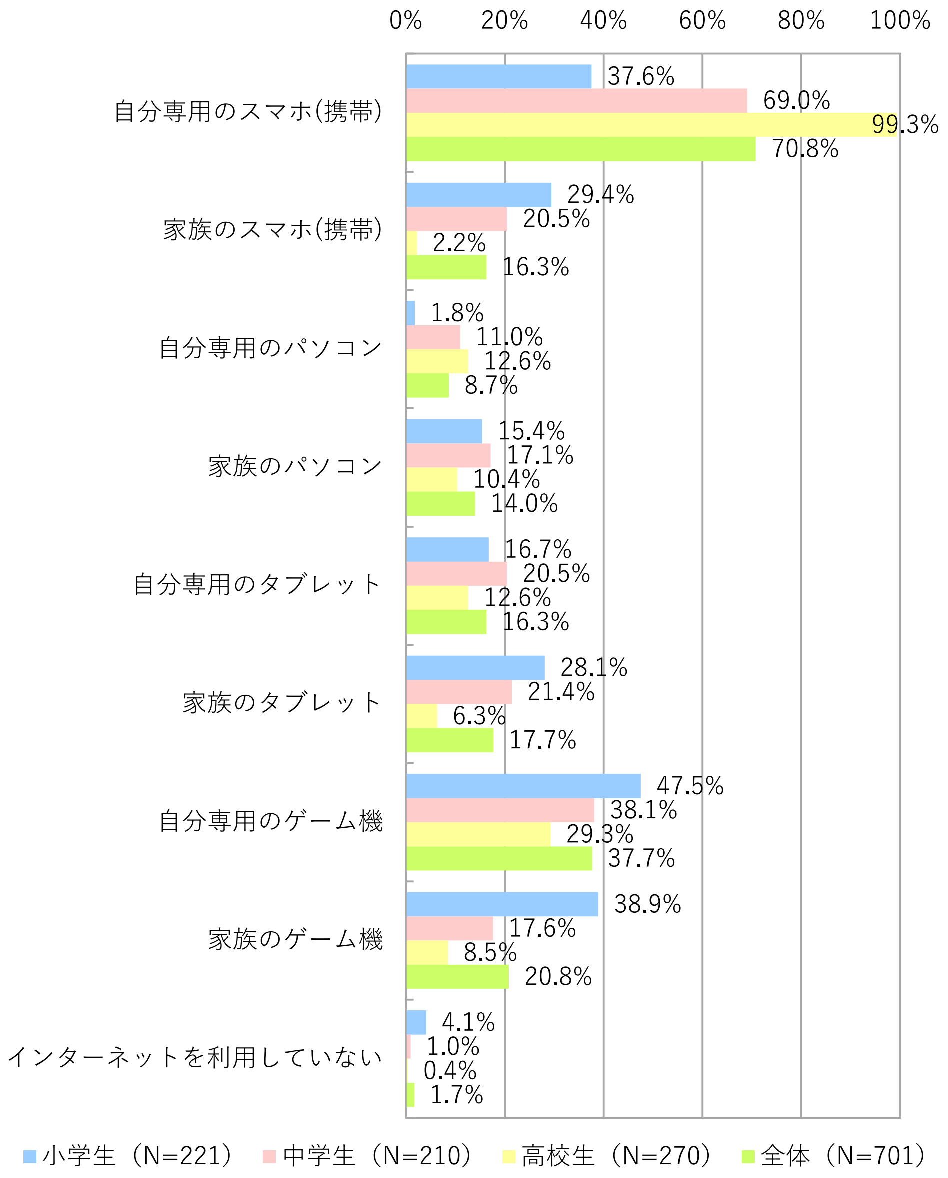
あなたは何を使ってインターネットを利用していますか。 ＜あてはまるもの３つまでに○＞

・「インターネットの利用」については、全体の 70.8%が「自分専用のスマホ（携帯)」、37.7%が「自分専用のゲーム機」と答えています。

・小学生では、多い順に「自分専用のゲーム機」、「家族のゲーム機」、「自分専用のスマホ(携帯)」と答えています。中学生では、多い順に「自分専用のスマホ(携帯)」、「自分専用のゲーム機」、「家族のタブレット」と答えています。高校生では、「自分専用のスマホ(携帯)」が 99.3%を占め、「自分専用のゲーム機」が 29.3%です。

図表 ２－１－４４ インターネットの利用

	小学生 (N=221)	中学生 (N=210)	高校生 (N=270)	全体 (N=701)
自分専用のスマホ(携帯)	37.6%	69.0%	99.3%	70.8%
家族のスマホ(携帯)	29.4%	20.5%	2.2%	16.3%
自分専用のパソコン	1.8%	11.0%	12.6%	8.7%
家族のパソコン	15.4%	17.1%	10.4%	14.0%
自分専用のタブレット	16.7%	20.5%	12.6%	16.3%
家族のタブレット	28.1%	21.4%	6.3%	17.7%
自分専用のゲーム機	47.5%	38.1%	29.3%	37.7%
家族のゲーム機	38.9%	17.6%	8.5%	20.8%
インターネットを利用していない	4.1%	1.0%	0.4%	1.7%


0%
20%
40%
60%
80%
100%
自分専用のスマホ(携帯)
37.6%
69.0%
99.3%
70.8%
家族のスマホ(携帯)
29.4%
20.5%
2.2%
16.3%
自分専用のパソコン
1.8%
11.0%
12.6%
8.7%
家族のパソコン
15.4%
17.1%
10.4%
14.0%
自分専用のタブレット
16.7%
20.5%
12.6%
16.3%
家族のタブレット
28.1%
21.4%
6.3%
17.7%
自分専用のゲーム機
47.5%
38.1%
29.3%
37.7%
家族のゲーム機
38.9%
17.6%
8.5%
20.8%
インターネットを利用していない
4.1%
1.0%
0.4%
1.7%
小学生（N=221）
中学生（N=210）
高校生（N=270）
全体（N=701）

（１８）インターネットの利用時間

あなたは１日、どのくらいの時間、インターネットを利用していますか。 ＜あてはまるもの１つに○＞

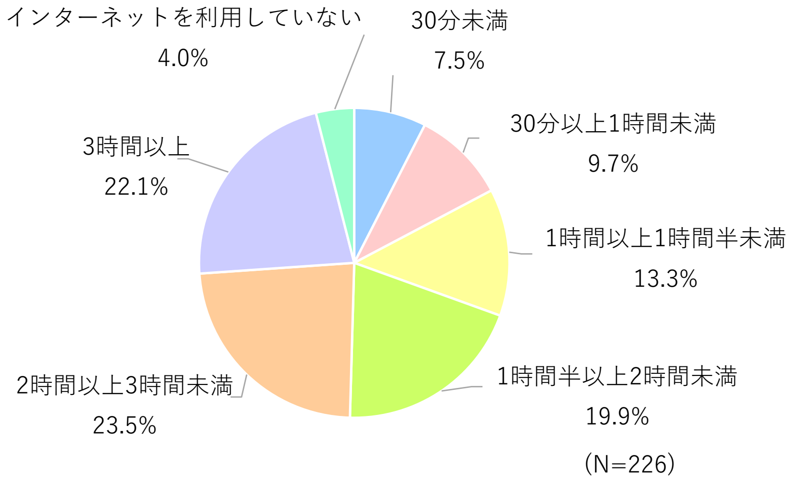
・「インターネットの利用時間」については、全体では最も多いのが「3 時間以上」、次いで「2時間以上3時間未満」、「1時間半以上2時間未満」で、2時間以上が 59.3%を占めます。

・インターネットを 2 時間以上利用している生徒の割合は、小学生 45.6%、中学生 59.5%、高校生 70.6%です。

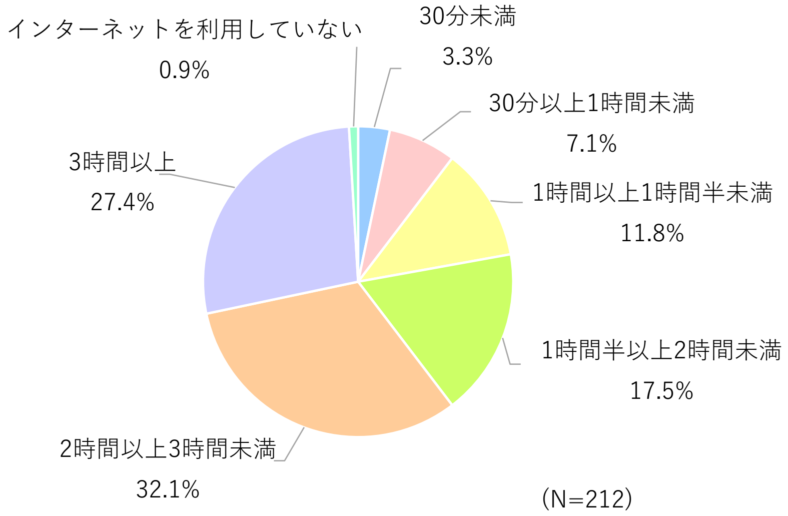
図表　２－１－４５　インターネットの利用時間

	小学生 (N=226)	中学生 (N=212)	高校生 (N=272)	全体 (N=710)
30 分未満	7.5%	3.3%	0.4%	3.5%
30 分以上 1 時間未満	9.7%	7.1%	1.8%	5.9%
1 時間以上 1 時間半未満	13.3%	11.8%	7.0%	10.4%
1 時間半以上 2 時間未満	19.9%	17.5%	19.9%	19.2%
2 時間以上 3 時間未満	23.5%	32.1%	23.5%	26.1%
3 時間以上	22.1%	27.4%	47.1%	33.2%
インターネットを利用していない	4.0%	0.9%	0.4%	1.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

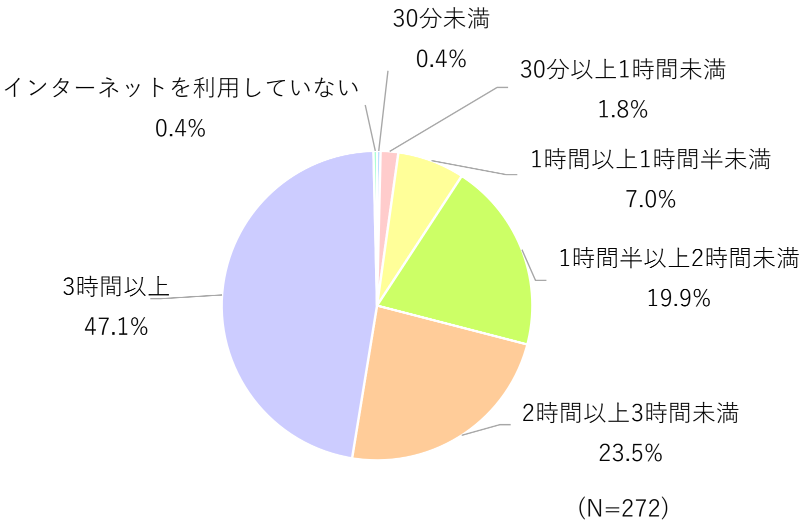
【小学生】



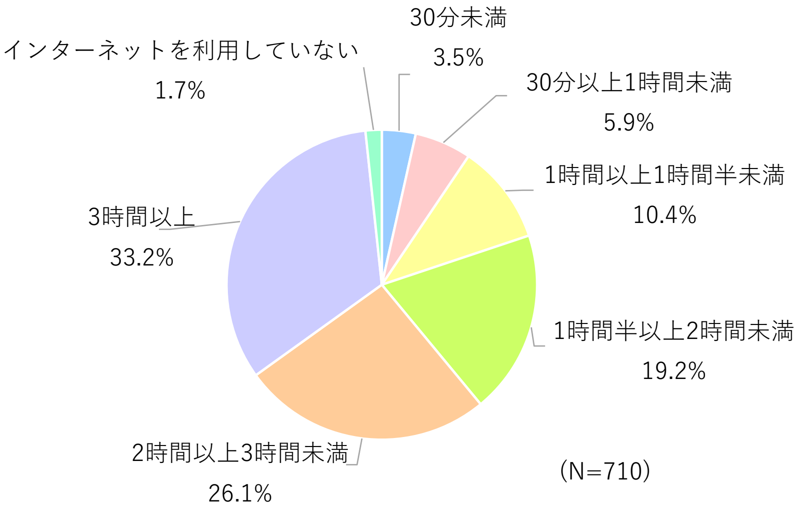
【中学生】


インターネットを利用していない
0.9%
30分未満
3.3%
30分以上1時間未満
7.1%
1時間以上1時間半未満
11.8%
1時間半以上2時間未満
17.5%
2時間以上3時間未満
32.1%
3時間以上
27.4%
(N=212)

【高校生】


30分未満
0.4%
インターネットを利用していない
0.4%
30分以上1時間未満
1.8%
1時間以上1時間半未満
7.0%
1時間半以上2時間未満
19.9%
2時間以上3時間未満
23.5%
3時間以上
47.1%
(N=272)

【全体】


インターネットを利用していない
1.7%
30分未満
3.5%
30分以上1時間未満
5.9%
1時間以上1時間半未満
10.4%
1時間半以上2時間未満
19.2%
2時間以上3時間未満
26.1%
3時間以上
33.2%
(N=710)

（１９）インターネットのトラブル

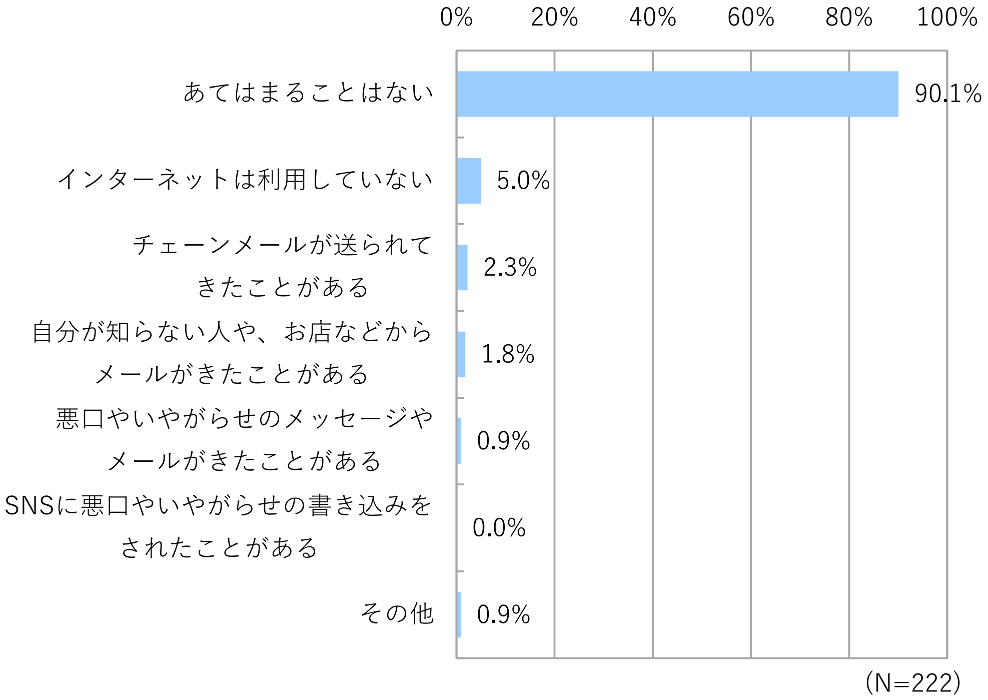
インターネットを利用していてのトラブルであてはまるものはあります？ ＜あてはまるもの 3 つまでに○＞

① 小学生

・小学生の「インターネットを利用していてのトラブル」については、90. 1%が「あてはまることはない」と回答しています。

図表　２－１－４６　小学生_インターネットのトラブル

	小学生（N=222）
あてはまることはない	90. 1%
インターネットは利用していない	5. 0%
チェーンメールが送られてきたことがある	2. 3%
自分が知らない人や、お店などからメールがきたことがある	1. 8%
悪口やいやがらせのメッセージやメールがきたことがある	0. 9%
SNS に悪口やいやがらせの書き込みをされたことがある	0. 0%
その他	0. 9%



図表　２－１－４７　小学生_インターネットのトラブル（その他の内容と件数）

	小学生
ライブ配信中に本名や住所を言ってしまったことがある。	1

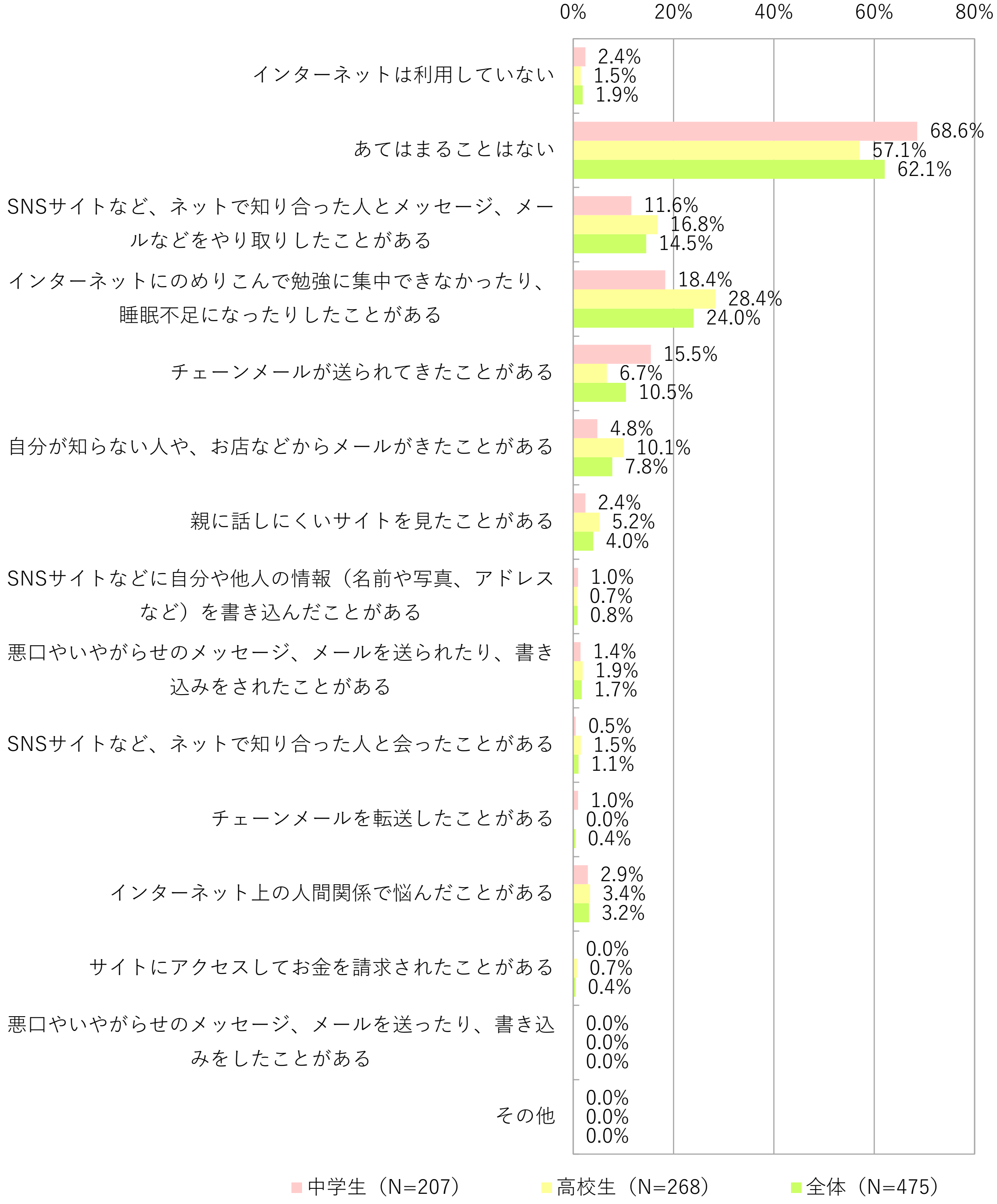
② 中・高校生

・中学生と高校生の「インターネットを利用していてのトラブル」については、中学生では 68.6%、高校生では 57.1%が「あてはまることはない」と回答しています。

・中学生・高校生ともに、最も多いトラブルは、「インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがある」です。

図表 ２－１－４８ 中・高校生_インターネットのトラブル

	中学生 (N=207)	高校生 (N=268)	全体 (N=475)
インターネットは利用していない	2.4%	1.5%	1.9%
あてはまることはない	68.6%	57.1%	62.1%
SNS サイトなど、ネットで知り合った人とメッセージ、メールなどをやり取りしたことがある	11.6%	16.8%	14.5%
インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがある	18.4%	28.4%	24.0%
チェーンメールが送られてきたことがある	15.5%	6.7%	10.5%
自分が知らない人や、お店などからメールがきたことがある	4.8%	10.1%	7.8%
親に話しにくいサイトを見たことがある	2.4%	5.2%	4.0%
SNS サイトなどに自分や他人の情報（名前や写真、アドレスなど）を書き込んだことがある	1.0%	0.7%	0.8%
悪口やいやがらせのメッセージ、メールを送られたり、書き込みをされたことがある	1.4%	1.9%	1.7%
SNS サイトなど、ネットで知り合った人と会ったことがある	0.5%	1.5%	1.1%
チェーンメールを転送したことがある	1.0%	0.0%	0.4%
インターネット上の人間関係で悩んだことがある	2.9%	3.4%	3.2%
サイトにアクセスしてお金を請求されたことがある	0.0%	0.7%	0.4%
悪口やいやがらせのメッセージ、メールを送ったり、書き込みをしたことがある	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%


0%
20%
40%
60%
80%
インターネットは利用していない
2.4%
1.5%
1.9%
あてはまることはない
68.6%
57.1%
62.1%
SNSサイトなど、ネットで知り合った人とメッセージ、メールなどをやり取りしたことがある
11.6%
16.8%
14.5%
インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがある
18.4%
28.4%
24.0%
チェーンメールが送られてきたことがある
15.5%
6.7%
10.5%
自分が知らない人や、お店などからメールがきたことがある
4.8%
10.1%
7.8%
親に話しにくいサイトを見たことがある
2.4%
5.2%
4.0%
SNSサイトなどに自分や他人の情報（名前や写真、アドレスなど）を書き込んだことがある
1.0%
0.7%
0.8%
悪口やいやがらせのメッセージ、メールを送られたり、書き込みをされたことがある
1.4%
1.9%
1.7%
SNSサイトなど、ネットで知り合った人と会ったことがある
0.5%
1.5%
1.1%
チェーンメールを転送したことがある
1.0%
0.0%
0.4%
インターネット上の人間関係で悩んだことがある
2.9%
3.4%
3.2%
サイトにアクセスしてお金を請求されたことがある
0.0%
0.7%
0.4%
悪口やいやがらせのメッセージ、メールを送ったり、書き込みをしたことがある
0.0%
0.0%
0.0%
その他
0.0%
0.0%
0.0%
中学生（N=207）
高校生（N=268）
全体（N=475）

（２０）インターネットの利用ルール有無（中・高校生）

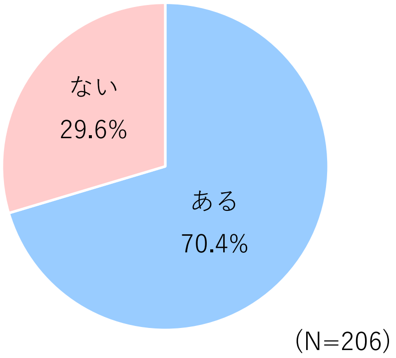
あなたの家庭で、インターネット利用のルールはありますか。 ＜あてはまるもの１つに○＞

・「家庭でのインターネット利用のルール」については、中学生は、70.4%が「ある」と答え、高校生は 73.2%が「ない」と回答しています。

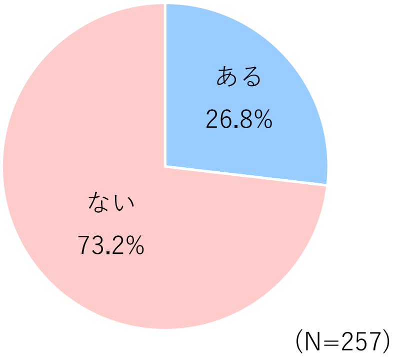
図表　２－１－４９　中・高校生_インターネットの利用ルール有無

	中学生（N=206）	高校生（N=257）	全体（N=463）
ある	70.4%	26.8%	46.2%
ない	29.6%	73.2%	53.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

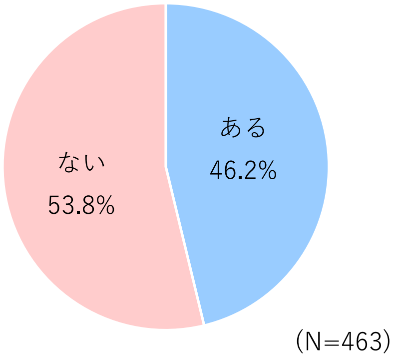
【中学生】



【高校生】



【全体】



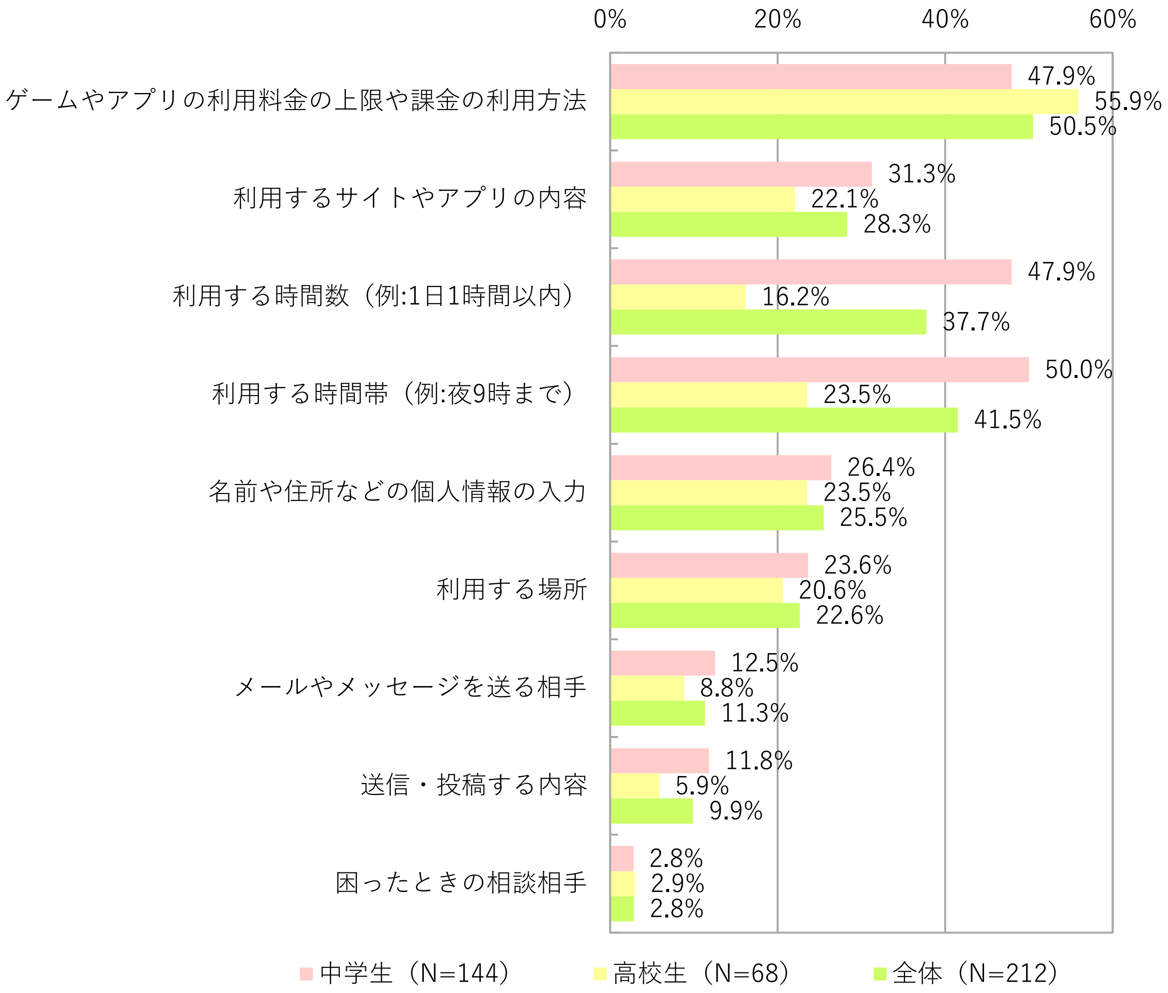
（２１）インターネットの利用ルールの内容（中・高校生）

「1. ある」と回答した方におたずねします。家庭でのインターネット利用のルールは何ですか。<あてはまるもの１つに○>

・「家庭でのインターネット利用のルール」が「ある」と答えた人のルールの内容は、中学生は、「利用する時間帯（例:夜 9 時まで）」が最も多く 50.0%、次いで「利用する時間数（例:1 時間以内）」と「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」が 47.9%です。高校生では、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」が最も多く 55.9%、次いで「利用する時間帯」と「名前や住所などの個人情報の入力」が同率で 23.5%です。

図表 ２－１－５０　中・高校生_インターネットの利用ルールの内容

	中学生 (N=144)	高校生 (N=68)	全体 (N=212)
ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法	47.9%	55.9%	50.5%
利用するサイトやアプリの内容	31.3%	22.1%	28.3%
利用する時間数（例:1 日 1 時間以内）	47.9%	16.2%	37.7%
利用する時間帯（例:夜 9 時まで）	50.0%	23.5%	41.5%
名前や住所などの個人情報の入力	26.4%	23.5%	25.5%
利用する場所	23.6%	20.6%	22.6%
メールやメッセージを送る相手	12.5%	8.8%	11.3%
送信・投稿する内容	11.8%	5.9%	9.9%
困ったときの相談相手	2.8%	2.9%	2.8%


0%
20%
40%
60%
ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法
47.9%
55.9%
50.5%
利用するサイトやアプリの内容
31.3%
22.1%
28.3%
利用する時間数（例:1日1時間以内）
47.9%
16.2%
37.7%
利用する時間帯（例:夜9時まで）
50.0%
23.5%
41.5%
名前や住所などの個人情報の入力
26.4%
23.5%
25.5%
利用する場所
23.6%
20.6%
22.6%
メールやメッセージを送る相手
12.5%
8.8%
11.3%
送信・投稿する内容
11.8%
5.9%
9.9%
困ったときの相談相手
2.8%
2.9%
2.8%
中学生（N=144）
高校生（N=68）
全体（N=212）

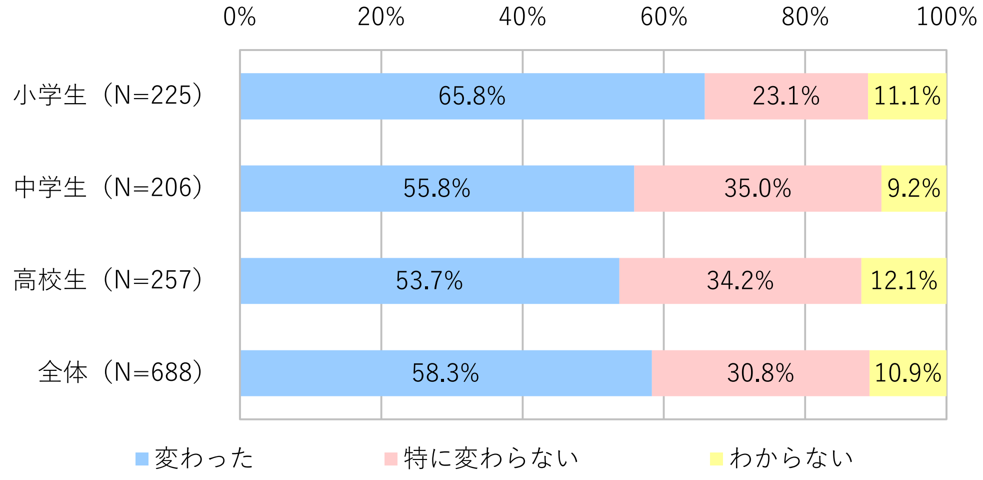
（２２）新型コロナウイルス流行の影響

あなたの生活は新型コロナ流行前と変わりましたか。＜あてはまるもの１つに○＞

・「新型コロナウイルスの流行の影響」ついては、「変わった」と回答したのは小学生 65.8%、中学生 55.8%、高校生 53.7%です。

図表　２－１－５１　新型コロナウイルス流行の影響

	小学生 (N=225)	中学生 (N=206)	高校生 (N=257)	全体 (N=688)
変わった	65.8%	55.8%	53.7%	58.3%
特に変わらない	23.1%	35.0%	34.2%	30.8%
わからない	11.1%	9.2%	12.1%	10.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



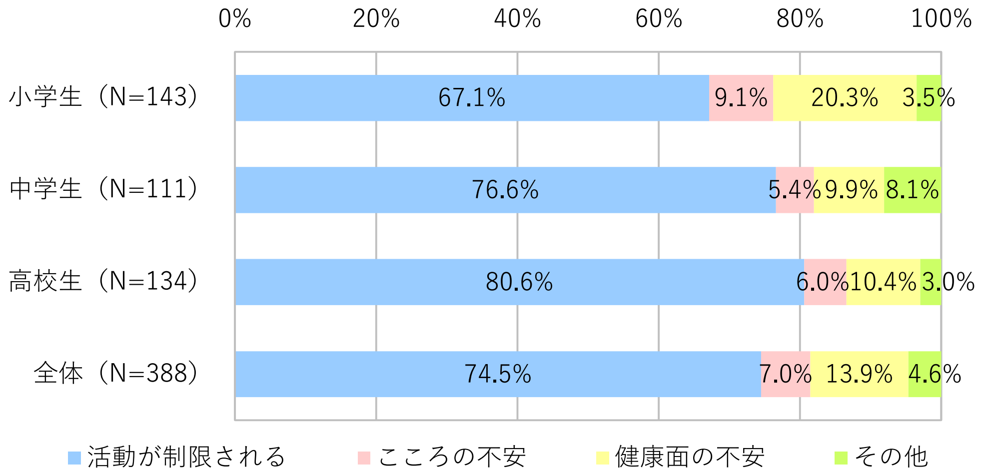
（２３）新型コロナウイルス流行の影響により変わった点

「1. 変わった」と回答した方におたずねします。変わった点を一つ選んでください。 ＜あてはまるもの１つに〇＞

・「新型コロナウイルスの流行の影響」により変わった点は、小学生、中学生、高校生すべてにおいて「活動が制限される」が最も多くなっています。

図表 ２－１－５２ 新型コロナウイルスの流行の影響により変わった点

	小学生 (N=143)	中学生 (N=111)	高校生 (N=134)	全体 (N=388)
活動が制限される	67. 1%	76. 6%	80. 6%	74. 5%
こころの不安	9. 1%	5. 4%	6. 0%	7. 0%
健康面の不安	20. 3%	9. 9%	10. 4%	13. 9%
その他	3. 5%	8. 1%	3. 0%	4. 6%
合計	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%



図表 ２－１－５３ 新型コロナウイルスの流行の影響により変わった点
（その他の内容と件数）

	小学生	中学生	高校生	全体
行事の減少	0	1	1	2
いろいろ	0	1	0	1
コロナコロナとうるさくなった	0	0	1	1
スポーツの試合がなくなった	1	0	0	1
ムダに恐怖をあおるマスコミにだまされないようになった	0	1	0	1
家にこもるようになった	1	0	0	1
食事	0	0	1	1
生活習慣	0	0	1	1
全部	1	0	0	1
体を動かすようになった	0	1	0	1
買い物できない	0	1	0	1
旅行に行きにくくなった	0	0	1	1

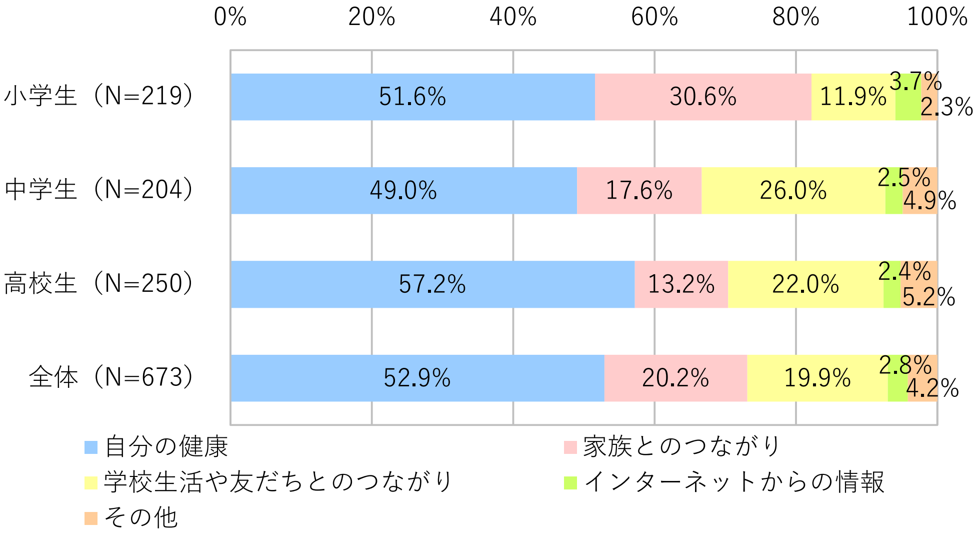
（２４）新型コロナウイルスと共存するために一番重要なもの

新型コロナと共存するために、あなたにとって一番重要なものは何ですか。＜あてはまるもの１つに○＞

・「新型コロナウイルスとの共存」のため、もっとも重要なことは、小学生、中学生、高校生すべてにおいて「自分の健康」が最も多く、次いで多いのは小学生では「家族とのつながり」、中学生・高校生では「学校生活や友だちとのつながり」となっています。

図表　２－１－５４　新型コロナウイルスと共存するために一番重要なもの

	小学生 (N=219)	中学生 (N=204)	高校生 (N=250)	全体 (N=673)
自分の健康	51.6%	49.0%	57.2%	52.9%
家族とのつながり	30.6%	17.6%	13.2%	20.2%
学校生活や友だちとのつながり	11.9%	26.0%	22.0%	19.9%
インターネットからの情報	3.7%	2.5%	2.4%	2.8%
その他	2.3%	4.9%	5.2%	4.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



図表　２－１－５５　新型コロナウイルスと共存するために一番重要なもの
（その他の内容と件数）

	小学生	中学生	高校生	全体
家族など自分と関わる人との健康	3	1	2	6
共存したくない	0	0	2	2
心がけ・意識すること	0	1	1	2
感染予防	1	1	0	2
コロナを好きになる	0	0	1	1
コロナ対策をもうやめる。五類に下げてもらう	0	1	0	1
マスク	0	0	1	1
安全面	0	0	1	1
楽しいと思うものがあること	0	1	0	1
考え方	0	1	0	1
知る事	0	0	1	1
周りへの影響	0	0	1	1
精神の安定	0	1	0	1
日本政府の対応	0	1	0	1
滅する	0	0	1	1
免疫	0	0	1	1
選べない	0	1	0	1
わからない	1	1	0	2

２－２ 保護者アンケート結果

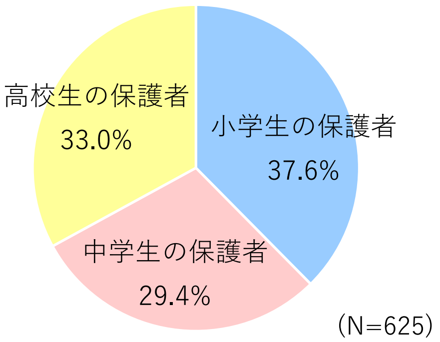
（１）属性

① 保護している子どもの属性

・回答者が保護している子どもの属性は、小学生が最も多く 37.6%、次いで高校生 33.0%、中学生 29.4%です。

図表 ２－２－１　保護している子どもの属性

	票	割合
小学生の保護者	235	37.6%
中学生の保護者	184	29.4%
高校生の保護者	206	33.0%
保護者全体	625	100.0%

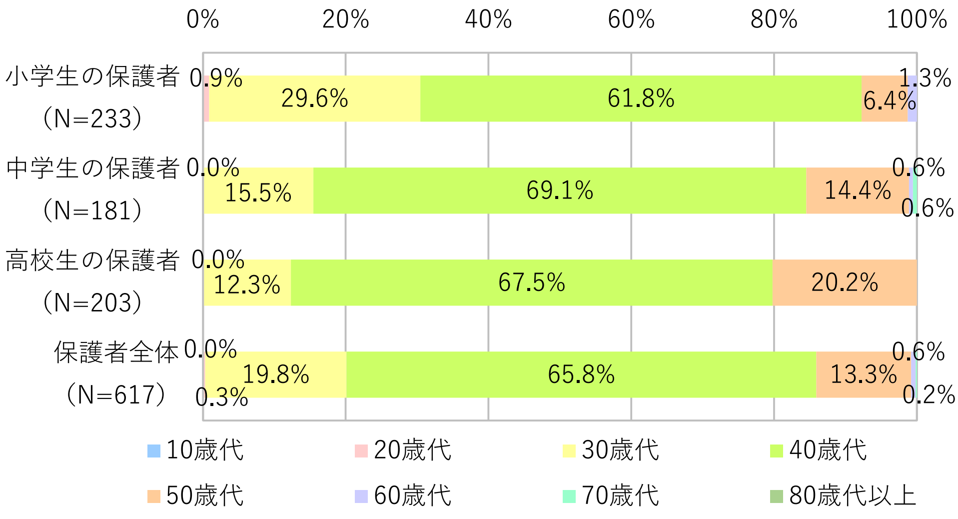


② 年代

・保護者の年代は、40 歳代が最も多く、小学生では 61.8%、中学生では 69.1%、高校生では 67.5%を占めています。

図表　２－２－２　年代

	小学生の保護者 (N=233)	中学生の保護者 (N=181)	高校生の保護者 (N=203)	保護者全体 (N=617)
10 歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	0.9%	0.0%	0.0%	0.3%
30 歳代	29.6%	15.5%	12.3%	19.8%
40 歳代	61.8%	69.1%	67.5%	65.8%
50 歳代	6.4%	14.4%	20.2%	13.3%
60 歳代	1.3%	0.6%	0.0%	0.6%
70 歳代	0.0%	0.6%	0.0%	0.2%
80 歳代以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



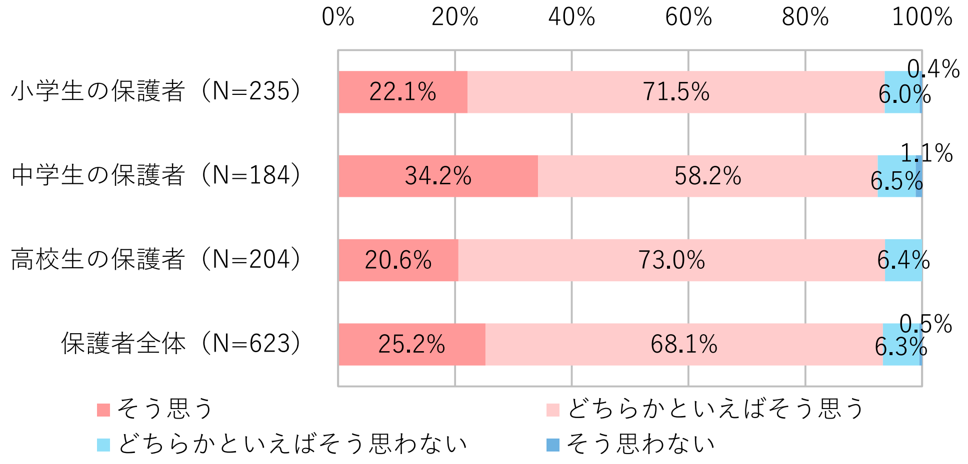
（２）社会参加

あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。 ＜あてはまるもの１つに○＞

・「社会のために役立つことをしたい」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が、全体では 93.3%を占めています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、小学生の保護者 93.6%、中学生の保護者 92.4%、高校生の保護者 93.6%です。

図表　２－２－３　社会参加

	小学生の保護者 (N=235)	中学生の保護者 (N=184)	高校生の保護者 (N=204)	保護者全体 (N=623)
そう思う	22.1%	34.2%	20.6%	25.2%
どちらかといえばそう思う	71.5%	58.2%	73.0%	68.1%
どちらかといえばそう思わない	6.0%	6.5%	6.4%	6.3%
そう思わない	0.4%	1.1%	0.0%	0.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



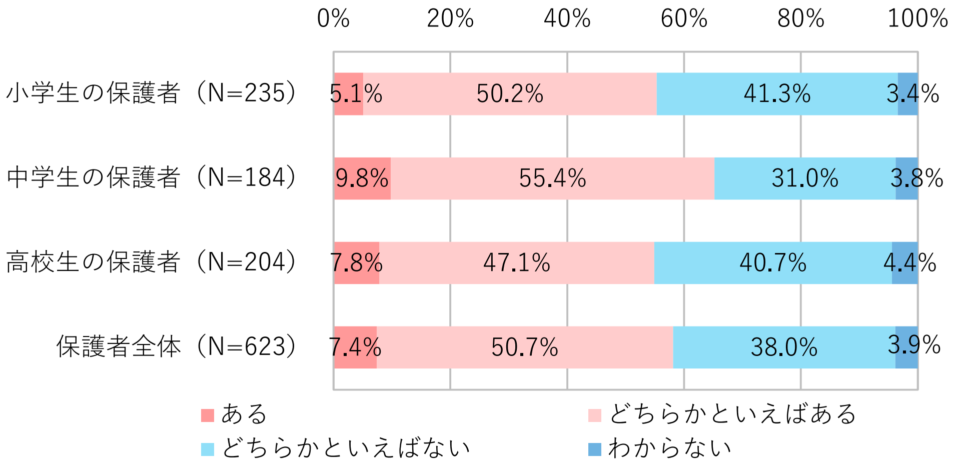
（３）ボランティア活動への興味

あなたは、ボランティア活動に興味がありますか。＜あてはまるもの１つに○＞

・「ボランティア活動への興味」については、「ある」「どちらかといえばある」が、全体では 58.1%を占めています。「ある」「どちらかといえばある」の合計は、小学生の保護者 55.3%、中学生の保護者 65.2%、高校生の保護者 54.9%です。

図表　２－２－４　ボランティア活動への興味

	小学生の保護者 (N=235)	中学生の保護者 (N=184)	高校生の保護者 (N=204)	保護者全体 (N=623)
ある	5. 1%	9. 8%	7. 8%	7. 4%
どちらかといえばある	50. 2%	55. 4%	47. 1%	50. 7%
どちらかといえばない	41. 3%	31. 0%	40. 7%	38. 0%
わからない	3. 4%	3. 8%	4. 4%	3. 9%
合計	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%



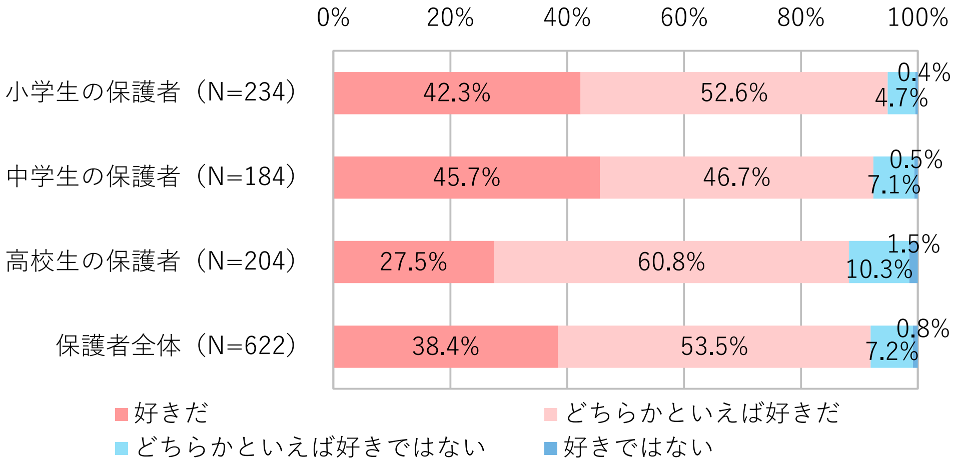
（４）金沢市への愛着

あなたは、金沢市（あるいは住んでいる地域）が好きですか。 ＜あてはまるもの１つに〇＞

・「金沢市（あるいは住んでいる地域）」については、「好きだ」「どちらかといえば好きだ」が、全体では 91.9%を占めています。「好きだ」「どちらかといえば好きだ」の合計は、小学生の保護者は 94.9%、中学生の保護者は 92.4%、高校生の保護者は 88.3%です。

図表　２－２－５　金沢市への愛着

	小学生の保護者（N=234）	中学生の保護者（N=184）	高校生の保護者（N=204）	保護者全体（N=622）
好きだ	42.3%	45.7%	27.5%	38.4%
どちらかといえば好きだ	52.6%	46.7%	60.8%	53.5%
どちらかといえば好きではない	4.7%	7.1%	10.3%	7.2%
好きではない	0.4%	0.5%	1.5%	0.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



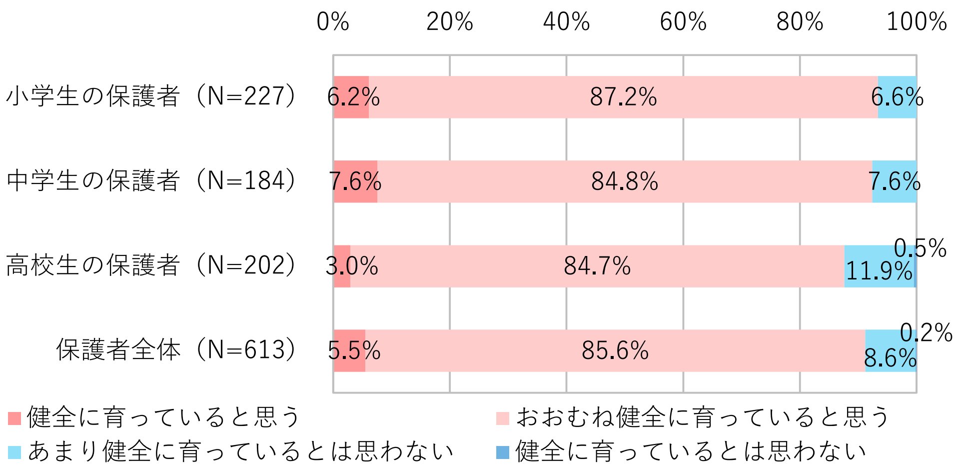
（５）金沢市の青少年の健全性

金沢市の青少年は健全に育っていると感じていますか。<あてはまるもの１つに○>

・「金沢市の青少年の健全性」については、「健全に育っていると思う」「おおむね健全に育っていると思う」が、全体では 91.1%を占めています。「健全に育っていると思う」「おおむね健全に育っていると思う」の合計は小学生の保護者 93.4%、中学生の保護者 92.4%、高校生の保護者 87.7%です。

図表 ２－２－６　金沢市の青少年の健全性

	小学生の保護者(N=227)	中学生の保護者(N=184)	高校生の保護者(N=202)	保護者全体(N=613)
健全に育っていると思う	6.2%	7.6%	3.0%	5.5%
おおむね健全に育っていると思う	87.2%	84.8%	84.7%	85.6%
あまり健全に育っているとは思わない	6.6%	7.6%	11.9%	8.6%
健全に育っているとは思わない	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



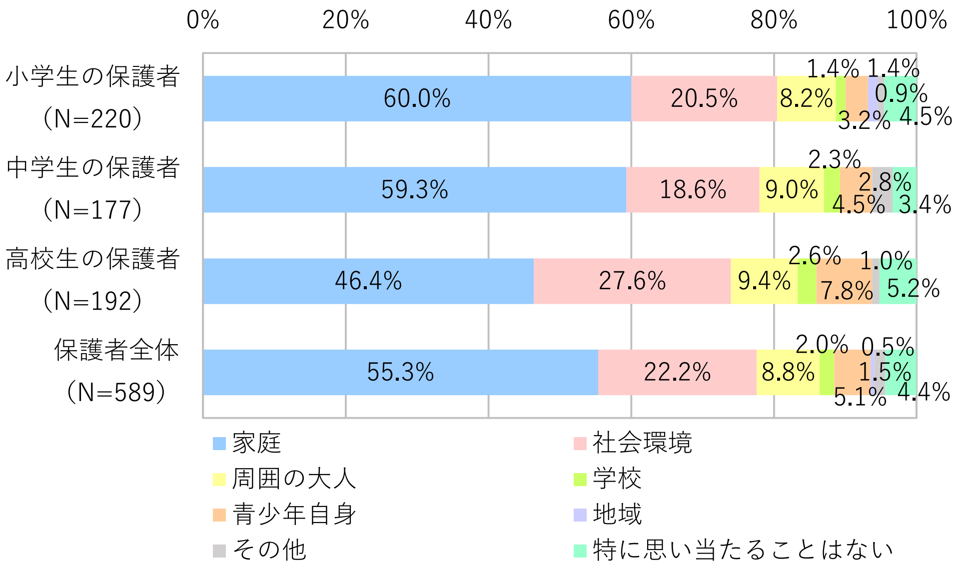
（６）青少年問題の一番の要因

少年問題の一番の原因はどこにあると思いますか。<あてはまるもの１つに○>

・「青少年問題の一番の要因」は、全体では「家庭」が最も多く 55.3%を占めます。次いで「社会環境」が 22.2%です。

図表　２－２－７　青少年問題の一番の要因

	小学生の保護者 (N=220)	中学生の保護者 (N=177)	高校生の保護者 (N=192)	保護者全体 (N=589)
家庭	60.0%	59.3%	46.4%	55.3%
社会環境	20.5%	18.6%	27.6%	22.2%
周囲の大人	8.2%	9.0%	9.4%	8.8%
学校	1.4%	2.3%	2.6%	2.0%
青少年自身	3.2%	4.5%	7.8%	5.1%
地域	1.4%	0.0%	0.0%	0.5%
その他	0.9%	2.8%	1.0%	1.5%
特に思い当たることはない	4.5%	3.4%	5.2%	4.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



図表　２－２－８　青少年問題の一番の要因（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
１つだけではないと思う	1	0	1	2
ＳＮＳ	0	1	0	1
わからない	0	1	0	1
一概には言えない	0	1	0	1
周囲の環境	0	0	1	1
食べ物（輸入小麦）脳に与える悪い影響	0	1	0	1
全て連携しているのではないか	0	1	0	1

（７）家庭の中での問題

家庭の中で特に問題だと思うことは何ですか。<あてはまるもの３つまでに○>

・「家庭の中での問題」については、全体では「家族のふれ合いや会話が不足していること」（66.9%）が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」（37.3%）、「過保護であること」（32.3%）、「便利な生活を求めすぎること」（31.9%）です。

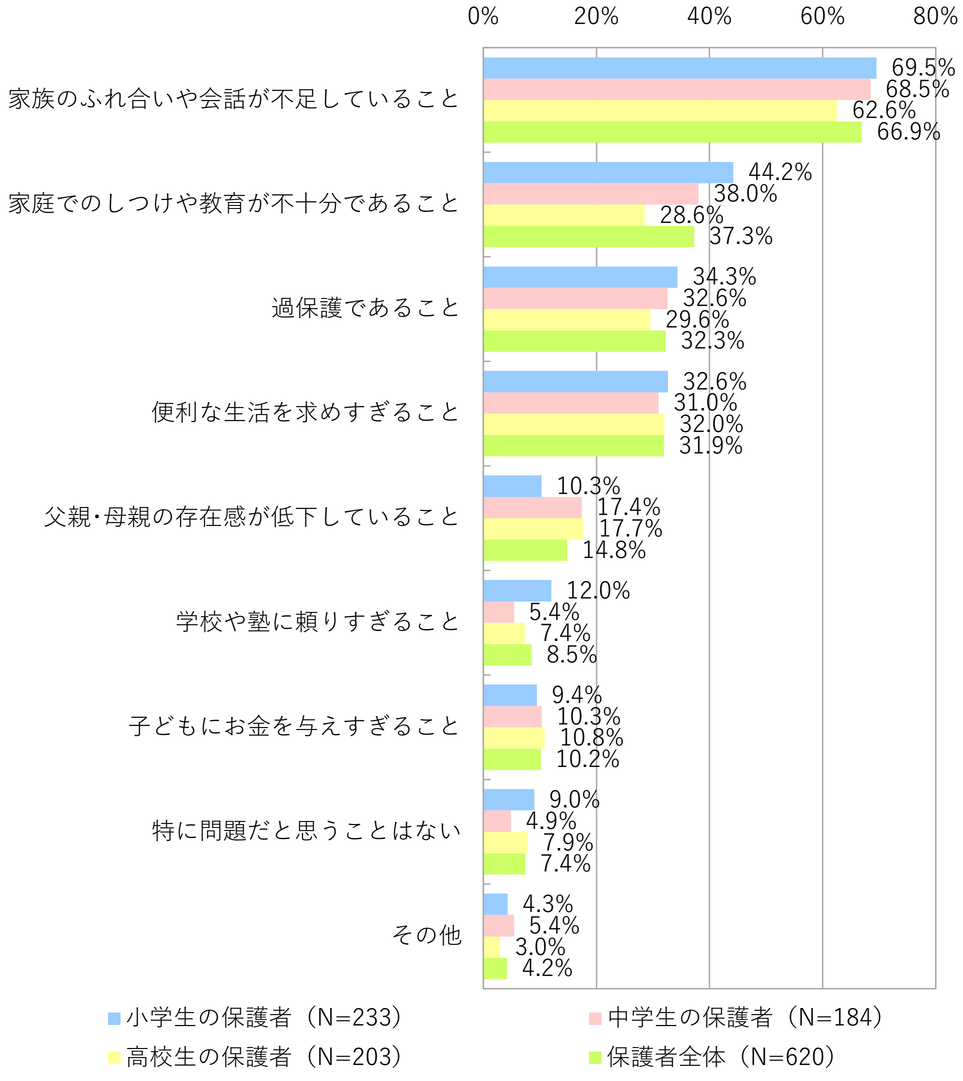
・小学生の保護者は、「家族のふれ合いや会話が不足していること」（69.5%）が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」（44.2%）、「過保護であること」（34.3%）、「便利な生活を求めすぎること」（32.6%）です。

・中学生の保護者は、「家族のふれ合いや会話が不足していること」（68.5%）が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」（38.0%）、「過保護であること」（32.6%）、「便利な生活を求めすぎること」（31.0%）です。

・高校生の保護者は、「家族のふれ合いや会話が不足していること」（62.6%）が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「便利な生活を求めすぎること」（32.0%）です。

図表　２－２－９　家庭の中での問題

	小学生の保護者（N=233）	中学生の保護者（N=184）	高校生の保護者（N=203）	保護者全体（N=620）
家族のふれ合いや会話が不足していること	69.5%	68.5%	62.6%	66.9%
家庭でのしつけや教育が不十分であること	44.2%	38.0%	28.6%	37.3%
過保護であること	34.3%	32.6%	29.6%	32.3%
便利な生活を求めすぎること	32.6%	31.0%	32.0%	31.9%
父親･母親の存在感が低下していること	10.3%	17.4%	17.7%	14.8%
学校や塾に頼りすぎること	12.0%	5.4%	7.4%	8.5%
子どもにお金を与えすぎること	9.4%	10.3%	10.8%	10.2%
特に問題だと思うことはない	9.0%	4.9%	7.9%	7.4%
その他	4.3%	5.4%	3.0%	4.2%



0%
20%
40%
60%
80%
家族のふれ合いや会話が不足していること
69.5%
68.5%
62.6%
66.9%
家庭でのしつけや教育が不十分であること
44.2%
38.0%
28.6%
37.3%
過保護であること
34.3%
32.6%
29.6%
32.3%
便利な生活を求めすぎること
32.6%
31.0%
32.0%
31.9%
父親･母親の存在感が低下していること
10.3%
17.4%
17.7%
14.8%
学校や塾に頼りすぎること
12.0%
5.4%
7.4%
8.5%
子どもにお金を与えすぎること
9.4%
10.3%
10.8%
10.2%
特に問題だと思うことはない
9.0%
4.9%
7.9%
7.4%
その他
4.3%
5.4%
3.0%
4.2%
小学生の保護者（N=233）
中学生の保護者（N=184）
高校生の保護者（N=203）
保護者全体（N=620）

図表 ２－２－１０　家庭の中での問題（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
「子供の気持ちを尊重」といいながら自由にさせすぎている家庭が多いこと	1	0	0	1
コロナにより、さまざまな経験が不足している。	0	1	0	1
スマホやゲームを子供に与えて、適切な管理をしていない家庭が多いと思う	0	1	0	1
スマホやタブレットなどそれぞれで見ていること。	1	0	0	1
ネット環境	0	1	0	1
家族との何事でも共感する努力しないこと	1	0	0	1
家族全員スマホ使用時間が長い為いろいろ弊害がおきている	0	0	1	1
過干渉	0	1	0	1
核家族がふえており、父母は忙しいので子供が放置されている家がちょくちょくある	1	0	0	1
虐待・貧困	0	1	0	1
共働きしないとやっていけない、忙しすぎる。子どもとの時間がとりにくい。心に余裕がなくなってしまう。	1	0	0	1
共働きしなければ生活が成りたたないこと	0	1	0	1
子どもに無関心であること	0	1	0	1
色々な情報があふれていること（マスコミの片寄った情報）	0	0	1	1
親が、我が子が外でしている事を知らない事。	0	0	1	1
親が忙しすぎること	1	0	0	1
親の収入による格差（生活）	0	1	0	1
親自身に一般常識がない。	0	0	1	1
貧困	1	0	0	1
夫婦仲、ストレスレスな子育て。	0	0	1	1
父・母の時間がないこと（長時間労働）	0	1	0	1
父はたは母との関係性。	0	0	1	1
保護者のバランス感覚	1	0	0	1
保護者自身の意識レベルが低いこと。	0	1	0	1
様々な情報があふれていること	1	0	0	1
不明	1	0	0	1

（８）地域社会・地域の大人のあり方での問題

地域社会や地域の大人のあり方で、特に問題だと思うことは何ですか。＜あてはまるもの3つまでに○＞

・「地域社会・地域の大人のあり方での問題」については、全体では「近所づきあいを避ける大人が多くなったこと」(46.7%) が最も多く、3割以上の人があげているのは、「地域に青少年の居場所、遊び場が少ないこと」(42.7%)、「青少年に無関心な大人が多くなったこと」(31.6%)、「規範意識や言葉遣いの乱れた大人が多くなったこと」(30.2%)、「地域の行事に参加する大人が少なくなったこと」(30.2%) です。

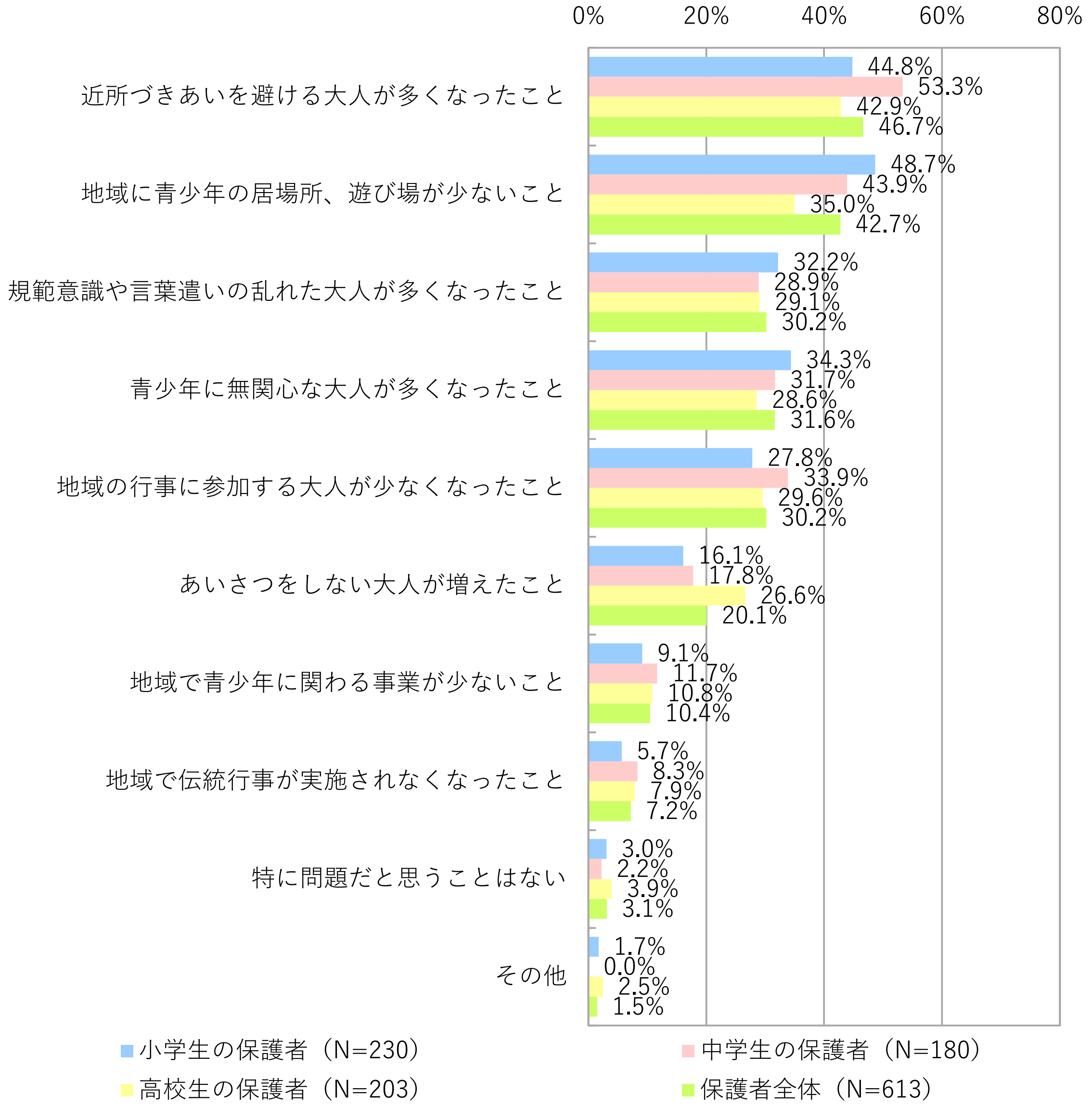
・小学生の保護者は、「地域に青少年の居場所、遊び場が少ないこと」(48.7%) が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「地域づきあいを避ける大人が多くなったこと」(44.8%)、「青少年に無関心な大人が多くなったこと」(34.3%)、「規範意識や言葉遣いの乱れた大人が多くなったこと」(32.2%) です。

・中学生の保護者は、「近所づきあいを避ける大人が多くなったこと」(53.3%) が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「地域に青少年の居場所、遊び場が少ないこと」(43.9%)、「青少年に無関心な大人が多くなったこと」(31.7%)、「地域の行事に参加する大人が少なくなったこと」(33.9%) です。

・高校生の保護者は、「近所づきあいを避ける大人が多くなったこと」(42.9%) が最も多く、3割以上の人があげているのは、「地域に青少年の居場所、遊び場が少ないこと」(35.0%) です。

図表 ２－２－１１ 地域社会・地域の大人のあり方での問題

	小学生の保護者 (N=230)	中学生の保護者 (N=180)	高校生の保護者 (N=203)	保護者全体 (N=613)
近所づきあいを避ける大人が多くなったこと	44.8%	53.3%	42.9%	46.7%
地域に青少年の居場所、遊び場が少ないこと	48.7%	43.9%	35.0%	42.7%
規範意識や言葉遣いの乱れた大人が多くなったこと	32.2%	28.9%	29.1%	30.2%
青少年に無関心な大人が多くなったこと	34.3%	31.7%	28.6%	31.6%
地域の行事に参加する大人が少なくなったこと	27.8%	33.9%	29.6%	30.2%
あいさつをしない大人が増えたこと	16.1%	17.8%	26.6%	20.1%
地域で青少年に関わる事業が少ないこと	9.1%	11.7%	10.8%	10.4%
地域で伝統行事が実施されなくなったこと	5.7%	8.3%	7.9%	7.2%
特に問題だと思うことはない	3.0%	2.2%	3.9%	3.1%
その他	1.7%	0.0%	2.5%	1.5%



図表　２－２－１２　地域社会・地域の大人のあり方での問題（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
コロナで町内行事がほとんどない	0	0	1	1
ネット依存・スマホ・ゲーム	0	0	1	1
ネット社会になったこともあり気軽に（本人も気づかないうちに）犯罪に加担しやすくなった	1	0	0	1
子どもが子どもを育てている	0	0	1	1
他人の子供をおこれない。	0	0	1	1
多様性を認めないこと	1	0	0	1
程よい距離感を保つ努力をしないこと。	1	0	0	1
わからない	0	0	1	1

（９）青少年を取り巻く環境での問題

青少年を取り巻く環境で、特に問題だと思うことは何ですか。＜あてはまるもの 3 つまでに○＞

・「青少年を取り巻く環境での問題」については、全体では「携帯電話やパソコンなどで直接顔を合わせない付き合いができること」（71.5%）が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組やインターネット動画が多いこと」（43.0%）、「世の中の価値観（何が正しくて、何が悪いのか）が乱れていること」（42.9%）です。

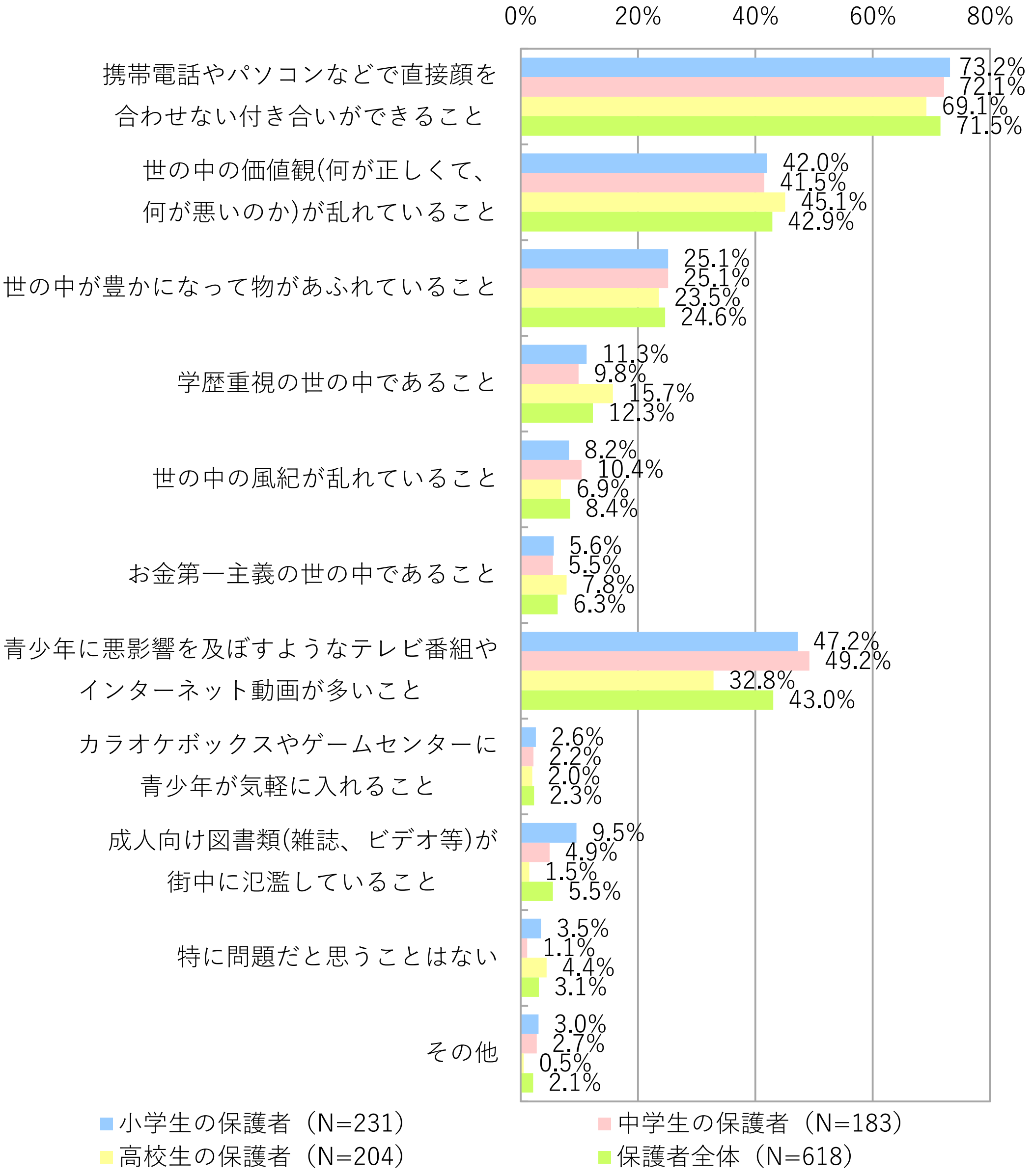
・小学生の保護者では「携帯電話やパソコンなどで直接顔を合わせない付き合いができること」（73.2%）が最も多く、3割以上の人があげているのは、「青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組やインターネット動画が多いこと」（47.2%）、「世の中の価値観（何が正しくて、何が悪いのか）が乱れていること」（42.0%）です。

・中学生の保護者では「携帯電話やパソコンなどで直接顔を合わせない付き合いができること」（72.1%）が最も多く、3割以上の人があげているのは、「青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組やインターネット動画が多いこと」（49.2%）、「世の中の価値観（何が正しくて、何が悪いのか）が乱れていること」（41.5%）です。

・高校生の保護者では「携帯電話やパソコンなどで直接顔を合わせない付き合いができること」（69.1%）が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「世の中の価値観（何が正しくて、何が悪いのか）が乱れていること」（45.1%）、「青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組やインターネット動画が多いこと」（32.8%）です。

図表　２－２－１３　青少年を取り巻く環境での問題

	小学生の保護者（N=231）	中学生の保護者（N=183）	高校生の保護者（N=204）	保護者全体（N=618）
携帯電話やパソコンなどで直接顔を合わせない付き合いができること	73.2%	72.1%	69.1%	71.5%
世の中の価値観（何が正しくて、何が悪いのか）が乱れていること	42.0%	41.5%	45.1%	42.9%
世の中が豊かになって物があふれていること	25.1%	25.1%	23.5%	24.6%
学歴重視の世の中であること	11.3%	9.8%	15.7%	12.3%
世の中の風紀が乱れていること	8.2%	10.4%	6.9%	8.4%
お金第一主義の世の中であること	5.6%	5.5%	7.8%	6.3%
青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組やインターネット動画が多いこと	47.2%	49.2%	32.8%	43.0%
カラオケボックスやゲームセンターに青少年が気軽に入れること	2.6%	2.2%	2.0%	2.3%
成人向け図書類（雑誌、ビデオ等）が街中に氾濫していること	9.5%	4.9%	1.5%	5.5%
特に問題だと思うことはない	3.5%	1.1%	4.4%	3.1%
その他	3.0%	2.7%	0.5%	2.1%



0%
20%
40%
60%
80%
携帯電話やパソコンなどで直接顔を
合わせない付き合いができること
73.2%
72.1%
69.1%
71.5%
世の中の価値観(何が正しくて、
何が悪いのか)が乱れていること
42.0%
41.5%
45.1%
42.9%
世の中が豊かになって物があふれていること
25.1%
25.1%
23.5%
24.6%
学歴重視の世の中であること
11.3%
9.8%
15.7%
12.3%
世の中の風紀が乱れていること
8.2%
10.4%
6.9%
8.4%
お金第一主義の世の中であること
5.6%
5.5%
7.8%
6.3%
青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組や
インターネット動画が多いこと
47.2%
49.2%
32.8%
43.0%
カラオケボックスやゲームセンターに
青少年が気軽に入れること
2.6%
2.2%
2.0%
2.3%
成人向け図書類(雑誌、ビデオ等)が
街中に氾濫していること
9.5%
4.9%
1.5%
5.5%
特に問題だと思うことはない
3.5%
1.1%
4.4%
3.1%
その他
3.0%
2.7%
0.5%
2.1%
小学生の保護者（N=231）
中学生の保護者（N=183）
高校生の保護者（N=204）
保護者全体（N=618）

図表 ２－２－１４　青少年を取り巻く環境での問題（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
大人の青少年搾取	1	0	0	1
が青少年に対して不寛容であること。	1	0	0	1
ネット環境全般	0	1	0	1
携帯の普及により陰湿なイジメが増えた。	0	1	0	1
個性の尊重とわがままが同じになっている事。	1	0	0	1
子どもたちが学校が楽しいと思っていないこと。	0	1	0	1
自然がなくなっている。住宅ばかり。もっと緑の広場が街中にあっちこっちあるといい！！自然がなさすぎてうつ傾向。	1	0	0	1
自分の気持ちを言えない子どもが多いところ。	1	0	0	1
守ってくれる人が少ない	1	0	0	1
大人が昔の感覚、考えにとらわれ融通がきかないこと。	1	0	0	1
大人の無関心	0	0	1	1
特になし	0	1	0	1

（１０）健全な青少年を育成するために必要な取組

健全な青少年を育成するために必要な取組は何だと思いますか。＜1～22 の中からあてはまるもの 3 つまでに○＞

・「健全な青少年を育成するために必要な取組」は、全体では「自己形成(生活習慣･生きる力･学力などの育成)のための支援」(60.3%) が最も多く、3 割以上の人があげているのは、「困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、障がい、貧困等)ごとの取組」(34.9%)、「子ども･若者の被害(虐待、犯罪)防止･保護」(31.1%) です。

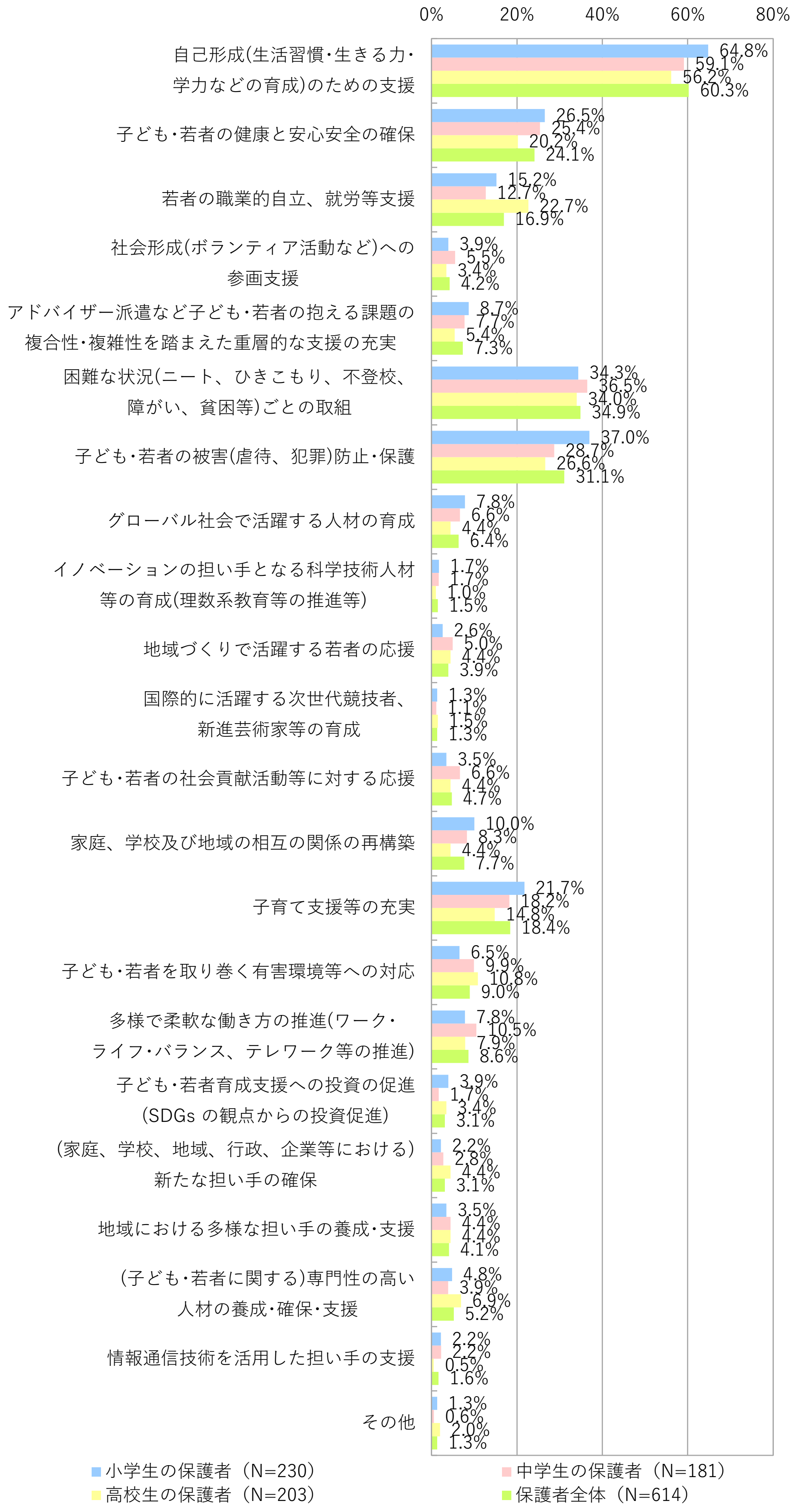
・小学生の保護者では「自己形成(生活習慣･生きる力･学力などの育成)のための支援」(64.8%) が最も多く、3 割以上の人があげているのは「子ども･若者の被害(虐待、犯罪)防止･保護」(37.0%)、「困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、障がい、貧困等)ごとの取組」(34.3%) です。

・中学生の保護者では「自己形成(生活習慣･生きる力･学力などの育成)のための支援」(59.1%) が最も多く、3 割以上の人があげているのは「困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、障がい、貧困等)ごとの取組」(36.5%) です。

・高校生の保護者では「自己形成(生活習慣･生きる力･学力などの育成)のための支援」(56.2%) が最も多く、3 割以上の人があげているのは「困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、障がい、貧困等)ごとの取組」(34.0%) です。

図表 ２－２－１５　健全な青少年を育成するために必要な取組

	小学生の保護者(N=230)	中学生の保護者(N=181)	高校生の保護者(N=203)	保護者全体(N=614)
自己形成(生活習慣・生きる力・学力などの育成)のための支援	64.8%	59.1%	56.2%	60.3%
子ども・若者の健康と安心安全の確保	26.5%	25.4%	20.2%	24.1%
若者の職業的自立、就労等支援	15.2%	12.7%	22.7%	16.9%
社会形成(ボランティア活動など)への参画支援	3.9%	5.5%	3.4%	4.2%
アドバイザー派遣など子ども・若者の抱える課題の複合性・複雑性を踏まえた重層的な支援の充実	8.7%	7.7%	5.4%	7.3%
困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、障がい、貧困等)ごとの取組	34.3%	36.5%	34.0%	34.9%
子ども・若者の被害(虐待、犯罪)防止・保護	37.0%	28.7%	26.6%	31.1%
グローバル社会で活躍する人材の育成	7.8%	6.6%	4.4%	6.4%
イノベーションの担い手となる科学技術人材等の育成(理数系教育等の推進等)	1.7%	1.7%	1.0%	1.5%
地域づくりで活躍する若者の応援	2.6%	5.0%	4.4%	3.9%
国際的に活躍する次世代競技者、新進芸術家等の育成	1.3%	1.1%	1.5%	1.3%
子ども・若者の社会貢献活動等に対する応援	3.5%	6.6%	4.4%	4.7%
家庭、学校及び地域の相互の関係の再構築	10.0%	8.3%	4.4%	7.7%
子育て支援等の充実	21.7%	18.2%	14.8%	18.4%
子ども・若者を取り巻く有害環境等への対応	6.5%	9.9%	10.8%	9.0%
多様で柔軟な働き方の推進(ワーク・ライフ・バランス、テレワーク等の推進)	7.8%	10.5%	7.9%	8.6%
子ども・若者育成支援への投資の促進(SDGs の観点からの投資促進)	3.9%	1.7%	3.4%	3.1%
(家庭、学校、地域、行政、企業等における)新たな担い手の確保	2.2%	2.8%	4.4%	3.1%
地域における多様な担い手の養成・支援	3.5%	4.4%	4.4%	4.1%
(子ども・若者に関する)専門性の高い人材の養成・確保・支援	4.8%	3.9%	6.9%	5.2%
情報通信技術を活用した担い手の支援	2.2%	2.2%	0.5%	1.6%
その他	1.3%	0.6%	2.0%	1.3%


0%
20%
40%
60%
80%
自己形成(生活習慣･生きる力･
学力などの育成)のための支援
64.8%
59.1%
56.2%
60.3%
子ども･若者の健康と安心安全の確保
26.5%
25.4%
20.2%
24.1%
若者の職業的自立、就労等支援
15.2%
12.7%
22.7%
16.9%
社会形成(ボランティア活動など)への
参画支援
3.9%
5.5%
3.4%
4.2%
アドバイザー派遣など子ども･若者の抱える課題の
複合性･複雑性を踏まえた重層的な支援の充実
8.7%
7.7%
5.4%
7.3%
困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、
障がい、貧困等)ごとの取組
34.3%
36.5%
34.0%
34.9%
子ども･若者の被害(虐待、犯罪)防止･保護
37.0%
28.7%
26.6%
31.1%
グローバル社会で活躍する人材の育成
7.8%
6.6%
4.4%
6.4%
イノベーションの担い手となる科学技術人材
等の育成(理数系教育等の推進等)
1.7%
1.7%
1.0%
1.5%
地域づくりで活躍する若者の応援
2.6%
5.0%
4.4%
3.9%
国際的に活躍する次世代競技者、
新進芸術家等の育成
1.3%
1.1%
1.5%
1.3%
子ども･若者の社会貢献活動等に対する応援
3.5%
6.6%
4.4%
4.7%
家庭、学校及び地域の相互の関係の再構築
10.0%
8.3%
4.4%
7.7%
子育て支援等の充実
21.7%
18.2%
14.8%
18.4%
子ども･若者を取り巻く有害環境等への対応
6.5%
9.9%
10.8%
9.0%
多様で柔軟な働き方の推進(ワーク･
ライフ･バランス、テレワーク等の推進)
7.8%
10.5%
7.9%
8.6%
子ども･若者育成支援への投資の促進
(SDGs の観点からの投資促進)
3.9%
1.7%
3.4%
3.1%
(家庭、学校、地域、行政、企業等における)
新たな担い手の確保
2.2%
2.8%
4.4%
3.1%
地域における多様な担い手の養成･支援
3.5%
4.4%
4.4%
4.1%
(子ども･若者に関する)専門性の高い
人材の養成･確保･支援
4.8%
3.9%
6.9%
5.2%
情報通信技術を活用した担い手の支援
2.2%
2.2%
0.5%
1.6%
その他
1.3%
0.6%
2.0%
1.3%
小学生の保護者（N=230）
中学生の保護者（N=181）
高校生の保護者（N=203）
保護者全体（N=614）

図表　２－２－１６　健全な青少年を育成するために必要な取組（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
「人」を育てる教育	0	0	1	1
想像力。自分が相手の立場ならどうか、考えられる頭と心の重要さ。	0	0	1	1
学校で教える歴史を正しい物に改め国を愛する意識を持つ子供を育てる	0	0	1	1
子どもと親が関わる時間が充分に保つことができる社会づくり	0	1	0	1
子どもの自由（ブラック校則にしばられない、公園で制限なく遊べる、主体性の尊重)	1	0	0	1
時代に適応した自由な教育	0	0	1	1
先生方の働きやすい職場作り	1	0	0	1

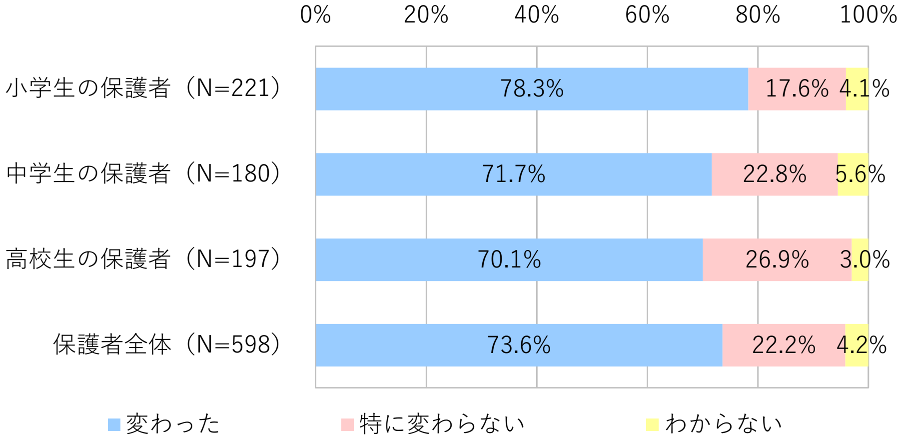
（１１）新型コロナウイルス流行による変化

あなたの生活は新型コロナ流行前と変わりましたか。<あてはまるもの１つに○>

・「新型コロナウイルスの流行の影響」ついては、全体では 73.6%、小学生の保護者では 78.3%、中学生の保護者では 71.7%、高校生では 70.1%が「変わった」と回答しています。

図表　２－２－１７　新型コロナウイルス流行による変化

	小学生の保護者(N=221)	中学生の保護者(N=180)	高校生の保護者(N=197)	保護者全体(N=598)
変わった	78.3%	71.7%	70.1%	73.6%
特に変わらない	17.6%	22.8%	26.9%	22.2%
わからない	4.1%	5.6%	3.0%	4.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



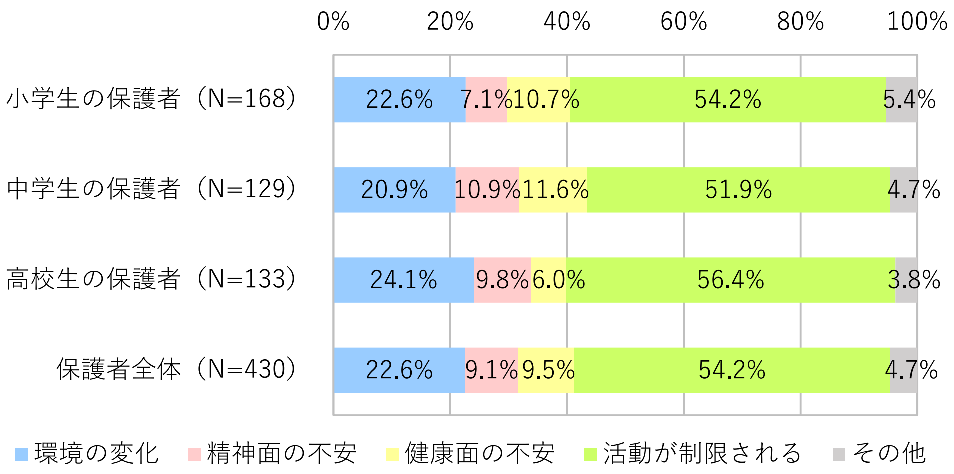
（１２）新型コロナウイルス流行により変わった点

「新型コロナウイルスの流行により生活が変わった」と回答した方におたずねします。変わった点を一つ選んでください。＜あてはまるもの１つに○＞

・「新型コロナウイルスの流行の影響」により変わった点は、「活動が制限される」と答えた人が最も多く、小学生の保護者 54.2%、中学生の保護者 51.9%、高校生の保護者 56.4%です。

図表　２－２－１８　新型コロナウイルスの流行により変わった点

	小学生の保護者 (N=168)	中学生の保護者 (N=129)	高校生の保護者 (N=133)	保護者全体 (N=430)
環境の変化	22.6%	20.9%	24.1%	22.6%
精神面の不安	7.1%	10.9%	9.8%	9.1%
健康面の不安	10.7%	11.6%	6.0%	9.5%
活動が制限される	54.2%	51.9%	56.4%	54.2%
その他	5.4%	4.7%	3.8%	4.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



図表 ２－２－１９　新型コロナウイルスの流行により変わった点
（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
金銭面の不安	1	0	1	2
マスクをつけての生活	0	1	0	1
よりよいつながりが増え、働き方も柔軟になり、良い方向に変わったことが多い。	1	0	0	1
わずらわしいと感じていた集り等が減り精神的に楽になったのが良い意味で変わった。	1	0	0	1
家庭内の役割分担	0	0	1	1
給料減	1	0	0	1
経済活動	0	0	1	1
行事で休みが少なかった日常からコロナにより休みが増え、心に余裕がもてた。また日常に戻りつつあり心が疲れている。保育園現場が、忙しすぎる。もっと休みがとれやすいよう職員を増やしてほしい。年間通しての人材の確保してほしい。しんどすぎる。	1	0	0	1
国指定難病（循環器）なので、主治医と相談して仕事を辞めて、一緒に暮らしている家族以外とは会っていない。	1	0	0	1
仕事が減った。	1	0	0	1
仕事が多忙を極める。	0	1	0	1
室外の活動が増えた。	1	0	0	1
情報通信技術の発展と活用、リテラシー	0	1	0	1
人付き合いの仕方・距離感の変化	0	1	0	1
生活に大きな変化はなかったが、自身の行動に大丈夫かと常に不安がつきまとった。	0	0	1	1
地域行事がなくなり、地域とのつながりが少なくなった。	0	1	0	1
当たり前の大切さ	0	1	0	1
働き方	0	0	1	1
不要な付き合いがなくなった。	1	0	0	1

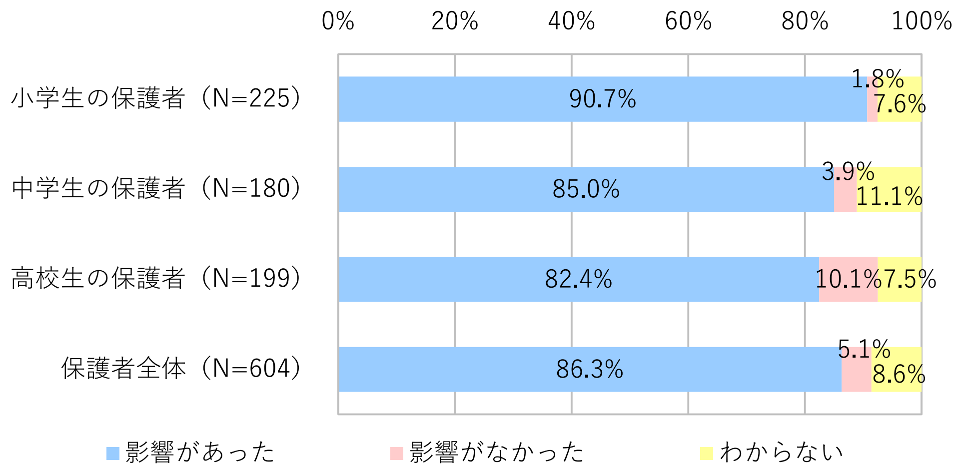
（１３）新型コロナウイルス流行の青少年育成への影響

新型コロナの流行は青少年の育成に影響があったと思いますか。 ＜あてはまるもの１つに○＞

・「新型コロナウイルスの流行の青少年育成への影響」については、小学生の保護者では 90.7%、中学生の保護者では 85.0%、高校生の保護者では 82.4%が「影響があった」と答えています。

図表　２－２－２０　新型コロナウイルス流行の青少年育成への影響

	小学生の保護者（N=225）	中学生の保護者（N=180）	高校生の保護者（N=199）	保護者全体（N=604）
影響があった	90.7%	85.0%	82.4%	86.3%
影響がなかった	1.8%	3.9%	10.1%	5.1%
わからない	7.6%	11.1%	7.5%	8.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



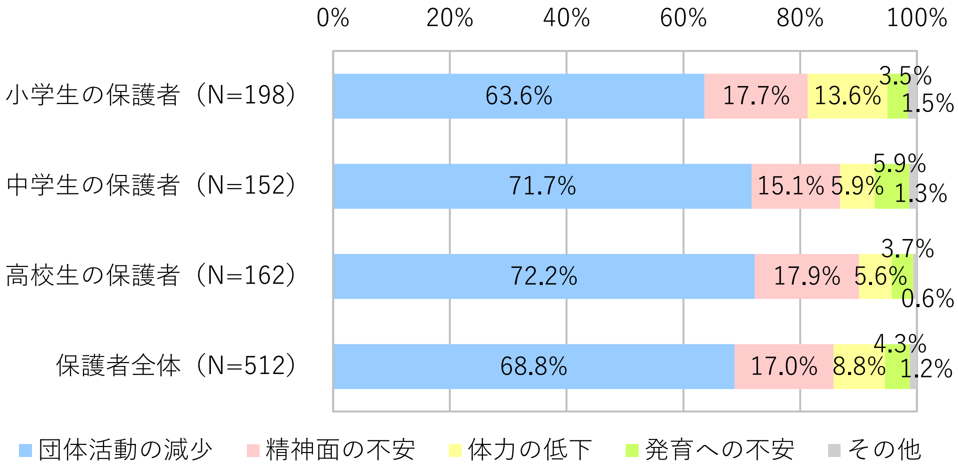
（１５）新型コロナウイルス流行の青少年育成への影響の変化

「新型コロナの流行は青少年の育成に影響があった」と回答した方におたずねします。
影響があった点を一つ選んでください。<あてはまるもの１つに○>

・「新型コロナの流行による影響があった点」は、「団体活動の減少」が最も多く、小学生の保護者で 63.6%、中学生の保護者で 71.7%、高校生の保護者で 72.2%です。

図表　２－２－２１　新型コロナウイルス流行の青少年育成への影響の変化

	小学生の保護者(N=198)	中学生の保護者(N=152)	高校生の保護者(N=162)	保護者全体(N=512)
団体活動の減少	63.6%	71.7%	72.2%	68.8%
精神面の不安	17.7%	15.1%	17.9%	17.0%
体力の低下	13.6%	5.9%	5.6%	8.8%
発育への不安	3.5%	5.9%	3.7%	4.3%
その他	1.5%	1.3%	0.6%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



図表　２－２－２２　新型コロナウイルス流行の青少年育成への影響の変化（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
がんばり続ける力がない。のりこえようとしない。	1	0	0	1
ネットに依存する傾向がより強くなった。	1	0	0	1
経験不足（思い出づくり）	0	1	0	1
行動の制限	0	1	0	1
子供同士の交流減少	1	0	0	1
不登校	0	0	1	1

（１６）新型コロナウイルスとの共存のため重要なこと

新型コロナと共存するために、あなたにとって一番重要なものは何ですか。 ＜あてはまるもの１つに○＞

・「新型コロナとの共存のために一番重要なもの」は、保護者全体では「家族とのつながり」（38.7%）が最も多く、次いで「自分の健康」（38.2%）です。

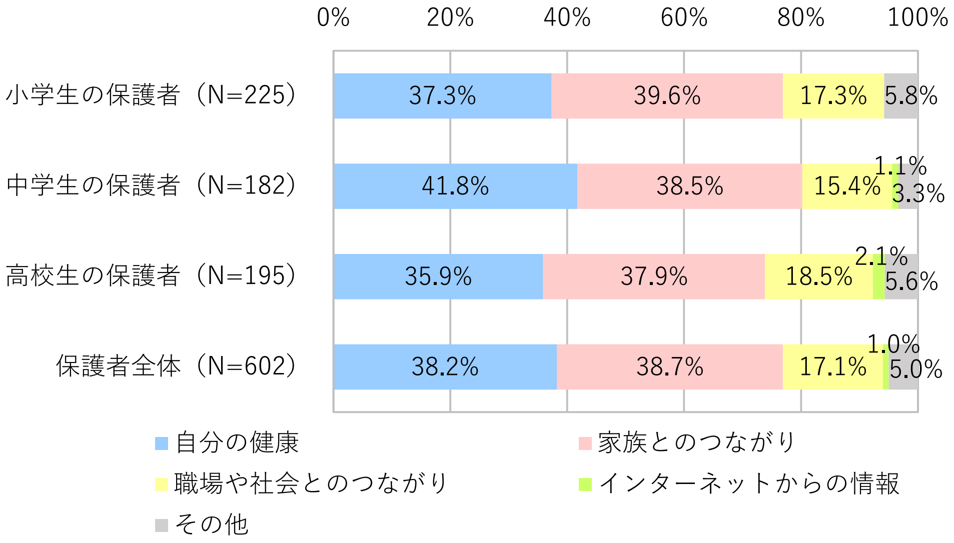
・小学生の保護者は「家族とのつながり」（39.6%）が最も多く、次いで「自分の健康」（37.3%）です。

・中学生の保護者は「自分の健康」（41.8%）が最も多く、次いで「家族とのつながり」（38.5%）です。

・高校生の保護者は「家族とのつながり」（37.9%）が最も多く、次いで「自分の健康」（35.9%）です。

図表　２－２－２３　新型コロナウイルスとの共存のため重要なこと

	小学生の保護者（N=225）	中学生の保護者（N=182）	高校生の保護者（N=195）	保護者全体（N=602）
自分の健康	37.3%	41.8%	35.9%	38.2%
家族とのつながり	39.6%	38.5%	37.9%	38.7%
職場や社会とのつながり	17.3%	15.4%	18.5%	17.1%
インターネットからの情報	0.0%	1.1%	2.1%	1.0%
その他	5.8%	3.3%	5.6%	5.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



図表 ２－２－２４　新型コロナウイルスとの共存のため重要なこと（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
インターネットに限らず、正確な情報	0	0	1	1
コロナ感染時の給与保障	0	1	0	1
よりよい社会を作りあげていく人として成長していく上での環境作り。	1	0	0	1
家族・知人等の健康	3	0	2	5
科学的な判断	1	0	0	1
仕事の安定	0	0	1	1
思いやり	0	0	1	1
収入	1	0	0	1
集団免疫	1	0	0	1
情報リテラシーの育成	0	1	0	1
人と人のつながり	0	1	0	1
制限が多い中でも工夫しながら日々を楽しく過ごす	1	0	0	1
正しい情報を社会全体で共有すること	0	1	0	1
正しい情報を得る力。）メディアにまどわされない力。	0	1	0	1
正しい知識をもつ	0	0	1	1
正確な情報、知識、データをもとにした科学的な情報	1	0	0	1
多くの情報があり何が本当に重用な事か判断できなくなった。情報の見極めが大切	0	0	1	1
不必要な過多情報	1	0	0	1
よく分からない	0	0	1	1
特になし	1	0	0	1

（１７）子どもに「してほしい・体験してほしい」と思っていること

あなたが自分の子どもに「してみてほしい・体験してほしい」と思っていることは何ですか。＜あてはまるもの３つまでに○＞

・「自分の子どもに「してみてほしい・体験してほしい」こと」は、保護者全体では「職業体験」(61.7%）が最も多く、次いで「自然体験」(61.7%）です。3 割以上が「してみてほしい・体験してほしい」と思っていることは、「スポーツ」(45.8%)、「ボランティア活動」(35.4%）です。

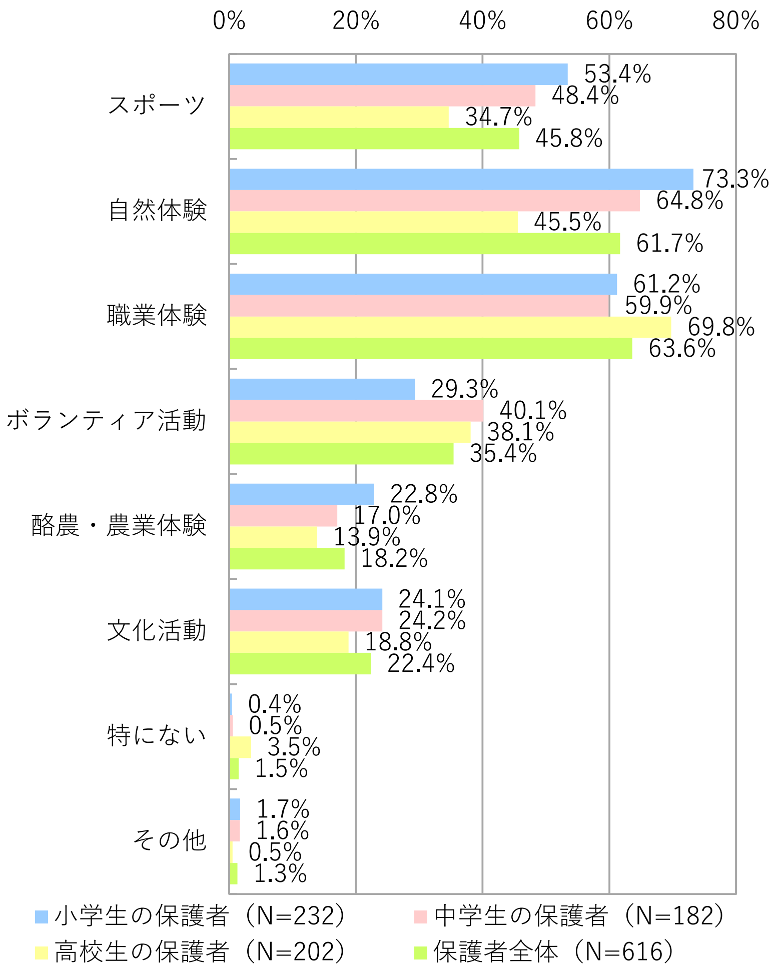
・小学生の保護者では、「自然体験」(73.3%）が最も多く、次いで「職業体験」(61.2%）です。3 割以上が「してみてほしい・体験してほしい」と思っていることは、「スポーツ」(53.4%）です。

・中学生の保護者は「自然体験」(64.8%）が最も多く、次いで「職業体験」(59.9%）です。3 割以上が「してみてほしい・体験してほしい」と思っていることは、「スポーツ」(48.4%)、「ボランティア活動」(40.1%）です。

・高校生の保護者は「職業体験」(69.8%）が最も多く、次いで「自然体験」(45.5%）です。3割以上が「してみてほしい・体験してほしい」と思っていることは、「ボランティア活動」(38.1%)、「スポーツ」(34.7%）です。

図表 ２－２－２５　子供に「してほしい・体験してほしい」と思っていること

	小学生の保護者 (N=232)	中学生の保護者 (N=182)	高校生の保護者 (N=202)	保護者全体 (N=616)
スポーツ	53.4%	48.4%	34.7%	45.8%
自然体験	73.3%	64.8%	45.5%	61.7%
職業体験	61.2%	59.9%	69.8%	63.6%
ボランティア活動	29.3%	40.1%	38.1%	35.4%
酪農・農業体験	22.8%	17.0%	13.9%	18.2%
文化活動	24.1%	24.2%	18.8%	22.4%
特にない	0.4%	0.5%	3.5%	1.5%
その他	1.7%	1.6%	0.5%	1.3%



図表　２－２－２６　子供に「してほしい・体験してほしい」と思っていること

（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
国際交流	1	0	1	2
留学	0	2	0	2
ピアノ	1	0	0	1
より多くのことを体験して自分が夢中になれることを見つけて欲しい。	1	0	0	1
人とのつながりの楽しい活動	1	0	0	1
団体活動	0	1	0	1

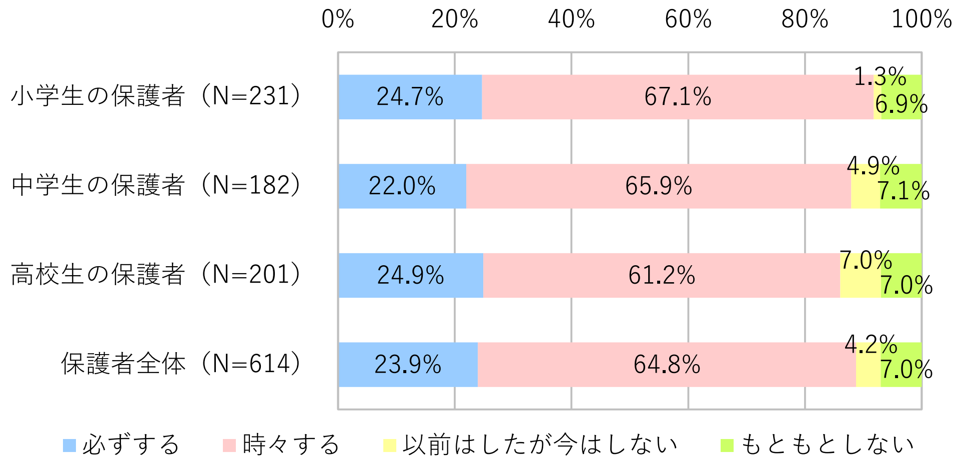
（１８）青少年へのあいさつ

あなたは、近所に住む青少年にあいさつをしていますか？<あてはまるもの１つに○>

・「青少年へのあいさつ」は、「必ずする」、「時々する」の合計が全体で 88.7%、小学生の保護者 91.8%、中学生の保護者 87.9%、高校生の保護者 86.1%です。

図表　２－２－２７　青少年へのあいさつ

	小学生の保護者(N=231)	中学生の保護者(N=182)	高校生の保護者(N=201)	保護者全体(N=614)
必ずする	24.7%	22.0%	24.9%	23.9%
時々する	67.1%	65.9%	61.2%	64.8%
以前はしたが今はしない	1.3%	4.9%	7.0%	4.2%
もともとしない	6.9%	7.1%	7.0%	7.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



（１９）子どもが参加した地域行事

あなたのお子さんが令和元年～令和４年の間に参加した地域の行事は何ですか。＜あてはまるものすべてに○＞

・「子どもが参加した地域行事」は、保護者全体では「地域のお祭り」（64.4%）が最も多く、次いで「子ども会やスポーツ団体の行事」（56.4%）、「地域の清掃や廃品回収」（47.7%）です。

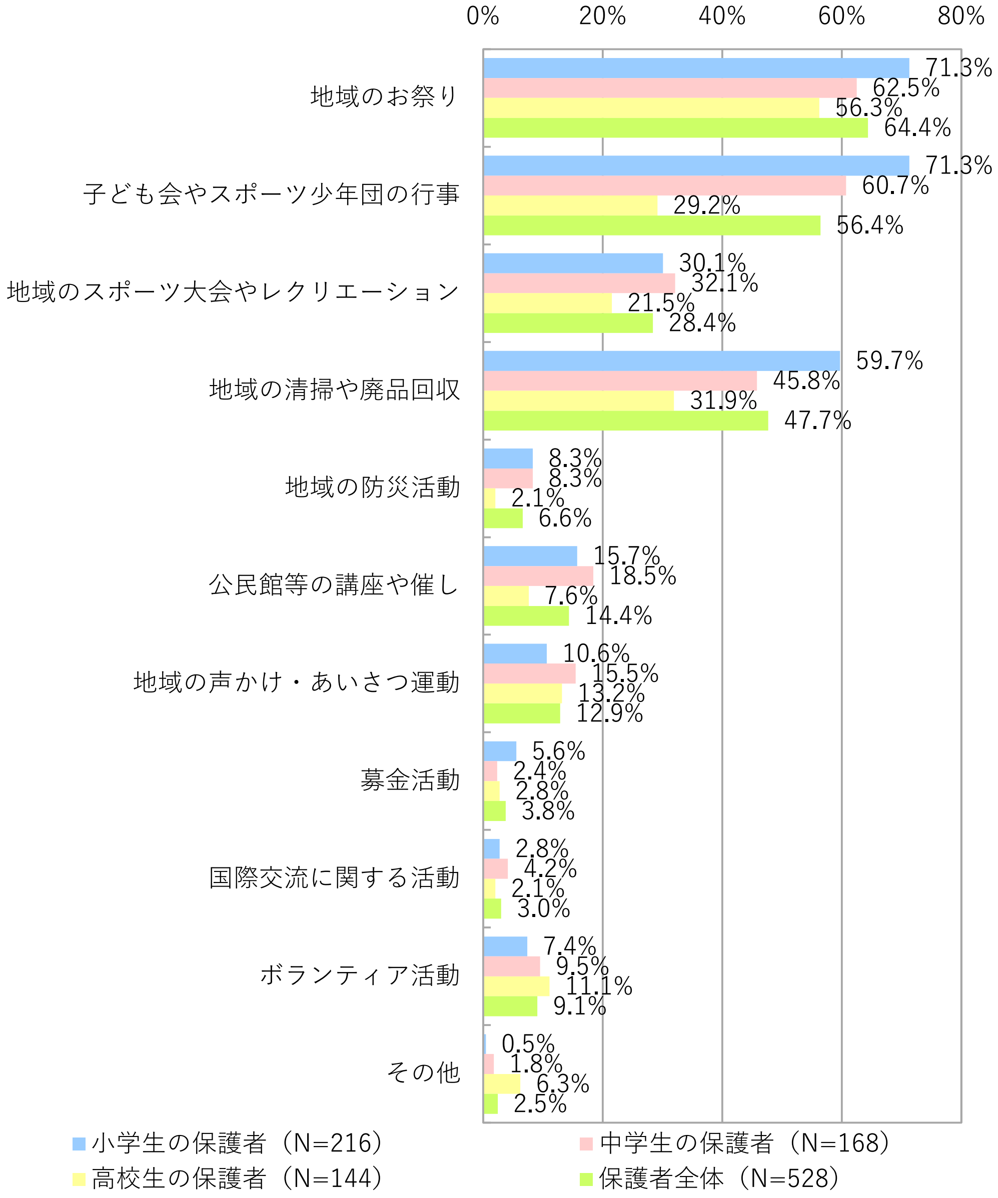
・小学生の保護者では、「地域のお祭り」（71.3%）と「子ども会やスポーツ少年団の行事」（71.3%）が最も同率で最も多く、次いで「地域の清掃や廃品回収」（59.7%）です。

・中学生の保護者は「地域のお祭り」（62.5%）が最も多く、次いで「子ども会やスポーツ少年団の行事」（60.7%）が多く、次いで「地域の清掃や廃品回収」（45.8%）です。

・高校生の保護者は「地域のお祭り」（56.3%）が最も多く、次いで「地域の清掃や廃品回収」（31.9%）です。

図表 ２－２－２８　子供が参加した地域行事

	小学生の保護者（N=216）	中学生の保護者（N=168）	高校生の保護者（N=144）	保護者全体（N=528）
地域のお祭り	71.3%	62.5%	56.3%	64.4%
子ども会やスポーツ少年団の行事	71.3%	60.7%	29.2%	56.4%
地域のスポーツ大会やレクリエーション	30.1%	32.1%	21.5%	28.4%
地域の清掃や廃品回収	59.7%	45.8%	31.9%	47.7%
地域の防災活動	8.3%	8.3%	2.1%	6.6%
公民館等の講座や催し	15.7%	18.5%	7.6%	14.4%
地域の声かけ・あいさつ運動	10.6%	15.5%	13.2%	12.9%
募金活動	5.6%	2.4%	2.8%	3.8%
国際交流に関する活動	2.8%	4.2%	2.1%	3.0%
ボランティア活動	7.4%	9.5%	11.1%	9.1%
その他	0.5%	1.8%	6.3%	2.5%



図表　２－２－２９　子供が参加した地域行事（その他の内容と件数）

	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	保護者全体
コロナのため、参加できなかった。	0	0	1	1
学童でバザーや運動会などに参加していた。	0	1	0	1
参加するチャンスがなかった。	1	0	0	1
民生委員	0	0	1	1
なし	0	1	6	7

（２０）住んでいる地域との関わり

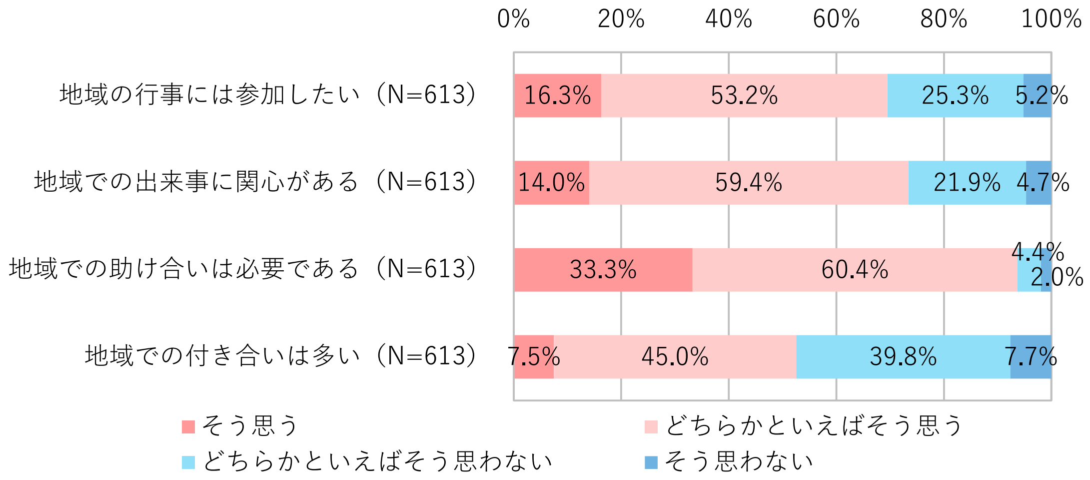
あなたが住んでいる地域について、次のことをどのように感じていますか。＜あてはまるもの１つに〇＞

① 全体

・「住んでいる地域との関わり」は、「地域の行事には参加したい」、「地域での出来事に関心がある、「地域での助け合いは必要である」、「地域での付き合いは多い」において、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と５割以上が答えています。

図表　２－２－３０　住んでいる地域との関わり

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
地域の行事には参加したい（N=613）	16.3%	53.2%	25.3%	5.2%
地域での出来事に関心がある（N=613）	14.0%	59.4%	21.9%	4.7%
地域での助け合いは必要である（N=613）	33.3%	60.4%	4.4%	2.0%
地域での付き合いは多い（N=613）	7.5%	45.0%	39.8%	7.7%

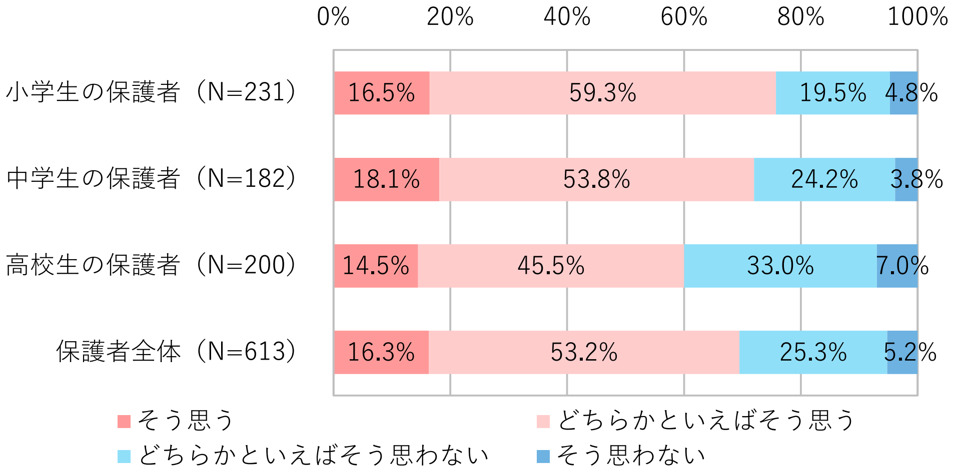


② 地域の行事への参加（属性別）

・「地域の行事には参加したいか」については、小学生の保護者では75.8%、中学生の保護者は 71.9%、高校生の保護者は 60.0%が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えています。

図表　２－２－３１　地域の行事への参加

	小学生の保護者 (N=231)	中学生の保護者 (N=182)	高校生の保護者 (N=200)	保護者全体 (N=613)
そう思う	16.5%	18.1%	14.5%	16.3%
どちらかといえばそう思う	59.3%	53.8%	45.5%	53.2%
どちらかといえばそう思わない	19.5%	24.2%	33.0%	25.3%
そう思わない	4.8%	3.8%	7.0%	5.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

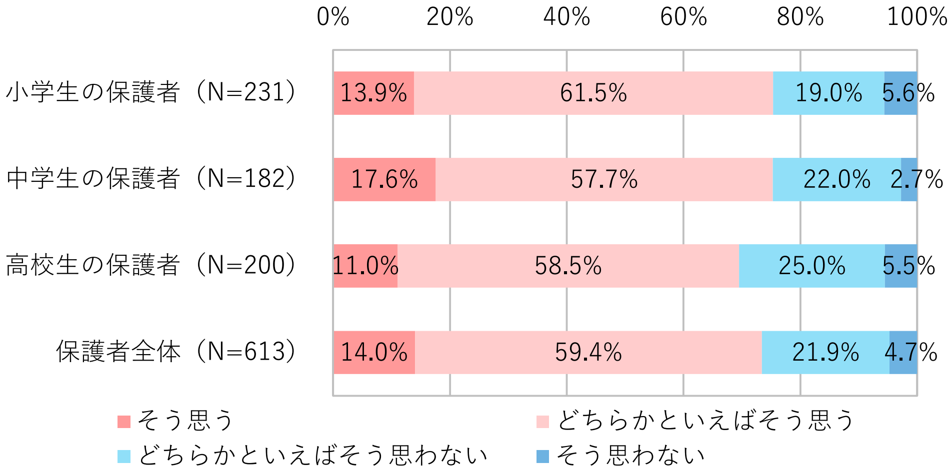


③ 地域での出来事への関心（属性別）

・「地域での出来事への関心があるか」については、小学生の保護者では75.4%、中学生の保護者は 75.3%、高校生の保護者は 69.5%が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えています。

図表　２－２－３２　地域での出来事への関心

	小学生の保護者 (N=231)	中学生の保護者 (N=182)	高校生の保護者 (N=200)	保護者全体 (N=613)
そう思う	13.9%	17.6%	11.0%	14.0%
どちらかといえばそう思う	61.5%	57.7%	58.5%	59.4%
どちらかといえばそう思わない	19.0%	22.0%	25.0%	21.9%
そう思わない	5.6%	2.7%	5.5%	4.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

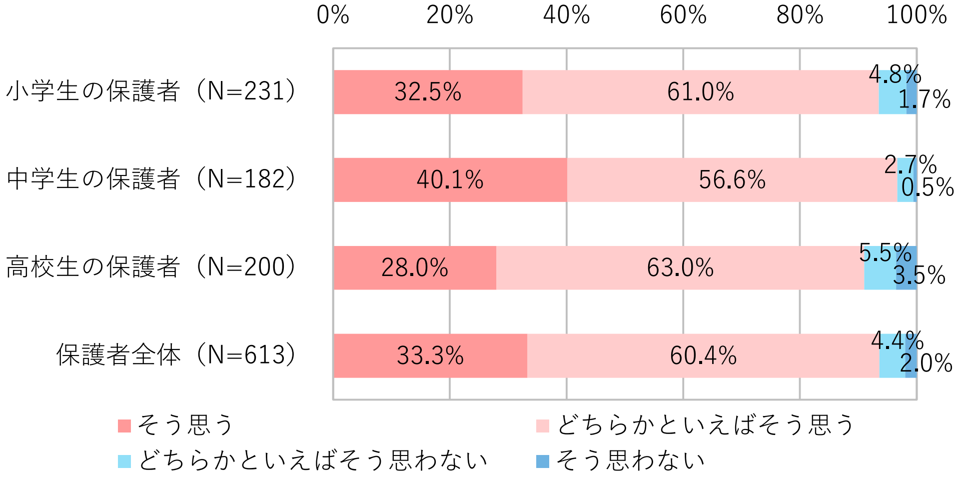


④ 地域での助け合い（属性別）

・「地域での助け合いの必要性」については、小学生の保護者では93.5%、中学生の保護者は96.7%、高校生の保護者は91.0%が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えています。

図表　２－２－３３　地域での助け合い

	小学生の保護者（N=231）	中学生の保護者（N=182）	高校生の保護者（N=200）	保護者全体（N=613）
そう思う	32.5%	40.1%	28.0%	33.3%
どちらかといえばそう思う	61.0%	56.6%	63.0%	60.4%
どちらかといえばそう思わない	4.8%	2.7%	5.5%	4.4%
そう思わない	1.7%	0.5%	3.5%	2.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

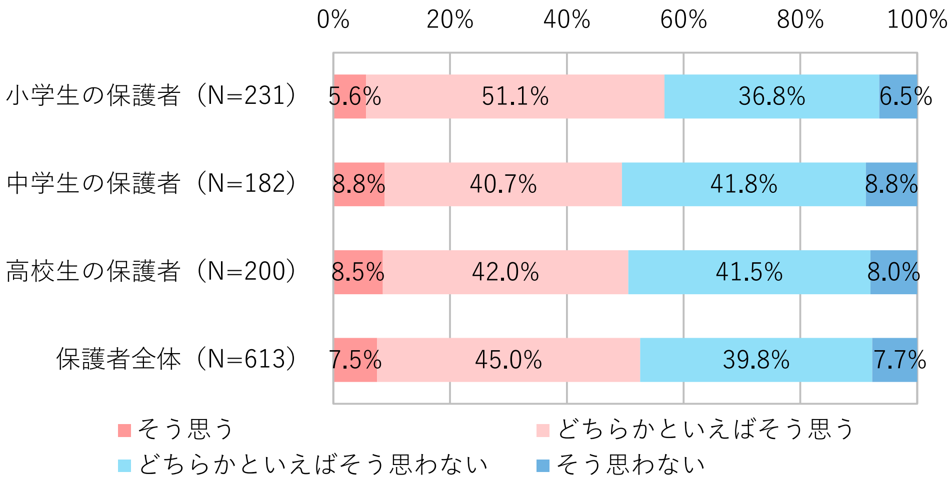


⑤ 地域での付き合い（属性別）

・「地域での付き合いが多いか」については、小学生の保護者では56.7%、中学生の保護者は49.5%、高校生の保護者は50.5%が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えています。

図表　２－２－３４　地域での付き合い

	小学生の保護者（N=231）	中学生の保護者（N=182）	高校生の保護者（N=200）	保護者全体（N=613）
そう思う	5.6%	8.8%	8.5%	7.5%
どちらかといえばそう思う	51.1%	40.7%	42.0%	45.0%
どちらかといえばそう思わない	36.8%	41.8%	41.5%	39.8%
そう思わない	6.5%	8.8%	8.0%	7.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



（２１）青少年のインターネットへの心配

青少年のインターネットの利用に関して心配なことは何ですか。＜あてはまるもの３つまでに○＞

・「青少年のインターネット利用に関する心配」については、保護者全体では「勉強に集中できない」が最も多く 50.3%、次いで「睡眠不足になる」47.7%です。3 割以上の人が選んでいるのは、「インターネットからの情報をうのみにすること」(34.8%) です。

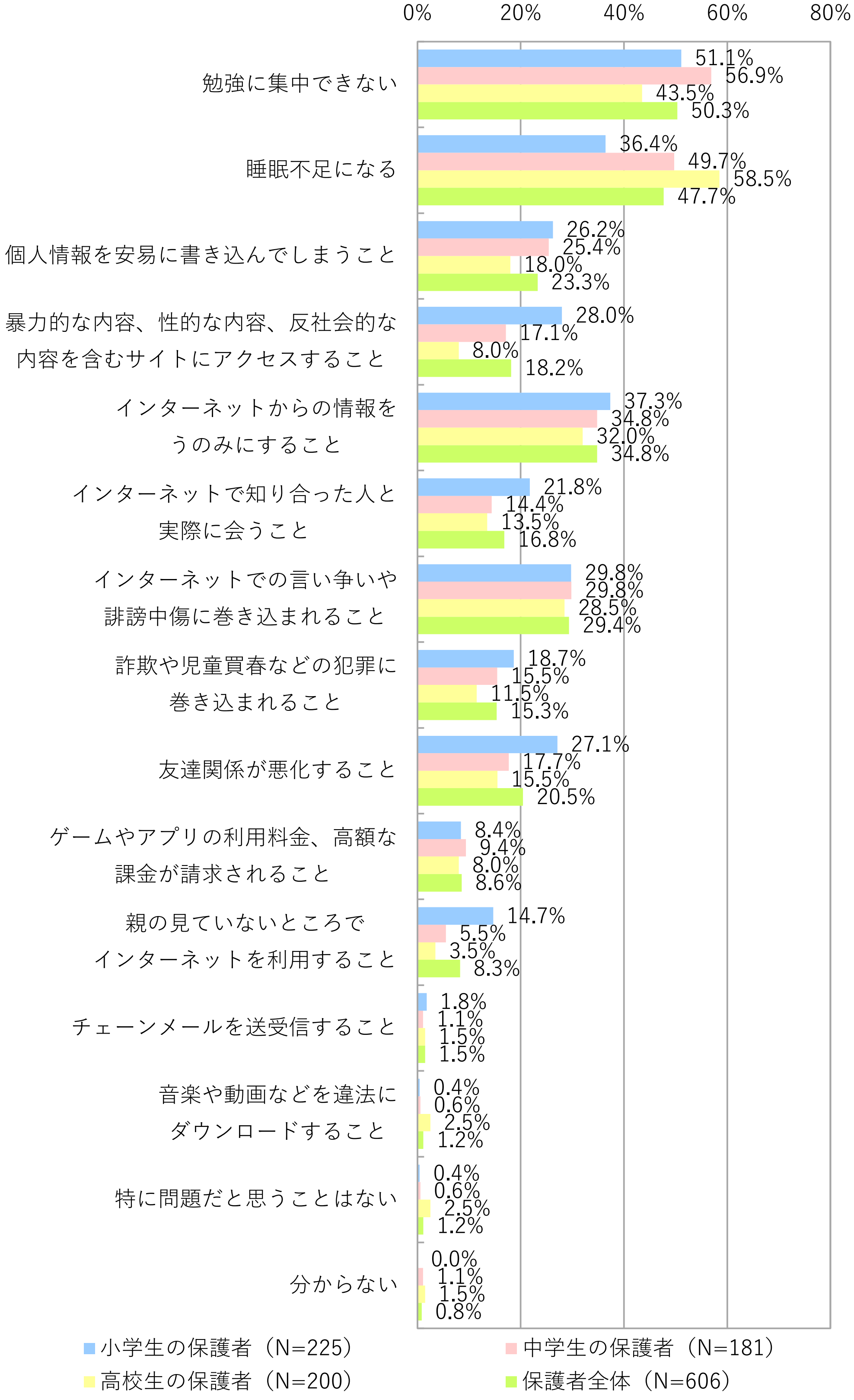
・小学生の保護者では、「勉強に集中できない」が最も多く 51.1%、次いで「インターネットからの情報をうのみにすること」(37.3%) です。3割以上の人が選んでいるのは、「睡眠不足になる」36.4%です。

・中学生の保護者では、「勉強に集中できない」が最も多く 56.9%、次いで「睡眠不足になる」49.7%です。3 割以上の人が選んでいるのは、「インターネットからの情報をうのみにすること」(34.8%) です。

・高校生の保護者では、「睡眠不足になる」が最も多く 58.5%、次いで「勉強に集中できない」43.5%です。3 割以上の人が選んでいるのは、「インターネットからの情報をうのみにすること」(32.0%) です。

図表 ２－２－３５　青少年のインターネットへの心配

	小学生の保護者 (N=225)	中学生の保護者 (N=181)	高校生の保護者 (N=200)	保護者全体 (N=606)
勉強に集中できない	51.1%	56.9%	43.5%	50.3%
睡眠不足になる	36.4%	49.7%	58.5%	47.7%
個人情報を安易に書き込んでしまうこと	26.2%	25.4%	18.0%	23.3%
暴力的な内容、性的な内容、反社会的な内容を含むサイトにアクセスすること	28.0%	17.1%	8.0%	18.2%
インターネットからの情報をうのみにすること	37.3%	34.8%	32.0%	34.8%
インターネットで知り合った人と実際に会うこと	21.8%	14.4%	13.5%	16.8%
インターネットでの言い争いや誹謗中傷に巻き込まれること	29.8%	29.8%	28.5%	29.4%
詐欺や児童買春などの犯罪に巻き込まれること	18.7%	15.5%	11.5%	15.3%
友達関係が悪化すること	27.1%	17.7%	15.5%	20.5%
ゲームやアプリの利用料金、高額な課金が請求されること	8.4%	9.4%	8.0%	8.6%
親の見ていないところでインターネットを利用すること	14.7%	5.5%	3.5%	8.3%
チェーンメールを送受信すること	1.8%	1.1%	1.5%	1.5%
音楽や動画などを違法にダウンロードすること	0.4%	0.6%	2.5%	1.2%
特に問題だと思うことはない	0.4%	0.6%	2.5%	1.2%
分からない	0.0%	1.1%	1.5%	0.8%


0%
20%
40%
60%
80%
勉強に集中できない
51.1%
56.9%
43.5%
50.3%
睡眠不足になる
36.4%
49.7%
58.5%
47.7%
個人情報を安易に書き込んでしまうこと
26.2%
25.4%
18.0%
23.3%
暴力的な内容、性的な内容、反社会的な内容を含むサイトにアクセスすること
28.0%
17.1%
8.0%
18.2%
インターネットからの情報をうのみにすること
37.3%
34.8%
32.0%
34.8%
インターネットで知り合った人と実際に会うこと
21.8%
14.4%
13.5%
16.8%
インターネットでの言い争いや誹謗中傷に巻き込まれること
29.8%
29.8%
28.5%
29.4%
詐欺や児童買春などの犯罪に巻き込まれること
18.7%
15.5%
11.5%
15.3%
友達関係が悪化すること
27.1%
17.7%
15.5%
20.5%
ゲームやアプリの利用料金、高額な課金が請求されること
8.4%
9.4%
8.0%
8.6%
親の見ていないところでインターネットを利用すること
14.7%
5.5%
3.5%
8.3%
チェーンメールを送受信すること
1.8%
1.1%
1.5%
1.5%
音楽や動画などを違法にダウンロードすること
0.4%
0.6%
2.5%
1.2%
特に問題だと思うことはない
0.4%
0.6%
2.5%
1.2%
分からない
0.0%
1.1%
1.5%
0.8%
小学生の保護者（N=225）
中学生の保護者（N=181）
高校生の保護者（N=200）
保護者全体（N=606）

（２２）インターネットへ利用のルール

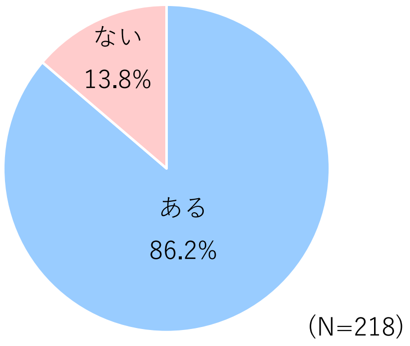
あなたの家庭で、インターネット利用のルールはありますか。 ＜あてはまるもの１つに○＞

・「家庭でのインターネット利用のルール」については、小学生の保護者の86.2%、中学生の保護者の 77.6%、高校生の保護者の 55.1%が「ある」と答えています。

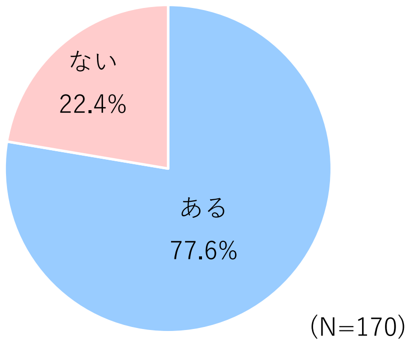
図表　２－２－３６　インターネット利用のルール

	小学生の保護者 (N=218)	中学生の保護者 (N=170)	高校生の保護者 (N=185)	保護者全体 (N=573)
ある	86.2%	77.6%	55.1%	73.6%
ない	13.8%	22.4%	44.9%	26.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

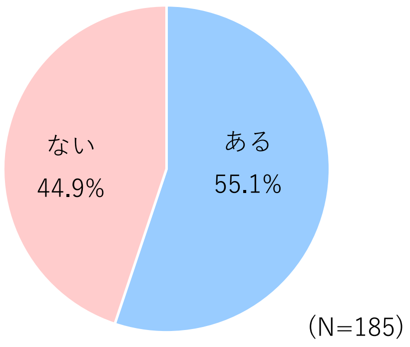
【小学生の保護者】



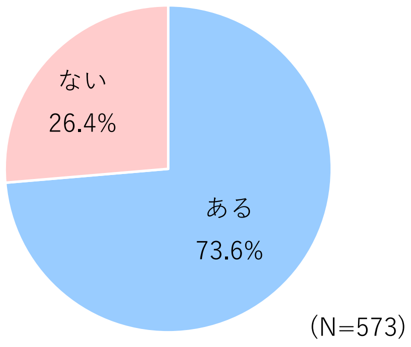
【中学生の保護者】



【高校生の保護者】



【保護者全体】



（２３）インターネット利用のルール内容

「インターネット利用のルールがある」と回答した方におたずねします。家庭でのインターネット利用のルールは何ですか？＜あてはまるものすべてに〇＞

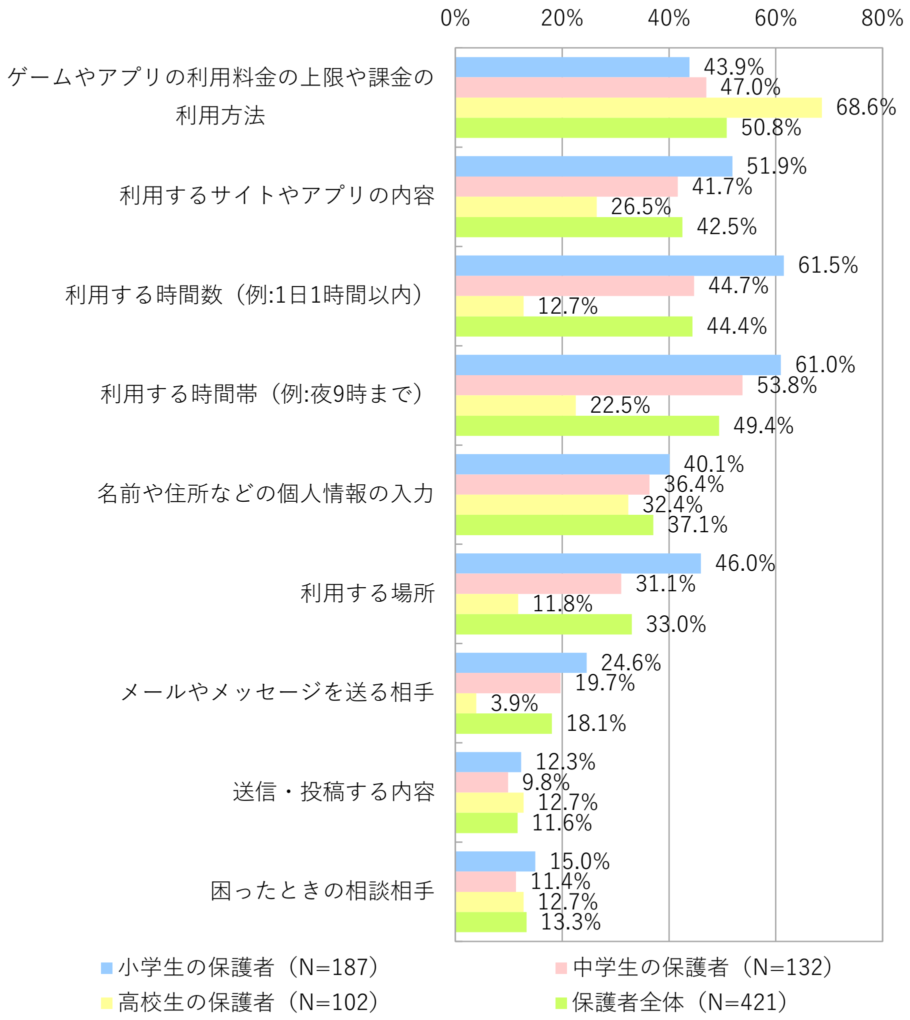
・「家庭でのインターネット利用のルール」が「ある」と答えた人のルールの内容は、小学生の保護者が最も多く選んでいるのは、「利用する時間数（例:1 日 1 時間以内)」(61.5%)、次いで「利用する時間帯（例:夜 9 時まで)」(61.0%)、「利用するサイトやアプリの内容」（51.9%）です。

・中学生の保護者が最も多く選んでいるのは、「利用する時間帯（例:夜 9 時まで)」(53.8%)、次いで「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」(47.0%)、「利用する時間数（例:1 日 1 時間以内)」(44.7%) です。

・高校生の保護者が最も多く選んでいるのは、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」(68.6%)、次いで「名前や住所などの個人情報の入力」(32.4%)、「利用するサイトやアプリの内容」(26.5%) です。

図表 ２－２－３７　インターネット利用のルール内容

	小学生の保護者 (N=187)	中学生の保護者 (N=132)	高校生の保護者 (N=102)	保護者全体 (N=421)
ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法	43.9%	47.0%	68.6%	50.8%
利用するサイトやアプリの内容	51.9%	41.7%	26.5%	42.5%
利用する時間数（例:1 日 1 時間以内)	61.5%	44.7%	12.7%	44.4%
利用する時間帯（例:夜 9 時まで)	61.0%	53.8%	22.5%	49.4%
名前や住所などの個人情報の入力	40.1%	36.4%	32.4%	37.1%
利用する場所	46.0%	31.1%	11.8%	33.0%
メールやメッセージを送る相手	24.6%	19.7%	3.9%	18.1%
送信・投稿する内容	12.3%	9.8%	12.7%	11.6%
困ったときの相談相手	15.0%	11.4%	12.7%	13.3%


0%
20%
40%
60%
80%
ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法
43.9%
47.0%
68.6%
50.8%
利用するサイトやアプリの内容
51.9%
41.7%
26.5%
42.5%
利用する時間数（例:1日1時間以内）
61.5%
44.7%
12.7%
44.4%
利用する時間帯（例:夜9時まで）
61.0%
53.8%
22.5%
49.4%
名前や住所などの個人情報の入力
40.1%
36.4%
32.4%
37.1%
利用する場所
46.0%
31.1%
11.8%
33.0%
メールやメッセージを送る相手
24.6%
19.7%
3.9%
18.1%
送信・投稿する内容
12.3%
9.8%
12.7%
11.6%
困ったときの相談相手
15.0%
11.4%
12.7%
13.3%
小学生の保護者（N=187）
中学生の保護者（N=132）
高校生の保護者（N=102）
保護者全体（N=421）

（２４）金沢市の野外体験施設について

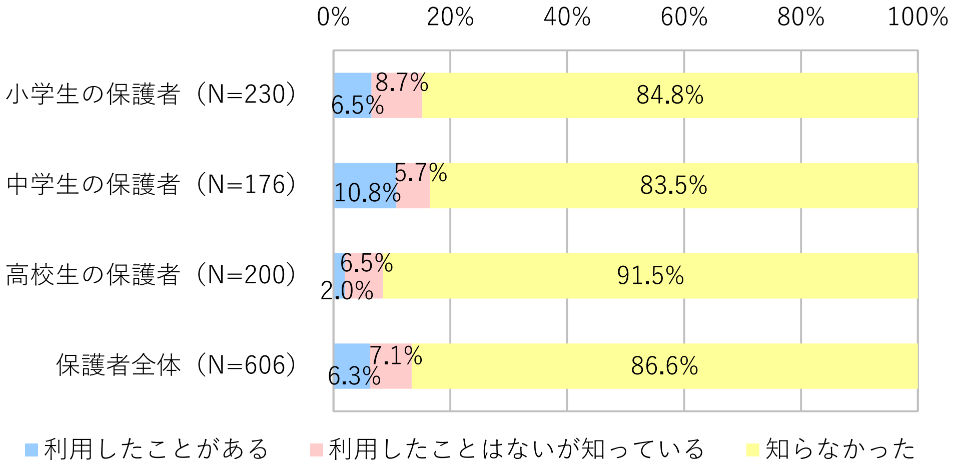
金沢市の野外体験施設のうち２箇所（娚杉少年の森、土子原こども野外広場）についてお聞きします。

① 娚杉少年の森の利用状況

・金沢市の野外施設である娚杉少年の森については、小学生の保護者の84.4%、中学生の保護者の83.5%、高校生の保護者の91.5%が「知らなかった」と答えています。

図表　２－２－３８　娚杉少年の森の利用状況

	小学生の保護者 (N=230)	中学生の保護者 (N=176)	高校生の保護者 (N=200)	保護者全体 (N=606)
利用したことがある	6.5%	10.8%	2.0%	6.3%
利用したことはないが知っている	8.7%	5.7%	6.5%	7.1%
知らなかった	84.8%	83.5%	91.5%	86.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

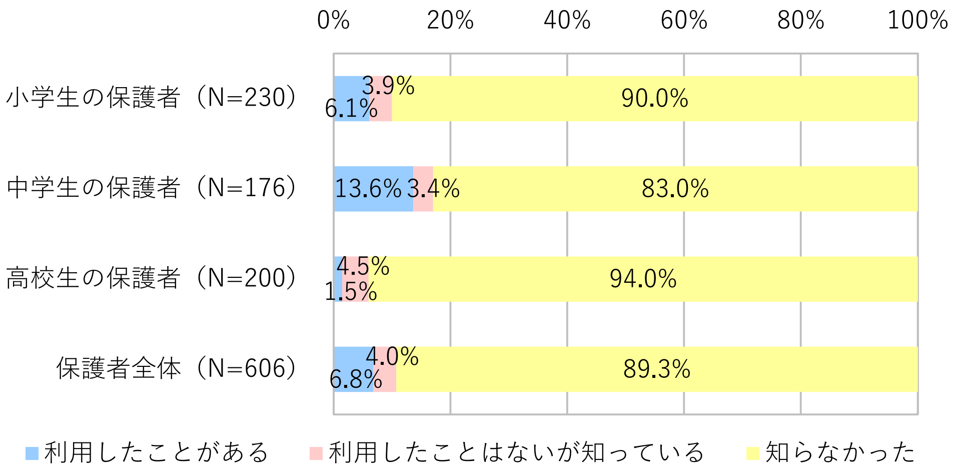


② 土子原こども野外広場の利用状況

・金沢市の野外施設である土子原こども野外広場については、小学生の保護者の90.0%、中学生の保護者の83.0%、高校生の保護者の94.0%が「知らなかった」と答えています。

図表　２－２－３９　土子原こども野外広場利用状況

	小学生の保護者(N=230)	中学生の保護者(N=176)	高校生の保護者(N=200)	保護者全体(N=606)
利用したことがある	6.1%	13.6%	1.5%	6.8%
利用したことはないが知っている	3.9%	3.4%	4.5%	4.0%
知らなかった	90.0%	83.0%	94.0%	89.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



（２５）金沢市の野外体験施設について

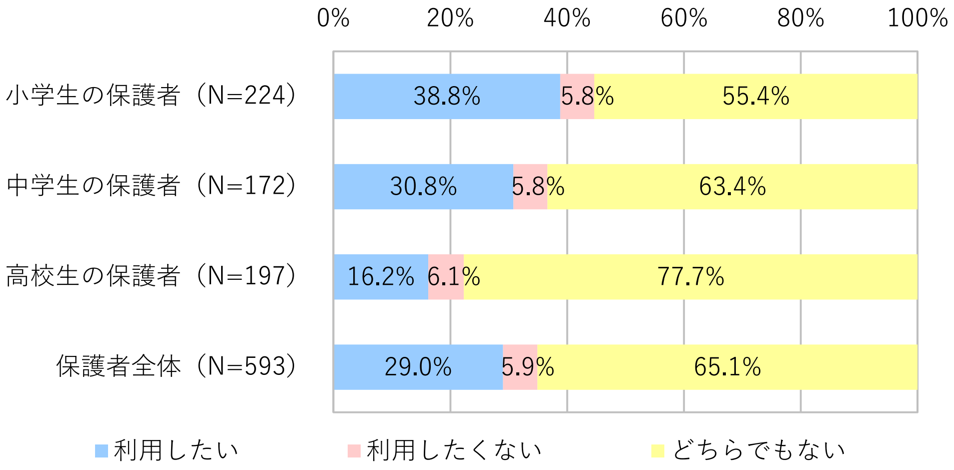
「娚杉少年の森」について、お聞きします。 (1) 利用したいと思いましたか。<あてはまるもの１つに○> (2)「娚杉少年の森」でどのような体験ができると良いと思いますか。 <ご自由にお書きください>

① 娚杉少年の森の利用意向

・娚杉少年の森の利用意向については、小学生の保護者の 38.3%、中学生の保護者の 30.8%、高校生の保護者の 16.2%が「利用したい」と答えています。

図表　２－２－４０　娚杉少年の森の利用意向

	小学生の保護者 (N=224)	中学生の保護者 (N=172)	高校生の保護者 (N=197)	保護者全体 (N=593)
利用したい	38.8%	30.8%	16.2%	29.0%
利用したくない	5.8%	5.8%	6.1%	5.9%
どちらでもない	55.4%	63.4%	77.7%	65.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



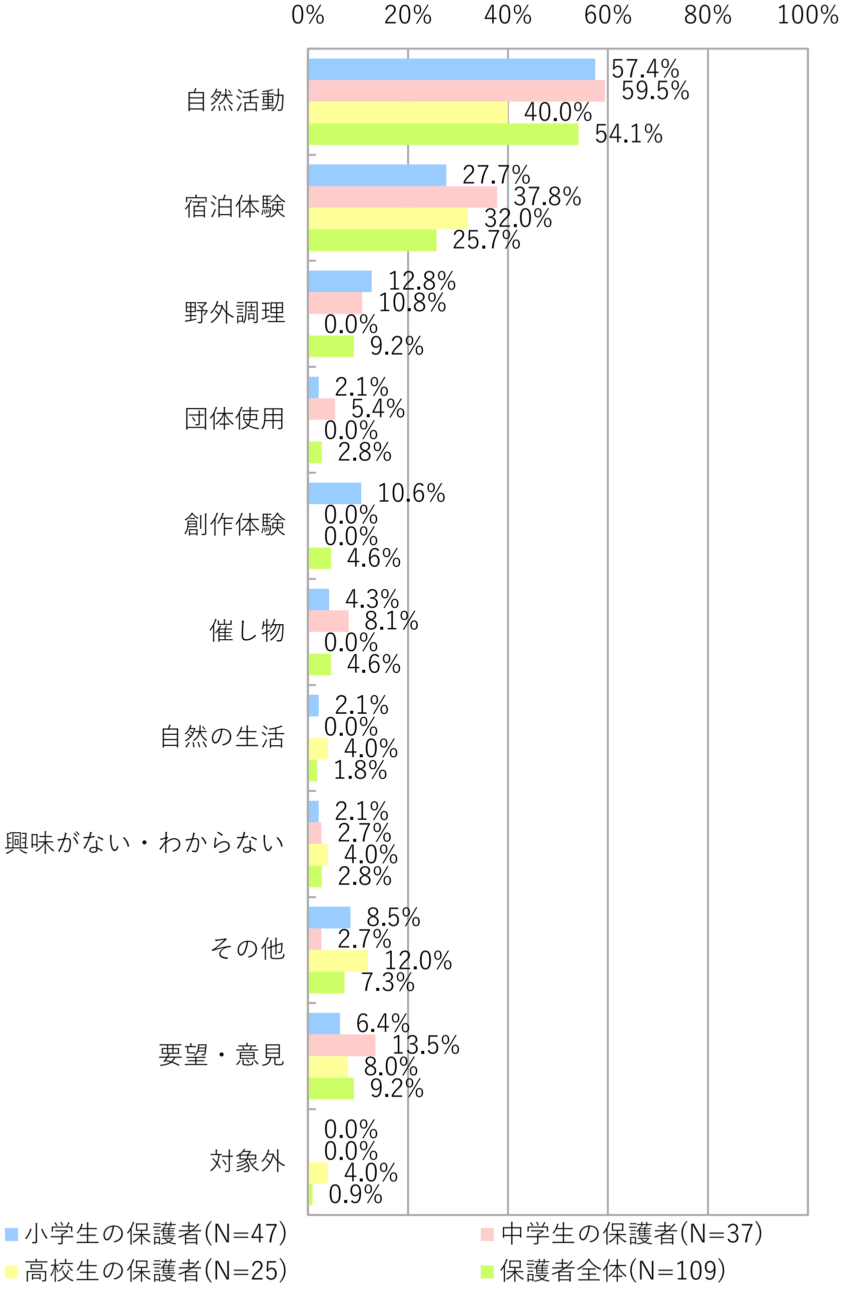
② 甥杉少年の森でできたらよい体験

・甥杉少年の森で、できたらよい体験は、「自然活動」が最も多く、54.1％を占め、次いで多いのは、「宿泊体験」25.7％です。

・自然活動の詳細としては、「自然体験、その他」が 15 件、「川遊び・魚捕り」が 13 件となっています。

図表　２－２－４１　甥杉少年の森でできたらよい体験（大分類）

大分類	小学生の保護者(N=47)	中学生の保護者(N=37)	高校生の保護者(N=25)	保護者全体(N=109)
自然活動	57.4%	59.5%	40.0%	54.1%
宿泊体験	27.7%	37.8%	32.0%	25.7%
野外調理	12.8%	10.8%	0.0%	9.2%
団体使用	2.1%	5.4%	0.0%	2.8%
創作体験	10.6%	0.0%	0.0%	4.6%
催し物	4.3%	8.1%	0.0%	4.6%
自然の生活	2.1%	0.0%	4.0%	1.8%
興味がない・わからない	2.1%	2.7%	4.0%	2.8%
その他	8.5%	2.7%	12.0%	7.3%
要望・意見	6.4%	13.5%	8.0%	9.2%
対象外	0.0%	0.0%	4.0%	0.9%



0%
20%
40%
60%
80%
100%
自然活動
57.4%
59.5%
40.0%
54.1%
宿泊体験
27.7%
37.8%
32.0%
25.7%
野外調理
12.8%
10.8%
0.0%
9.2%
団体使用
2.1%
5.4%
0.0%
2.8%
創作体験
10.6%
0.0%
0.0%
4.6%
催し物
4.3%
8.1%
0.0%
4.6%
自然の生活
2.1%
0.0%
4.0%
1.8%
興味がない・わからない
2.1%
2.7%
4.0%
2.8%
その他
8.5%
2.7%
12.0%
7.3%
要望・意見
6.4%
13.5%
8.0%
9.2%
対象外
0.0%
0.0%
4.0%
0.9%
小学生の保護者(N=47)
中学生の保護者(N=37)
高校生の保護者(N=25)
保護者全体(N=109)

図表 ２－２－４２　娚杉少年の森でできたらよい体験（大分類の詳細）

	詳細	保護者全体(N=109)
自然活動	自然体験その他	15
	川遊び・魚捕り	13
	連帯感や協調性を養う体験	7
	ブッシュクラフト	7
	昆虫採集	6
	風呂・ドラム缶風呂・サウナ	5
	ツリーハウス等	5
	植物の観察	5
	天体観測	4
	動物の観察	3
	スポーツ・運動・遊び	3
	オリエンテーリング	2
	野鳥の観察	1
	サバイバル体験	1
	ハイキング	1
宿泊体験	キャンプ・キャンプファイヤー	35
野外調理	バーベキュー等	11
団体使用	合宿（学校、サークル・習い事等）	4
創作体験	芸術活動（音楽鑑賞・植物を使った創作活動等）	6
催し物	キャンプ等の初心者向けワークショップ等	3
	学びの催し物（災害対策等）	2
	フェス（音楽祭）	1
	職業体験	1
自然の生活	インターネットなし生活	1
	当たり前のものがない体験	2
興味がない・わからない	興味がない・わからない	4
その他	今のままでよい	3
	地域とのコミュニケーション	1
	通行止めになった	1
	花火	1
	天候に左右される場所だと思う	1
	施設名が読めない	1
	やったことがない体験ができる	1
	申し込みが面倒	1
要望・意見	個人利用	6
	アスレチックの拡大	4
	イベント企画・周知があればよいのでは	3
	宿泊施設	1
	備品貸出（望遠鏡）	1
	レストラン	1
対象外	非金沢市居住者	1

（２６）金沢市の野外体験施設について

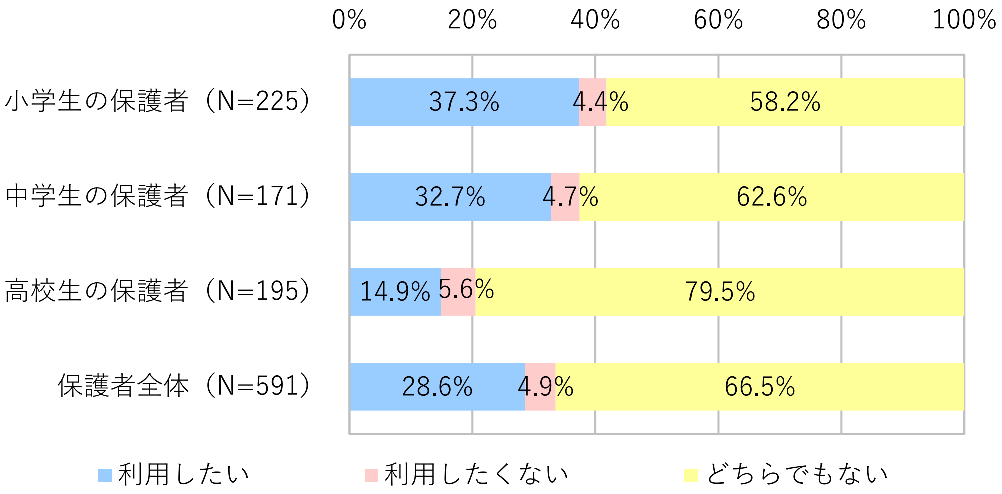
「土子原こども野外広場」について、お聞きします。
(1) 利用したいと思いましたか。<あてはまるもの１つに○>
(2)「土子原こども野外広場」でどのような体験ができると良いと思いますか。
<ご自由にお書きください>

① 土子原こども野外広場の利用意向

・土子原こども野外広場の利用意向については、小学生の保護者の 37.3%、中学生の保護者の 32.7%、高校生の保護者の 14.9%が「利用したい」と答えています。

図表　２－２－４３　土子原こども野外広場の利用意向

	小学生の保護者 (N=225)	中学生の保護者 (N=171)	高校生の保護者 (N=195)	保護者全体 (N=591)
利用したい	37.3%	32.7%	14.9%	28.6%
利用したくない	4.4%	4.7%	5.6%	4.9%
どちらでもない	58.2%	62.6%	79.5%	66.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



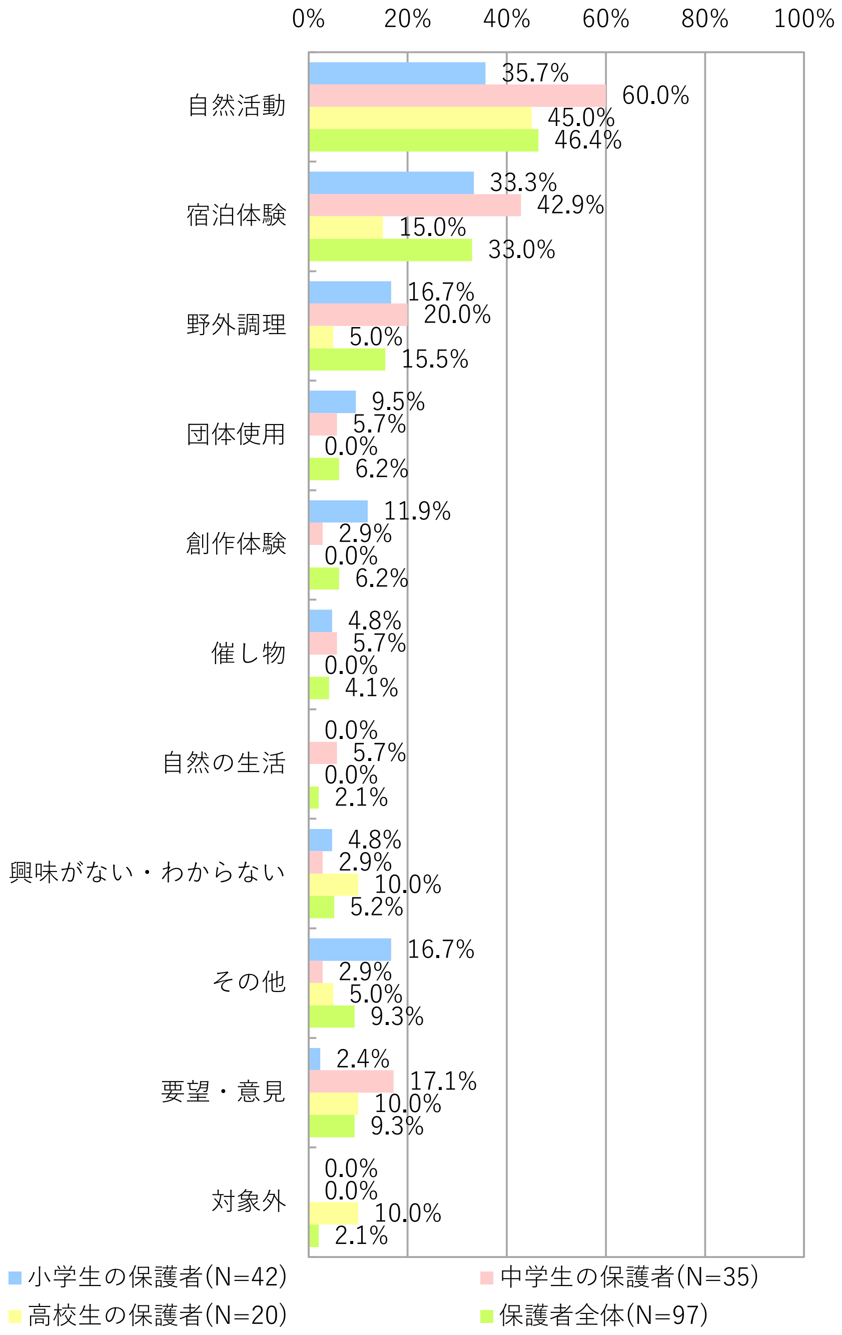
② 土子原こども野外広場でできたらよい体験

・土子原こども野外広場で、できたらよい体験は、「自然活動」が最も多く、46.4％を占め、次いで多いのは、「宿泊体験」33.0％です。

・「自然活動」の詳細は、「自然体験、その他」が 12 件、「スポーツ・運動・遊び」が 7 件となっています。

図表　２－２－４４　土子原こども野外広場でできたらよい体験（大分類）

大分類	小学生の保護者 (N=42)	中学生の保護者 (N=35)	高校生の保護者 (N=20)	保護者全体 (N=97)
自然活動	35.7%	60.0%	45.0%	46.4%
宿泊体験	33.3%	42.9%	15.0%	33.0%
野外調理	16.7%	20.0%	5.0%	15.5%
団体使用	9.5%	5.7%	0.0%	6.2%
創作体験	11.9%	2.9%	0.0%	6.2%
催し物	4.8%	5.7%	0.0%	4.1%
自然の生活	0.0%	5.7%	0.0%	2.1%
興味がない・わからない	4.8%	2.9%	10.0%	5.2%
その他	16.7%	2.9%	5.0%	9.3%
要望・意見	2.4%	17.1%	10.0%	9.3%
対象外	0.0%	0.0%	10.0%	2.1%


0%
20%
40%
60%
80%
100%
自然活動
35.7%
60.0%
45.0%
46.4%
宿泊体験
33.3%
42.9%
15.0%
33.0%
野外調理
16.7%
20.0%
5.0%
15.5%
団体使用
9.5%
5.7%
0.0%
6.2%
創作体験
11.9%
2.9%
0.0%
6.2%
催し物
4.8%
5.7%
0.0%
4.1%
自然の生活
0.0%
5.7%
0.0%
2.1%
興味がない・わからない
4.8%
2.9%
10.0%
5.2%
その他
16.7%
2.9%
5.0%
9.3%
要望・意見
2.4%
17.1%
10.0%
9.3%
対象外
0.0%
0.0%
10.0%
2.1%
小学生の保護者(N=42)
中学生の保護者(N=35)
高校生の保護者(N=20)
保護者全体(N=97)

図表 ２－２－４５　土子原こども野外広場でできたらよい体験（大分類の詳細）

大分類	詳細	保護者全体 (N=97)
自然活動	自然体験その他	12
	スポーツ・運動・遊び	7
	川遊び・魚捕り	5
	天体観測	4
	昆虫採集	4
	風呂・ドラム缶風呂	3
	植物の観察	2
	連帯感や協調性を養う体験	1
	ハイキング	1
	農作物の収獲体験	1
	ブッシュクラフト	1
	野鳥の観察	1
	サバイバル体験	1
	オリエンテーリング	1
	動物のお世話	1
宿泊体験	キャンプ・キャンプファイヤー	32
野外調理	バーベキュー等	15
団体使用	合宿（学校、スポーツクラブ・習い事等）	6
創作体験	芸術活動（音楽鑑賞・植物を使った創作活動等）	6
催し物	遊具を使ったイベント（「逃走中」等）	1
	職業体験	1
	キャンプ等の初心者向けワークショップ等	1
	学びの催し物（災害対策等）	1
自然の生活	電気やガスを使わない生活	1
	インターネットなし生活	1
興味がない・わからない	興味がない・わからない	5
その他	今のままでよい	2
	旧土子原小学校の雰囲気を楽しむ	1
	申し込みが面倒	1
	宿泊モデルプラン②について体育館があればよい	1
	恐怖体験をした	1
	地域とのコミュニケーション	1
	やったことがない体験ができる	1
	施設名が読めない	1
要望・意見	個人利用	3
	アスレチックの拡大	2
	備品貸出（サッカーボール等）	1
	イベント企画・周知があればよいのでは	1
	金沢以外の居住者の利用	1
	カフェ	1
対象外	非金沢市居住者	2